

経営管理特別講義

Special Lectures in Industrial Management

森脇俊道(モリワキ トシミチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

企業の財務運営（コーポレートファイナンス）は事業運営と並び企業経営における車の両輪をなすものであり、極めて重要である。本講義では、事業運営を適切かつ迅速に行うための財務的判断手法（新規のプロジェクトの評価法、市場の需要変動に迅速に対応するための判断法など）と、多様化している金融市場からの資金調達の手法について学ぶ。到達目標 ①事業運営を適切かつ迅速に行うための財務的判断手法を習得する。②金融市場からの資金調達の手法を習得する。

学科の学習・教育目標との対応：[G]

授業方法と留意点

基礎理論と演習問題を中心とする。演習問題に関しては宿題、およびレポート提出を義務付ける。

科目学習の効果（資格）

経営コンサルタント、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナー（FP）等の資格取得。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 コーポレートファイナンスの概要
【内容・方法 等】 ファイナンス理論、コーポレートファイナンスの機能
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 経営判断に対するキャッシュフローの重要性と算出法
【内容・方法 等】 伝統的財務諸表上の利益の問題点と、キャッシュフローの優位性およびその算出法
【事前・事後学習課題】 レポート課題1
- 第3回 【授業テーマ】 キャッシュフローによる企業経営への応用
【内容・方法 等】 キャッシュフロー算出における原則と企業経営への応用（リストラ、スピード経営）
【事前・事後学習課題】 レポート課題2
- 第4回 【授業テーマ】 プロジェクトの財務的評価法
【内容・方法 等】 予想収益の現在価値算出によるプロジェクトの評価法
【事前・事後学習課題】 レポート課題3
- 第5回 【授業テーマ】 危険資産（株式など）への投資の原理
【内容・方法 等】 危険資産の評価法と投資家の対応の原理
【事前・事後学習課題】
- 第6回 【授業テーマ】 危険回避のためのポートフォリオの原理
【内容・方法 等】 ポートフォリオによる危険回避の原理と限界
【事前・事後学習課題】 レポート課題4
- 第7回 【授業テーマ】 ポートフォリオのマコーピッツモデル
【内容・方法 等】 マコーピッツによる効率的フロンティア算出法
【事前・事後学習課題】
- 第8回 【授業テーマ】 資本資産評価モデル（CAPM）による個別株式の評価法
【内容・方法 等】 資産評価モデルによる個別株式の評価法
【事前・事後学習課題】 レポート課題5
- 第9回 【授業テーマ】 株主に対する資本コスト
【内容・方法 等】 株主に対する資本コストの考え方と算出法
【事前・事後学習課題】
- 第10回 【授業テーマ】 企業価値
【内容・方法 等】 企業価値の算出法とM&Aによる価値の創造
【事前・事後学習課題】 レポート課題6
- 第11回 【授業テーマ】 財務政策
【内容・方法 等】 最適資本構成と配当政策の原理
【事前・事後学習課題】
- 第12回 【授業テーマ】 最近のファイナンス手法（1）
【内容・方法 等】 デリバティブの歴史、先物取引の仕組みと経営に対する意義
【事前・事後学習課題】 レポート課題7
- 第13回 【授業テーマ】 最近のファイナンス手法（2）
【内容・方法 等】 オプションの仕組みと経営に対する意義
【事前・事後学習課題】
- 第14回 【授業テーマ】 最近のファイナンス手法（3）
【内容・方法 等】 スワップの仕組みと経営に対する意義
【事前・事後学習課題】 レポート課題8
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 コーポレートファイナンスの経営に対する役割の整理
【事前・事後学習課題】

評価方法（基準）

平常点50%、期末テスト50%で評価する。平常点とは、授業への参加度、レポート課題への回答に基づいて総合的に評価する

教材等

教科書…特に指定しない。授業内容に応じてプリントを配布する。
参考書…授業内容に応じて別途指示する。

学生へのメッセージ

本講義では金融工学の基礎部分を講述するが、初歩の数理統計学の習得は、本講義理解のための前提条件となるので留意されたい。

関連科目

財務管理Ⅰ・Ⅱ、原価管理Ⅰ・Ⅱ、経営システムⅠ

担当者の研究室等

12号館6階 経営管理研究室1

生産管理特別講義

Special Lectures in Production Management

黒澤敏朗(クロザワ トシロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

マネジメントサイエンスにおける問題解決法の一つにシミュレーション（模擬実験）がある。この科目では、その基本原理を理解し、いくつかの典型的な経営問題のモデルについて、表計算ソフトExcelを用いて実際に演習を行う。これによりビジネスにおけるシミュレーション技法の基礎を修得し、現実への応用に向けての意欲を持てるようになることが目的・到達目標である。

授業方法と留意点

毎回、パソコンを用いた授業を行う。まず、テキストをもとに基本モデルを説明し、次にExcelの関数やマクロを用いてモデル化を行い、いろいろなパラメータ値でシミュレーションを行うことで、経営問題への理解を深めていく。

科目学習の効果（資格）

基本情報処理技術者や中小企業診断士を始め、情報系・経営系の資格取得に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 シミュレーションとは
【内容・方法 等】 シミュレーションの定義を説明する。次に、シミュレーションの利用事例をいくつか紹介し、引き続き授業への導入を図る。
【事前・事後学習課題】 身近にあるシミュレーションの利用事例を探してみよう。
- 第2回 【授業テーマ】 変動量と統計
【内容・方法 等】 変動をどう捉えるか、扱うのかについて学習する。とくに、ランダムネス（でたらめさ）の検定、統計量と確率分布について、演習を交えて解説する。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第3回 【授業テーマ】 疑似乱数の作成と検定（1）
【内容・方法 等】 一様乱数の作成と適合度の検定について、演習を交えて説明する。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第4回 【授業テーマ】 疑似乱数の作成と検定（2）
【内容・方法 等】 特定の確率分布にしたがう乱数の作成について、演習を交えて説明する。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第5回 【授業テーマ】 シミュレーションの入門事例
【内容・方法 等】 定期預金の利息とローン返済計画について、基本的な考え方を解説し、演習を行う。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第6回 【授業テーマ】 決定問題のシミュレーション（1）
【内容・方法 等】 決定の木を用いた中古バイクの売却問題を解説し、簡単な演習を行う。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第7回 【授業テーマ】 決定問題のシミュレーション（2）
【内容・方法 等】 取引相手の決定についてのシミュレーション方法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第8回 【授業テーマ】 決定問題のシミュレーション（3）
【内容・方法 等】 社員の採用問題についてのシミュレーション方法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第9回 【授業テーマ】 在庫問題のシミュレーション（1）
【内容・方法 等】 新聞売り子問題のシミュレーションによる解法を説明し、応用問題に取り組む。

- 第10回** 【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
【授業テーマ】 在庫問題のシミュレーション (2)
【内容・方法 等】 定期発注方式の理論とシミュレーションによる最適化技法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第11回** 【授業テーマ】 在庫問題のシミュレーション (3)
【内容・方法 等】 発注点 (定量) 発注方式の理論とシミュレーションによる最適化技法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第12回** 【授業テーマ】 待ち行列のシミュレーション (1)
【内容・方法 等】 定期到着、ランダムサービスの場合のモデル化とシミュレーション技法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第13回** 【授業テーマ】 待ち行列のシミュレーション (2)
【内容・方法 等】 ランダム到着、ランダムサービスの場合のモデル化とシミュレーション技法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第14回** 【授業テーマ】 待ち行列のシミュレーション (3)
【内容・方法 等】 複数窓口の場合のモデル化とシミュレーションによる最適化技法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
- 第15回** 【授業テーマ】 シミュレーション専用ソフトの利用事例
【内容・方法 等】 専用ソフトを用いた工場のシミュレーションや社会システムのマルチエージェントシミュレーションの利用事例を紹介する。
【事前・事後学習課題】 この授業で学んだことを振り返ろう。

評価方法 (基準)
学習内容の性質上、定期試験は行いません。したがって成績は、授業中に行う演習課題のレポート (50%) と応用課題のレポート (50%) で評価します。

教材等

教科書…荒木勉、栗原和夫、シミュレーション (Excelで学ぶ経営科学入門シリーズ4巻)、実教出版、1800円

参考書…必要に応じて、授業中に適宜紹介します。

学生へのメッセージ

毎回、Excelを用いたシミュレーションを行います。基本的な技法を繰り返し、かつ積み重ねながら学習することになりますので、できるだけ欠席しないようにしてください。

関連科目

オペレーションズリサーチ I、II、III

担当者の研究室等

11号館7階 黒澤教授室

環境管理特別講義

Special Lectures in Environmental Control

八木 俊 策 (ヤギ シュンサク)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

環境に関する基本的な知識や考え方を身につけておくことは、社会人あるいは科学技術者の必須事項である。本授業により、身近な生活環境から地球環境にいたるさまざまなスケールの環境の状況と環境保全技術について習得することができる。到達目標は次の事項を理解し、環境に関する基礎知識を習得することである。1. 環境のトレンドと現状 2. 大気環境の保全技術 3. 水環境の保全技術 4. 循環型社会形成 5. 環境リスク 6. 生物多様性 7. 環境管理技術。
学科の学習・教育目標との対応：[G]

授業方法と留意点

授業はパワーポイントと板書により行う。また環境に関する図表等のプリントを配布するので必ず持参すること。事前・事後学習課題に取り組む、学習効果を高めること。

科目学習の効果 (資格)

環境に関する学習は、現代社会における科学技術者・社会人の基本的素養として、きわめて重要である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 生命と環境
【内容・方法 等】 講義概要、生命と環境
【事前・事後学習課題】 生命と環境について復習し、さらに発展的に学習しておくこと。

- 第2回** 【授業テーマ】 環境のトレンド
【内容・方法 等】 人口、水資源、食料、エネルギーなどの動向
【事前・事後学習課題】 環境のトレンドについて復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 環境の現状 (1)
【内容・方法 等】 地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊などの地球環境の現状
【事前・事後学習課題】 地球環境の現状について復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 環境の現状 (2)
【内容・方法 等】 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの都市環境の現状
【事前・事後学習課題】 都市環境の現状について復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 大気環境の保全技術
【内容・方法 等】 固定発生源・移動発生源、大気保全対策等
【事前・事後学習課題】 大気環境の保全技術について復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 水環境の保全技術 (1)
【内容・方法 等】 水資源、水需要、水質汚濁の基礎
【事前・事後学習課題】 水資源、水需要、水質汚濁の基礎について復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 水環境の保全技術 (2)
【内容・方法 等】 上水道、高度浄水処理など
【事前・事後学習課題】 上水道、高度浄水処理などについて復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 水環境の保全技術 (3)
【内容・方法 等】 下水道、高度下水処理など
【事前・事後学習課題】 下水道、高度下水処理などについて復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 循環型社会形成 (1)
【内容・方法 等】 廃棄物と資源、拡大生産者責任、リサイクル法等
【事前・事後学習課題】 廃棄物問題について復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 循環型社会形成 (2)
【内容・方法 等】 再生利用技術 (家電リサイクル、循環生産システム等)
【事前・事後学習課題】 再生利用技術について復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 化学物質の環境リスク
【内容・方法 等】 有害化学物質の実態、環境リスク評価等
【事前・事後学習課題】 化学物質の環境リスクについて復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 生物多様性の保全
【内容・方法 等】 生態系サービス、多様性配慮のライフスタイル等
【事前・事後学習課題】 生物多様性について復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 環境の管理技術 (1)
【内容・方法 等】 ISO14001、環境ラベル、LCA等
【事前・事後学習課題】 ISO14001、環境ラベル、LCA等について復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 環境の管理技術 (2)
【内容・方法 等】 グリーンイノベーション、再生可能エネルギーなど
【事前・事後学習課題】 グリーンイノベーション、再生可能エネルギーなどについて復習し、さらに発展的に学習しておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 本講義の総括と発展的課題
【事前・事後学習課題】 本講義を全体的に復習し、発展的な課題について学習すること。

特別講義I (安久、 河田) Special Lectures I				
安久典宏 (アグ ミチヒロ) 河田正興 (カワタ マサオキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 授業概要：大学を卒業しても就職することだけが目的ではなく、自分自身で起業（ベンチャー企業）してみるのも一つの方法です。ベンチャービジネスとは何か、どうすれば起業できるのかについて、わかりやすく解説します。
 目的：この授業では起業を目指す学生だけではなく、就職する学生にとってもベンチャースピリットがいかに大切かについて学習します。
 到達目標：ベンチャースピリットの重要性についての理解。

授業方法と留意点
 授業方法：
 (1) 専門家によるリレー講義です。
 (2) 経験豊富な実務家の貴重なビジネス体験談が受講できます。
 (3) 毎回、レジュメ（プリント）が配布されます。事前にファイリングするフォルダー（2穴）を準備すること。
 留意点：重要な点をきちんとメモして、提出レポートに反映させること。また、聴講のマナーを厳守すること。

科目学習の効果（資格）
 経験豊富なさまざまな専門家（起業家）の体験談を直接聞き学ぶことで、社会に対する認識と仕事選択に対する考え方や選択肢を広げることができる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回** 【授業テーマ】 「ベンチャービジネス論」開講の意義、受講できる専門科目との関連性
 【4月10日】
 【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス論の摂南大学のキャリア教育との関係について
 (株) ビジネスファーム研究所 代表取締役 河田正興、安久典宏
 【事前・事後学習課題】 予習：ベンチャービジネスについての意味を調べてください。
- 第2回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 概説
 【4月17日】
 【内容・方法等】 ・ベンチャービジネスの今日的な時代要請
 (株) ビジネスファーム研究所 代表取締役 河田正興、安久典宏
 【事前・事後学習課題】 予習：ベンチャービジネスについて雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第3回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (1)
 【4月24日】
 【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-従業員採用における基礎知識-
 総合事務所ネクスト 所長 特定社会保険労務士 小西勝、安久典宏
 【事前・事後学習課題】 予習：従業員採用についてホームページで調べてみましょう。
- 第4回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論 (1)
 【5月1日】
 【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題-卸売業-
 船井総合研究所 チーフコンサルタント 箕浦幸孝、安久典宏
 【事前・事後学習課題】 予習：卸売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第5回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論 (2)
 【5月8日】
 【内容・方法等】 ・国による中小・ベンチャー企業支援と東日本大震災の復興支援
 (独) 中小企業基盤整備機構 経営診断総括室兼震災復興支援局 参事/地域活性化伝導師 (内閣府) 中小企業診断士 (経済産業省) 長坂泰之、安久典宏
 【事前・事後学習課題】 予習：企業支援について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第6回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論 (3)
 【5月15日】
 【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題-製造業-
 (株) ウィズダムマネジメント 長谷川中小企業診断士事務所 所長 長谷川好宏、安久典宏
 【事前・事後学習課題】 予習：製造業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第7回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論 (4)
 【5月22日】

- 【内容・方法等】** ・ベンチャービジネス展開に関する手法-設計製造分野でのIT活用-
 キャディック(株) 代表取締役 筒井真作、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：キャディック(株)についてホームページで調べてみましょう。
- 第8回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (2)
 【5月29日】
【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題-小売業-
 ビジネスファームサカモト代表 マネジメントコンサルタント 坂元雅子、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：小売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第9回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (3)
 【6月5日】
【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-デパ地下事業の活性化-
 MDドクターK 代表 河崎友彦、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：流通業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第10回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (4)
 【6月12日】
【内容・方法等】 ・食品小売業界の現状
 ~大手ナショナルチェーン・生協・中小スーパーの今~
 AKR共栄会 事務局長 大西基裕、質疑・討論 河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：食品小売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第11回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (5)
 【6月19日】
【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-NPO法人による社会救済支援-
 グッド・サマリタン・チャーチ 牧師 金子道仁、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：NPOについて調べてみましょう。
- 第12回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (6)
 【6月26日】
【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-投資育成の実践-
 (株) ファンドファンクション 代表取締役 萩原真幸
 ・コメント・質疑・討論 河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：投資育成についてホームページで調べてみましょう。
- 第13回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 課題論
 【7月3日】
【内容・方法等】 ・実体験を踏まえたビジネスの楽しさと苦しさについての実践事例
 (株) ビジネスファーム研究所 顧問 永田賢次、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：黒字倒産について調べてみましょう。
- 第14回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 課題論
 【7月10日】
【内容・方法等】 ・協同組合など、中小企業連携組織を活用したベンチャービジネスの事例
 -東大阪の人工衛星開発などを中心に-
 (株) ビジネスファーム研究所 主任研究員 佐久間雅、質疑・討論 河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：協同組合など、中小企業連携組織についてしらべてみましょう
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
 【7月17日】
【内容・方法等】 今までの講義内容を整理し、まとめを行います。
 (株) ビジネスファーム研究所 代表取締役 河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】 - -
- 評価方法（基準）**
 原則、レポートの内容（50%）と定期期末試験結果（50%）で評価します。
- 教材等**
教科書…各講師のレジュメ教材を配布します（各自レジュメ保管ファイル<2穴>を準備すること）。
参考書…今井哲、「ベンチャービジネス」、学文社、2006、(2400円)
- 学生へのメッセージ**
 ベンチャービジネスの専門家と直接話し合ってみませんか。皆さんの将来に対する夢が膨らみます。
- 関連科目**
 ビジネスプラン、経営学
- 担当者の研究室等**
 11号館8階 安久研究室

特別講義II
Special Lectures II

森 脇 俊 道 (モリワキ トシミチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

現在の製造業では、業種本来の固有技術と並んで、管理技術のレベルがその企業の業績を左右するといわれている。本講義では、管理技術の基本的な考え方を主体に講義するとともに、学生が自ら考える習慣を養う。到達目標は、品質管理活動の基本的な考え方、QCの基本的な手法、生産活動の基本的な考え方とその管理の仕組みを理解することにある。
学科の学習・教育目標との対応：[H]

授業方法と留意点

基本的な考え方を中心に講義するとともに、毎回講義内容について、まとめを提出することによって、理解を深める。

科目学習の効果（資格）

経営管理部門、経営企画部門、生産管理部門を始め企業経営全般に関連する部門の管理手法が習得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 講義の概要、工業技術の変遷と動向
【内容・方法 等】 日本における工業技術の変遷、社会変化と技術の動向
【事前・事後学習課題】 日本における工業技術の進歩とその原動力について考える
- 第2回 【授業テーマ】 企業経営とものづくりマネジメント
【内容・方法 等】 ものづくり企業における管理項目
【事前・事後学習課題】 企業経営において必要な管理項目についてまとめる
- 第3回 【授業テーマ】 品質管理とTQC（1）
（品質管理とは）
【内容・方法 等】 品質管理の考え方、TQCの概念
【事前・事後学習課題】 品質管理の必要異性とその歴史的な動向についてまとめる
- 第4回 【授業テーマ】 品質管理とTQC（2）
（統計的品質管理の考え方）
【内容・方法 等】 統計データの意味、分布の考え方
【事前・事後学習課題】 統計手法の基本を復習する
- 第5回 【授業テーマ】 品質管理とTQC（3）
（工程管理）
【内容・方法 等】 工程分割と作業編成の考え方
【事前・事後学習課題】 具体的なものづくりにおける工程について考える
- 第6回 【授業テーマ】 品質管理とTQC（4）
（信頼性の向上）
【内容・方法 等】 信頼性向上の考え方とその方策
【事前・事後学習課題】 統計的品質管理の具体例について演習を行う
- 第7回 【授業テーマ】 生産技術と生産性向上
【内容・方法 等】 生産管理技術の変遷と、工程・作業・動作分析手法
【事前・事後学習課題】 のづくりの技術の歴史的な変遷についてまとめる
- 第8回 【授業テーマ】 生産システムと生産管理
【内容・方法 等】 生産システム発展の歴史とFA、CIMの概念
【事前・事後学習課題】 FMSの具体例について調べる
- 第9回 【授業テーマ】 生産管理と需要予測
【内容・方法 等】 生産管理の主要業務と需要予測の方法
【事前・事後学習課題】 予測手法の具体例について演習を行う
- 第10回 【授業テーマ】 生産計画とラインバランシング
【内容・方法 等】 ライン生産方式とラインバランシングの考え方
【事前・事後学習課題】 ラインバランシングの具体例についての演習を行う
- 第11回 【授業テーマ】 在庫管理
【内容・方法 等】 生産在庫の発注方式
【事前・事後学習課題】 発注方式の違いについてまとめる
- 第12回 【授業テーマ】 生産スケジューリング
【内容・方法 等】 ジョブショップ生産におけるスケジューリング問題の考え方
【事前・事後学習課題】 ガントチャートを用いたスケジューリングの実例の演習を行う
- 第13回 【授業テーマ】 機械加工における最適化
【内容・方法 等】 機械加工生産システムにおける最適化の考え方
【事前・事後学習課題】 切削加工の例をとって、最適切削条件を求める
- 第14回 【授業テーマ】 設備保全
【内容・方法 等】 設備保全の考え方と問題点
【事前・事後学習課題】 設備保全の在り方についてまとめる

第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ

【内容・方法 等】 管理工学に関する講義のまとめ

【事前・事後学習課題】 本講義を通じて学んだことをまとめる

評価方法（基準）

平常点50%、期末テスト50%で評価する。平常点は、授業への参加度、毎回の課題への回答に基づいて総合的に評価する。

教材等

教科書…特に指定しない、授業内容に応じてプリントを配布する。
参考書…授業内容に応じて別途指示する。

学生へのメッセージ

本講義では、ものづくり企業における管理の基本を学ぶことが中心となるが、現実の社会における企業の問題などを取り扱うため、新聞の記事やテレビの評論など、関連の事項について日頃から慣れ親しんでおくようにしてほしい。

関連科目

品質管理システム、生産マネジメント、統計学

担当者の研究室等

1 2号館 6階 森脇教授室

基礎数学演習

Basic Mathematics Tutorials

友 枝 恭 子 (トモエダ キョウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ハ	前期(30回)	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義は微積分学への準備となるように意図されている。微積分の講義では説明が省略されるか簡単に済まされるものに対して詳しい説明と演習を行う。微積分学は瞬間の変化を記述し、微小なものを足し合わせる方法を教えている。その動機付けとなるような問題も扱いたいと思っている。そのため物理からの簡単な応用問題も取り上げたいと思っている。主な目標は(1)種々の量を文字式で表現できる。(2)初等関数の性質を利用した計算ができる。(3)平行移動、対称移動を利用して関数のグラフが描ける。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

教科書に基づく講義と演習を中心に進める。これと並行して、各単元の内容の演習を演習教材(ワークブック)を用いて次のサイクルで実施する：

(1) 授業で指定された演習問題に解答し、(2) 教員の評価を受けること。正解するまでやり直し、(3) その単元の全問題に正答した時点で、教員から検印を貰う。

科目学習の効果(資格)

微積分、線形代数のための基礎を身につけて、専門科目で用いられる数式理解に役立てる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 整数・有理数・無理数
【内容・方法等】 ・オリエンテーション
・整数・有理数・無理数の諸性質
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.1~1.4章 レポート課題
- 第2回 【授業テーマ】 複素数・無理数
【内容・方法等】 ・複素数の四則演算
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.5~1.6章 レポート課題
- 第3回 【授業テーマ】 複素平面と極形式
【内容・方法等】 ・複素数の極形式表示
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.7章 レポート課題
- 第4回 【授業テーマ】 文字式
【内容・方法等】 ・文字式の展開・因数分解
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.1~2.3章 レポート課題
- 第5回 【授業テーマ】 2次方程式
【内容・方法等】 ・解の公式等による2次方程式の解法
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.4章 レポート課題
- 第6回 【授業テーマ】 高次方程式
【内容・方法等】 ・因数定理を用いた高次方程式の解法
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.4章 レポート課題
- 第7回 【授業テーマ】 1次関数(1)
【内容・方法等】 ・直線の式、直交条件
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.1章 レポート課題
- 第8回 【授業テーマ】 1次関数(2)
【内容・方法等】 ・1次関数の応用
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.1章 レポート課題
- 第9回 【授業テーマ】 2次関数
【内容・方法等】 ・グラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.2章 レポート課題
- 第10回 【授業テーマ】 無理関数
【内容・方法等】 ・グラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.2章 レポート課題
- 第11回 【授業テーマ】 分数式
【内容・方法等】 ・計算・部分分数分解
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第4.1-4.2章 レポート課題
- 第12回 【授業テーマ】 分数式
【内容・方法等】 ・グラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第4.2章
- 第13回 【授業テーマ】 三角比(1)
【内容・方法等】 ・一般角、三平方の定理とその応用
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.1章 レポート課題
- 第14回 【授業テーマ】 三角比(2)
【内容・方法等】 ・三角関数の定義、グラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.2章 レポート課題
- 第15回 【授業テーマ】 三角比(3)
【内容・方法等】 ・三角比の計算、余弦定理
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.2~5.3章 レポート課題
- 第16回 【授業テーマ】 絶対値(1)
【内容・方法等】 ・絶対値の基本的性質
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第6.1章 レポート課題

- 第17回 【授業テーマ】 絶対値(2)
【内容・方法等】 ・絶対値付きの方程式の解法、グラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第6.2~6.3章 レポート課題
- 第18回 【授業テーマ】 指数関数(1)
【内容・方法等】 ・指数法則
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.1章 レポート課題
- 第19回 【授業テーマ】 指数関数(2)
【内容・方法等】 ・指数関数のグラフ、方程式の解法
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.1章 レポート課題
- 第20回 【授業テーマ】 対数関数(1)
【内容・方法等】 ・対数の定義、底の変換公式
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第21回 【授業テーマ】 対数関数(2)
【内容・方法等】 ・対数関数を含む方程式
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第22回 【授業テーマ】 対数関数(3)
【内容・方法等】 ・対数関数のグラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第23回 【授業テーマ】 三角関数(1)
【内容・方法等】 ・加法定理
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.1章 レポート課題
- 第24回 【授業テーマ】 三角関数(2)
【内容・方法等】 ・加法定理を用いた計算問題
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.1章 レポート課題
- 第25回 【授業テーマ】 三角関数(3)
【内容・方法等】 ・加法定理から導かれる種々の公式
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.2章 レポート課題
- 第26回 【授業テーマ】 三角関数(4)
【内容・方法等】 ・加法定理を用いた三角関数のグラフの描き方
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.3章 レポート課題
- 第27回 【授業テーマ】 数列
【内容・方法等】 ・等差数列、等比数列
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.1~9.3章 レポート課題
- 第28回 【授業テーマ】 和の公式
【内容・方法等】 ・等差数列、等比数列の和、シグマ記号に慣れる
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.2~9.4章 レポート課題
- 第29回 【授業テーマ】 数学的帰納法
【内容・方法等】 ・数学的帰納法を用いた証明
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.5章 レポート課題
- 第30回 【授業テーマ】 総合演習
評価方法(基準)

全単元の検印を受けて演習教材(ワークブック)を完遂した者のみを成績評価の対象とし、演習、小テスト、演習教材(ワークブック)で30%、定期テスト(中間、期末)で70%の割合で判定し評価する。

教材等

教科書…数学の基礎(基礎理工学機構編) 日々の演習(基礎理工学機構編)
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

教科書の問題を自分で何度も解いて数式を扱う経験を十分に積むよう努力してください。演習は必ず自分で解こうと努力し、わからないところは質問する積極的な姿勢を望みます。

関連科目

数式を用いるすべての科目、特に微積分。

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

微積分 Calculus I

西 脇 純 一 (ニシワキ ジュンイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ニ	前期(30回)	選択必修	4

授業概要・目的・到達目標

整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる。2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の

素養，計算能力を身につけるために授業には必ず出席し，予習復習も励行すること。試験は中間，期末の計2回

科目学習の効果（資格）
本講義の内容は後期の微積分Ⅱを習得するのに引き継がれる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示
【事前・事後学習課題】 第1章の間，問題 課題レポート
 - 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ
【事前・事後学習課題】 第1章の間，問題 課題レポート
 - 第3回 【授業テーマ】 関数の極限
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法
【事前・事後学習課題】 第1章の間，問題 課題レポート
 - 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質
【事前・事後学習課題】 第1章の間，問題 課題レポート
 - 第5回 【授業テーマ】 微分係数
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式
【事前・事後学習課題】 第2章の間，問題 課題レポート
 - 第6回 【授業テーマ】 導関数
【内容・方法等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間，問題 課題レポート
 - 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法
【内容・方法等】 ・積，商の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間，問題 課題レポート
 - 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数
【内容・方法等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間，問題 課題レポート
 - 第9回 【授業テーマ】 逆関数の微分
【内容・方法等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間，問題 課題レポート
 - 第10回 【授業テーマ】 指数関数
【内容・方法等】 ・指数法則・ネイピアの数 e・指数関数の定義
【事前・事後学習課題】 第3章の間，問題 課題レポート
 - 第11回 【授業テーマ】 指数関数の微分
【内容・方法等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分
【事前・事後学習課題】 第3章の間，問題 課題レポート
 - 第12回 【授業テーマ】 対数関数
【内容・方法等】 ・自然対数の定義・対数の性質
【事前・事後学習課題】 第3章の間，問題 課題レポート
 - 第13回 【授業テーマ】 対数関数の微分
【内容・方法等】 ・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法
【事前・事後学習課題】 第3章の間，問題 課題レポート
 - 第14回 【授業テーマ】 3角関数
【内容・方法等】 ・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式
【事前・事後学習課題】 第4章の間，問題 課題レポート
 - 第15回 【授業テーマ】 3角関数・逆3角関数の微分
【内容・方法等】 ・ $\sin x$ の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分
【事前・事後学習課題】 第4章の間，問題 課題レポート
 - 第16回 【授業テーマ】 高次導関数(1)
【内容・方法等】 ・高次導関数の定義・多項式の高次導関数
【事前・事後学習課題】 第5章の間，問題 課題レポート
 - 第17回 【授業テーマ】 高次導関数(2)
【内容・方法等】 ・指数，対数，3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式
【事前・事後学習課題】 第5章の間，問題 課題レポート
 - 第18回 【授業テーマ】 平均値の定理
【内容・方法等】 ・ロルの定理・平均値の定理
【事前・事後学習課題】 第6章の間，問題 課題レポート
 - 第19回 【授業テーマ】 関数の挙動(1)
【内容・方法等】 ・関数の増減・極大，極小
【事前・事後学習課題】 第6章の間，問題 課題レポート
 - 第20回 【授業テーマ】 関数の挙動(2)
【内容・方法等】 ・グラフの凹凸・変曲点
【事前・事後学習課題】 第6章の間，問題 課題レポート
 - 第21回 【授業テーマ】 関数の展開(1)
【内容・方法等】 ・テイラー展開・マクローリン展開
【事前・事後学習課題】 第6章の間，問題 課題レポート
 - 第22回 【授業テーマ】 関数の展開(2)
【内容・方法等】 ・指数関数，3角関数，対数関数の展開・2項定理の一般化
【事前・事後学習課題】 第6章の間，問題 課題レポート
 - 第23回 【授業テーマ】 原始関数(1)
【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間，問題 課題レポート
 - 第24回 【授業テーマ】 原始関数(2)
【内容・方法等】 ・整式，有理式的不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間，問題 課題レポート

- 第25回 【授業テーマ】 原始関数(3)
【内容・方法等】 ・3角関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間，問題 課題レポート
- 第26回 【授業テーマ】 原始関数(4)
【内容・方法等】 ・指数関数，対数関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間，問題 課題レポート
- 第27回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・置換積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間，問題 課題レポート
- 第28回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)
【内容・方法等】 ・部分積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間，問題 課題レポート
- 第29回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)
【内容・方法等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間，問題 課題レポート
- 第30回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)
評価方法（基準）
演習，小テストで約30%，定期テスト(中間，期末)で約70%判定し評価する。
- 教材等
教科書…微積分の基礎(数学研究室編)
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他，数学研究室にも多数あり貸し出し可。
- 学生へのメッセージ
講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また，スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学，自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。
- 関連科目
微積分Ⅱ，線形代数Ⅰ・Ⅱ
- 担当者の研究室等
3号館3階 数学研究室

微積分I Calculus I				
西脇純一(ニシワキ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	選択必修	4

- 授業概要・目的・到達目標
整式，有理式，無理関数，3角，指数，対数関数などの基本的な関数について，微分の計算法，テイラー展開の求め方，不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。
学科の学習・教育目標の対応：[C]
- 授業方法と留意点
進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し，演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の素養，計算能力を身につけるために授業には必ず出席し，予習復習も励行すること。試験は中間，期末の計2回
- 科目学習の効果（資格）
本講義の内容は後期の微積分Ⅱを習得するのに引き継がれる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示
【事前・事後学習課題】 第1章の間，問題 課題レポート
 - 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ
【事前・事後学習課題】 第1章の間，問題 課題レポート
 - 第3回 【授業テーマ】 関数の極限
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法
【事前・事後学習課題】 第1章の間，問題 課題レポート
 - 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質
【事前・事後学習課題】 第1章の間，問題 課題レポート
 - 第5回 【授業テーマ】 微分係数
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式
【事前・事後学習課題】 第2章の間，問題 課題レポート
 - 第6回 【授業テーマ】 導関数
【内容・方法等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間，問題 課題レポート
 - 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法
【内容・方法等】 ・積，商の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間，問題 課題レポート
 - 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数

- 【内容・方法等】・合成の方法・合成関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】第2章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】逆関数の微分
- 第9回 【内容・方法等】・逆関数の定義・逆関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】第2章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】指数関数
- 第10回 【内容・方法等】・指数法則・ネピアの数 e ・指数関数の定義
【事前・事後学習課題】第3章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】指数関数の微分
- 第11回 【内容・方法等】・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分
【事前・事後学習課題】第3章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】対数関数
- 第12回 【内容・方法等】・自然対数の定義・対数の性質
【事前・事後学習課題】第3章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】対数関数の微分
- 第13回 【内容・方法等】・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法
【事前・事後学習課題】第3章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】3角関数
- 第14回 【内容・方法等】・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式
【事前・事後学習課題】第4章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】3角関数・逆3角関数の微分
- 第15回 【内容・方法等】・ $\sin x$ の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分
【事前・事後学習課題】第4章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】高次導関数(1)
- 第16回 【内容・方法等】・高次導関数の定義・多項式の高次導関数
【事前・事後学習課題】第5章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】高次導関数(2)
- 第17回 【内容・方法等】・指数、対数、3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式
【事前・事後学習課題】第5章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】平均値の定理
- 第18回 【内容・方法等】・ロルの定理・平均値の定理
【事前・事後学習課題】第6章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】関数の挙動(1)
- 第19回 【内容・方法等】・関数の増減・極大、極小
【事前・事後学習課題】第6章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】関数の挙動(2)
- 第20回 【内容・方法等】・グラフの凹凸・変曲点
【事前・事後学習課題】第6章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】関数の展開(1)
- 第21回 【内容・方法等】・テイラー展開・マクローリン展開
【事前・事後学習課題】第6章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】関数の展開(2)
- 第22回 【内容・方法等】・指数関数、3角関数、対数関数の展開・2項定理の一般化
【事前・事後学習課題】第6章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】原始関数(1)
- 第23回 【内容・方法等】・微分の逆演算としての不定積分
【事前・事後学習課題】第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】原始関数(2)
- 第24回 【内容・方法等】・整式、有理式的不定積分
【事前・事後学習課題】第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】原始関数(3)
- 第25回 【内容・方法等】・3角関数の不定積分
【事前・事後学習課題】第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】原始関数(4)
- 第26回 【内容・方法等】・指数関数、対数関数の不定積分
【事前・事後学習課題】第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】不定積分の計算法(1)
- 第27回 【内容・方法等】・置換積分
【事前・事後学習課題】第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】不定積分の計算法(2)
- 第28回 【内容・方法等】・部分積分
【事前・事後学習課題】第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】不定積分の計算法(3)
- 第29回 【内容・方法等】・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分
【事前・事後学習課題】第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】不定積分の計算法(4)

評価方法 (基準)
演習、小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

教材等
教科書…微積分の基礎(数学研究室編)
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ
講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科

学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目
微積分II、線形代数I・II
担当者の研究室等
3号館3階 数学研究室

微積分I Calculus I				
友 枝 恭 子(トモエダ キョウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択必修	4

授業概要・目的・到達目標

整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。

学科の学習・教育目標の対応：[C]

授業方法と留意点

進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の素養、計算能力を身につけるために授業には必ず出席し、予習復習も励行すること。試験は中間、期末の計2回

科目学習の効果(資格)

本講義の内容は後期の微積分IIを習得するのに引き継がれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】関数とそのグラフ(1)
【内容・方法等】・座標平面・点の表示・点の移動の表示
【事前・事後学習課題】第1章の間、問題 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】関数とそのグラフ(2)
【内容・方法等】・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ
【事前・事後学習課題】第1章の間、問題 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】関数の極限
【内容・方法等】・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法
【事前・事後学習課題】第1章の間、問題 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】関数の連続性
【内容・方法等】・連続性の定義・連続関数の性質
【事前・事後学習課題】第1章の間、問題 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】微分係数
【内容・方法等】・微分係数の定義・接線の方程式
【事前・事後学習課題】第2章の間、問題 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】導関数
【内容・方法等】・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数
【事前・事後学習課題】第2章の間、問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】導関数の計算方法
【内容・方法等】・積、商の導関数
【事前・事後学習課題】第2章の間、問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】合成関数の微分高次導関数
【内容・方法等】・合成の方法・合成関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】第2章の間、問題 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】逆関数の微分
【内容・方法等】・逆関数の定義・逆関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】第2章の間、問題 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】指数関数
【内容・方法等】・指数法則・ネピアの数 e ・指数関数の定義
【事前・事後学習課題】第3章の間、問題 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】指数関数の微分
【内容・方法等】・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分
【事前・事後学習課題】第3章の間、問題 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】対数関数
【内容・方法等】・自然対数の定義・対数の性質
【事前・事後学習課題】第3章の間、問題 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】対数関数の微分
【内容・方法等】・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法
【事前・事後学習課題】第3章の間、問題 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】3角関数
【内容・方法等】・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式
【事前・事後学習課題】第4章の間、問題 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】3角関数・逆3角関数の微分
【内容・方法等】・ $\sin x$ の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分
【事前・事後学習課題】第4章の間、問題 課題レポート
- 第16回 【授業テーマ】高次導関数(1)
【内容・方法等】・高次導関数の定義・多項式の高次導関数
【事前・事後学習課題】第5章の間、問題 課題レポート

専門関連科目

- 第17回 【授業テーマ】 高次導関数(2)
【内容・方法等】 ・指数, 対数, 3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式
【事前・事後学習課題】 第5章の間, 問題 課題レポート
- 第18回 【授業テーマ】 平均値の定理
【内容・方法等】 ・ロルの定理・平均値の定理
【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート
- 第19回 【授業テーマ】 関数の挙動(1)
【内容・方法等】 ・関数の増減・極大, 極小
【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート
- 第20回 【授業テーマ】 関数の挙動(2)
【内容・方法等】 ・グラフの凹凸・変曲点
【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート
- 第21回 【授業テーマ】 関数の展開(1)
【内容・方法等】 ・テイラー展開・マクローリン展開
【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート
- 第22回 【授業テーマ】 関数の展開(2)
【内容・方法等】 ・指数関数, 3角関数, 対数関数の展開・2項定理の一般化
【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート
- 第23回 【授業テーマ】 原始関数(1)
【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第24回 【授業テーマ】 原始関数(2)
【内容・方法等】 ・整式, 有理式的不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第25回 【授業テーマ】 原始関数(3)
【内容・方法等】 ・3角関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第26回 【授業テーマ】 原始関数(4)
【内容・方法等】 ・指数関数, 対数関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第27回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・置換積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第28回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)
【内容・方法等】 ・部分積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第29回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)
【内容・方法等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第30回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)

評価方法 (基準)

演習,小テストで30%, 定期テスト(中間, 期末)で70%判定し評価する。

教材等

教科書…微積分の基礎(数学研究室編)

参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他, 数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また, スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学, 自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目

以下の科目の講義は微積分Iの知識とスキルを前提にして授業が進められます:

微積分II, 工業数学I, 工業数学II, 代数学, 幾何学II, 解析学

上記科目を受講する予定の学生は微積分Iを履修すること。

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

微積分II
Calculus II

田畑謙二 (タバタ ケンジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	選択必修	4

授業概要・目的・到達目標

定積分の概念と計算法, 2変数関数の偏微分の計算とそのグラフの把握, 重積分の概念と計算法, 以上を説明する。・到達目標1) 基本的な関数の積分ができる2)偏微分の計算ができる3)2変数関数の挙動がわかる4)重積分の計算ができる。

学科の学習・教育目標の対応: [C]

授業方法と留意点

挙げた内容を具体的な計算例を中心にできるだけ平易に解説し, 理解の程度を演習により確かめる。受講者はその厳選された平易な内容を確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そ

のためには, 欠席をせず授業の前に30分でも良いから復習を重ねること。

科目学習の効果 (資格)

本講義の内容は, 応用数学, 情報処理等々の習得に引き継がれる。

毎回の授業テーマ, 内容・方法等, 事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 定積分の定義
【内容・方法等】 ・面積と定積分・定積分の定義・定積分の性質
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 簡単な定積分
【内容・方法等】 ・定数関数, 1次, 2次関数の定積分・不定積分と定積分・基本的な関数の定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 定積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・微積分の基本定理・不定積分と定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 定積分の応用(2)
【内容・方法等】 ・置換積分
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 定積分の応用(3)
【内容・方法等】 ・部分積分
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 定積分の応用(4)
【内容・方法等】 ・指数関数, 3角関数の定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 定積分の計算法(5)
【内容・方法等】 ・有理関数, 無理関数の定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 定積分の応用(1)
【内容・方法等】 ・曲線が囲む面積の計算
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 定積分の応用(2)
【内容・方法等】 ・体積の計算
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 定積分の応用(3)
【内容・方法等】 ・回転体の体積
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 定積分の応用(4)
【内容・方法等】 ・広義積分
【事前・事後学習課題】 第8章の間, 問題 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 2変数の関数(1)
【内容・方法等】 ・2変数関数の例・xy平面内の領域と関数の定義域
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(1)
【内容・方法等】 ・グラフとしての曲面・グラフ上の曲線
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 2変数の関数(2)
【内容・方法等】 ・2変数関数の極限・2変数関数の連続性
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(2)
【内容・方法等】 ・グラフ上の曲線の接線・接平面の導入
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第16回 【授業テーマ】 偏微分
【内容・方法等】 ・偏微分の定義
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第17回 【授業テーマ】 偏微分の計算(1)
【内容・方法等】 ・偏導関数の定義・偏導関数の計算法
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第18回 【授業テーマ】 偏微分の計算(2)
【内容・方法等】 ・偏微分可能性・全微分可能性
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第19回 【授業テーマ】 合成関数の偏微分
【内容・方法等】 ・2変数関数の合成と偏微分の計算
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第20回 【授業テーマ】 高次偏導関数(1)
【内容・方法等】 ・2次偏導関数の定義・偏微分の順序交換
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第21回 【授業テーマ】 高次偏導関数(2)
【内容・方法等】 ・合成の高次偏微分・偏微分作用素の表示
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第22回 【授業テーマ】 高次偏導関数(3)
【内容・方法等】 ・2変数のテイラー展開・マクローリン展開
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第23回 【授業テーマ】 偏微分の応用(1)
【内容・方法等】 ・2変数関数の極値問題
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第24回 【授業テーマ】 偏微分の応用(2)
【内容・方法等】 ・陰関数定理・条件付き極値問題
【事前・事後学習課題】 第9章の間, 問題 課題レポート
- 第25回 【授業テーマ】 重積分の定義(1)
【内容・方法等】 ・体積と重積分・長方形領域上での重積分
【事前・事後学習課題】 第10章の間, 問題 課題レポート

- 第26回 【授業テーマ】 重積分の定義(1)
【内容・方法等】 ・長方形上での逐次積分
【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート
- 第27回 【授業テーマ】 重積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・曲線で囲まれた領域上での重積分
【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート
- 第28回 【授業テーマ】 重積分の計算法(2)
【内容・方法等】 ・逐次積分への帰着
【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート
- 第29回 【授業テーマ】 重積分の計算法(3)
【内容・方法等】 ・重積分と立体の体積
【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート
- 第30回 【授業テーマ】 重積分の計算法(4)
- 評価方法 (基準)
演習小テストで約30%、習熟度確認テストと期末テスト約70%で判定し評価する。

教材等

教科書…微積分の基礎(数学研究室編) 2000円
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

どんなに些細な事でも遠慮なく質問すること、授業中でもいつでも親切に答えます。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、チューデントアワー(月-金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますのでどんな質問でも良いから来て下さい。数学は特に積み重ねが肝心の科目です。諦めずに続けましょう。

関連科目

微積分I、線形代数I・II

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

微積分II
Calculus II

佐々木 洋 平 (ササキ ヨウヘイ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択必修	4

授業概要・目的・到達目標

定積分の概念と計算法、2変数関数の偏微分の計算とそのグラフの把握、重積分の概念と計算法、以上を説明する。・到達目標1)基本的な関数の積分ができる2)偏微分の計算ができる3)2変数関数の挙動がわかる4)重積分の計算ができる。
学科の学習・教育目標の対応：[D]

授業方法と留意点

挙げた内容を具体的な計算例を中心にできるだけ平易に解説し、理解の程度を演習により確かめる。受講者はその厳選された平易な内容を確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのためには、欠席をせず授業の前30分でも良いから復習を重ねること。

科目学習の効果(資格)

本講義の内容は、工業数学及び諸々の専門科目の習得に引き継がれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 定積分の定義
【内容・方法等】 ・面積と定積分・定積分の定義・定積分の性質
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第2回 【授業テーマ】 簡単な定積分
【内容・方法等】 ・定数関数、1次、2次関数の定積分・不定積分と定積分・基本的な関数の定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第3回 【授業テーマ】 定積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・微積分の基本定理・不定積分と定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第4回 【授業テーマ】 定積分の計算法(2)
【内容・方法等】 ・置換積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第5回 【授業テーマ】 定積分の計算法(3)
【内容・方法等】 ・部分積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第6回 【授業テーマ】 定積分の計算法(4)
【内容・方法等】 ・指数関数、三角関数の定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第7回 【授業テーマ】 定積分の計算法(5)
【内容・方法等】 ・有理関数、無理関数の定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第8回 【授業テーマ】 定積分の応用(1)
【内容・方法等】 ・曲線が囲む面積の計算
【事前・事後学習課題】 第8章の問題

- 第9回 【授業テーマ】 定積分の応用(2)
【内容・方法等】 ・体積の計算
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第10回 【授業テーマ】 定積分の応用(3)
【内容・方法等】 ・回転体の体積
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第11回 【授業テーマ】 定積分の応用(4)
【内容・方法等】 ・広義積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第12回 【授業テーマ】 2変数の関数(1)
【内容・方法等】 ・2変数関数の例・xy平面内の領域と関数の定義域
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第13回 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(1)
【内容・方法等】 ・グラフとしての曲面・グラフ上の曲線
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第14回 【授業テーマ】 2変数の関数(2)
【内容・方法等】 ・2変数関数の極限・2変数関数の連続性
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第15回 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(2)
【内容・方法等】 ・グラフ上の曲線の接線・接平面の導入
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第16回 【授業テーマ】 偏微分
【内容・方法等】 ・偏微分の定義
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第17回 【授業テーマ】 偏微分の計算(1)
【内容・方法等】 ・偏導関数の定義・偏導関数の計算法
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第18回 【授業テーマ】 偏微分の計算(2)
【内容・方法等】 ・偏微分可能性・全微分可能性
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第19回 【授業テーマ】 合成関数の偏微分
【内容・方法等】 ・2変数関数の合成と偏微分の計算
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第20回 【授業テーマ】 高次偏導関数(1)
【内容・方法等】 ・2次偏導関数の定義・偏微分の順序交換
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第21回 【授業テーマ】 高次偏導関数(2)
【内容・方法等】 ・合成の高次偏微分・偏微分作用素の表示
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第22回 【授業テーマ】 高次偏導関数(3)
【内容・方法等】 ・2変数のテイラー展開・マクローリン展開
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第23回 【授業テーマ】 偏微分の応用(1)
【内容・方法等】 ・2変数関数の極値問題
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第24回 【授業テーマ】 偏微分の応用(2)
【内容・方法等】 ・陰関数定理・条件付き極値問題
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第25回 【授業テーマ】 重積分の定義(1)
【内容・方法等】 ・体積と重積分・長方形領域上での重積分
【事前・事後学習課題】 第10章の問題
- 第26回 【授業テーマ】 重積分の定義(2)
【内容・方法等】 ・長方形上での逐次積分
【事前・事後学習課題】 第10章の問題
- 第27回 【授業テーマ】 重積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・曲線で囲まれた領域上での重積分
【事前・事後学習課題】 第10章の問題
- 第28回 【授業テーマ】 重積分の計算法(2)
【内容・方法等】 ・逐次積分への帰着
【事前・事後学習課題】 第10章の問題
- 第29回 【授業テーマ】 重積分の計算法(3)
【内容・方法等】 ・重積分と立体の体積
【事前・事後学習課題】 第10章の問題
- 第30回 【授業テーマ】 重積分の計算法(4)
- 評価方法 (基準)
小テストで30%、習熟度確認テストで35%、期末テストで35%で判定し評価する。

教材等

教科書…微積分基礎 一理工系学生に向けて—(ISBN:978-4320110274) 2,310円
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目

微積分I、線形代数I・II

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

線形代数I
Linear Algebra I

田 畑 謙 二 (タバタ ケンジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

線形代数は、幾何ベクトルや連立1次方程式の取り扱い方を一般化してできた理論で、理工系学生に欠くことのできない数学的教養である。到達目標1)行列の計算ができる2)ベクトルの内積・外積を理解する3)基本変形で連立1次方程式を解く4)基本変形で逆行列を求める。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

授業では『授業テーマ』に掲げた内容を具体的な例を挙げつつ出来るだけ平易に説明する。基本的には授業の前半の60分を講義に充て、後半の30分を演習の時間に充てる。ただし講義の進行状況などにより変更することもある。

科目学習の効果（資格）

本講義の内容は線形代数IIへ引き継がれる。応用数学、情報処理などの基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 行列の定義(1)
【内容・方法等】 ・和、スカラー倍
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第2回 【授業テーマ】 行列の定義(2)
【内容・方法等】 ・積の定義・転置行列
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第3回 【授業テーマ】 正方行列(1)
【内容・方法等】 ・単位行列・正則行列の定義
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第4回 【授業テーマ】 正方行列(2)
【内容・方法等】 ・正則行列の性質
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第5回 【授業テーマ】 2次正方行列
【内容・方法等】 ・逆行列の計算
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第6回 【授業テーマ】 いろいろな行列
【内容・方法等】 ・対称行列・交代行列・ベキ零行列
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第7回 【授業テーマ】 連立1次方程式(1)
【内容・方法等】 ・消去法
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第8回 【授業テーマ】 連立1次方程式(2)
【内容・方法等】 ・連立1次方程式の行列表示・基本変形・階数
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第9回 【授業テーマ】 連立1次方程式(3)
【内容・方法等】 ・基本変形の正則行列表示・掃き出し法による逆行列の求め方
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第10回 【授業テーマ】 連立1次方程式(4)
【内容・方法等】 ・基本解・特殊解
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第11回 【授業テーマ】 連立1次方程式(5)
【内容・方法等】 ・同次連立1次方程式・正則行列となる条件
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第12回 【授業テーマ】 空間のベクトル(1)
【内容・方法等】 ・空間のベクトルの定義・和とスカラー倍
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第13回 【授業テーマ】 空間のベクトル(2)
【内容・方法等】 ・内積・距離
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第14回 【授業テーマ】 空間のベクトル(3)
【内容・方法等】 ・外積・スカラー3重積
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第15回 【授業テーマ】 空間のベクトル(4)
【内容・方法等】 ・直線の方程式・平面の方程式
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート

評価方法（基準）

演習小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

教材等

教科書…線形代数(摂南大学数学研究室)共立出版
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかなる質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してください。

関連科目

線形代数 II
担当者の研究室等
3号館3階 数学研究室

線形代数II
Linear Algebra II

西 脇 純 一(ニシワキ ジュンイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

行列式の計算法と行列の固有値と固有ベクトルの求め方が本講義の目的である。到達目標(1)行列式の計算(2)固有値と固有ベクトル(3)行列の3角化と対角化
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

授業ではテーマに掲げた内容を出来るだけ平易に説明する。基本的には授業の前半の60分を講義に充て、後半の30分を演習の時間に充てる。(1)演習問題は授業の前半に講義した内容から出題する。(2)期末試験の出題内容は授業中の演習問題レベルとする。

科目学習の効果（資格）

電磁気学、制御工学などの基礎となる。以下の科目の講義は線形代数IIの知識とスキルを前提にして授業が進められます：フーリエ解析、確率統計、代数学、幾何学II、解析学、応用数学I、応用数学II

上記科目を受講する予定の学生は線形代数IIを履修すること。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 行列式(1)
【内容・方法等】 ・置換の定義・置換の積・置換の符号
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第2回 【授業テーマ】 行列式(2)
【内容・方法等】 ・行列式の定義・多重線形性・交代性
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第3回 【授業テーマ】 行列式(3)
【内容・方法等】 ・2次正方行列の行列式・3次正方行列の行列式
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第4回 【授業テーマ】 行列式(4)
【内容・方法等】 ・行列式の余因子展開
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第5回 【授業テーマ】 行列式(5)
【内容・方法等】 ・行列の積と行列式・逆行列をもつ条件
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第6回 【授業テーマ】 行列式(6)
【内容・方法等】 ・余因子行列・逆行列
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第7回 【授業テーマ】 行列式(7)
【内容・方法等】 ・クラメールの公式
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第8回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(1)
【内容・方法等】 ・固有値・固有ベクトルの計算(1)
・固有値・固有ベクトルの計算(2)
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第9回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(2)
【内容・方法等】 ・固有値・固有ベクトルの計算(2)
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第10回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(3)
【内容・方法等】 ・正方行列の3角化
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第11回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(4)
【内容・方法等】 ・フロベニウスの定理・ハミルトン・ケーリーの定理
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第12回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(5)
【内容・方法等】 ・正方行列の対角化
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第13回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(6)
【内容・方法等】 ・実対称行列の対角化・直交行列
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第14回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(7)
【内容・方法等】 ・2次形式への応用・2次形式の符号
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第15回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(8)
【内容・方法等】 ・2次曲線、曲面の例
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート

評価方法（基準）

演習小テストで30%、中間テスト35%、期末テスト35%の割合で判定し評価する。

教材等

教科書…線形代数(摂南大学数学研究室)共立出版
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されて
いる他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかな
る質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細
なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してく
ださい。

関連科目

線形代数 I

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

代数学
Algebra

中津了勇(ナカツ トシオ)

Table with 5 columns: 配当年次, クラス, 学期, 履修区分, 単位数. Row 1: 2, 2, 前期, 選択, 2

授業概要・目的・到達目標

抽象代数系である「群」、「環」、「体」の知識は最近の電子社会
の発展に伴い、その必要性が増している。抽象代数学においては、
単純な公理から驚くほどの豊富な理論が展開されるが、そのな
かになら、「群」は最も基本的な代数的構造であり、自然現象
のなかに現れる「対称性」を記述するのに重要な概念である。
この講義では、代数的構造がどのようにして捉えられ、記述さ
れるか、その方法を学ぶことを目的とする。「群」の定義を理解し、
部分群、剰余類、正規部分群、商群、準同型定理、可換群の構
造定理、群の表現について説明できることを目標とする。
学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

授業は以下の科目を履修していることを前提にして進める：
線形代数I、線形代数II、微積分I、微積分II
毎時間の講義の内容を復習し、自分で納得するまで手と頭を動か
すことを習慣づけること。授業時間の倍以上の自主学習が必要
である。やむを得ず欠席した場合のフォローアップは、各自
が責任をもって行うこと。

科目学習の効果(資格)

代数的構造がどのようにして捉えられ、記述される方法がわかる。
「数学」教員免許取得に必要。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 代数的構造
【内容・方法 等】 講義内容の概略、論理、集合、写像
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
第2回 【授業テーマ】 群の定義
【内容・方法 等】 群の定義、問題演習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第3回 【授業テーマ】 群の例
【内容・方法 等】 対称群、巡回群、2面体群など
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第4回 【授業テーマ】 部分群
【内容・方法 等】 部分群の定義、問題演習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第5回 【授業テーマ】 部分群と剰余類
【内容・方法 等】 剰余の同値律、左剰余類と右剰余類
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第6回 【授業テーマ】 群の作用と対称性
【内容・方法 等】 2面体群(D4)の部分群と4辺形の分類、問
題演習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第7回 【授業テーマ】 群の同型
【内容・方法 等】 同型写像、自己同型群、問題演習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第8回 【授業テーマ】 群の準同型
【内容・方法 等】 準同型写像、正規部分群、商群、問題演習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第9回 【授業テーマ】 準同型定理
【内容・方法 等】 準同型定理
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第10回 【授業テーマ】 対称群の定義
【内容・方法 等】 対称群の定義、問題演習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第11回 【授業テーマ】 対称群の構造
【内容・方法 等】 対称群の共役類、問題演習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第12回 【授業テーマ】 可換群の構造
【内容・方法 等】 巡回群の構造、群の直積、問題演習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
第13回 【授業テーマ】 可換群の構造定理

【内容・方法 等】 可換群の構造定理
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
【授業テーマ】 同型定理

【内容・方法 等】 同型定理とその応用
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
【授業テーマ】 群の表現

【内容・方法 等】 表現の指標、指標群、問題演習
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
評価方法(基準)
期末試験 60%、小テストとレポート 40% で評価する。

教材等

教科書…遠山 啓 著「代数的構造」(ちくま学芸文庫) 1,300円
参考書…岩永 恭雄 著「代数学の基礎」OD版 (日評数学選書)
3,360円 など。
その他、関連の本が沢山出版されている。

学生へのメッセージ

こまめに考え、調べ、質問して、疑問点を溜めないように心が
けること。中途半端な学習では何も身に付きません。「数学」教
員を目指す学生は覚悟をして受講してほしいと思います。

関連科目

線形代数I、線形代数II、微積分I、微積分II

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

幾何学I
Geometry I

小林俊公(コバヤシ トシマサ)

Table with 5 columns: 配当年次, クラス, 学期, 履修区分, 単位数. Row 1: 2, 2, 前期, 選択, 2

授業概要・目的・到達目標

幾何学は、公理と公準から正しい推論により導かれる命題の体
系として確立された最初の学問である。三角形、四辺形、円な
どの図形の性質を学ぶとともに、古典幾何の形成をたどりながら、
論理的に述べられた文章を理解し、論理的に考え、論理的に記
述することができるようになることを目標とする。
学科の学習・教育目標との対応：[B]

授業方法と留意点

講義を中心に行います。授業中は集中して、論理的な文章の理
解の仕方、記述の仕方を掴んでいってください。また毎回の
課題レポートは、時間をかけて取り組むようにしましょう。論
理的な文章が書けるように、練習を積んでください。

科目学習の効果(資格)

数学における論理を平面幾何を通じて学ぶことは、内容の異なる
代数学や解析学の理解にもつながる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 推論と証明(1)
【内容・方法 等】 命題、三段論法、背理法
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第2回 【授業テーマ】 推論と証明(2)
【内容・方法 等】 命題の逆、対偶、必要十分条件
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第3回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(1)
【内容・方法 等】 合同の概念、線分と角の合同
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第4回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(2)
【内容・方法 等】 三角形の合同定理
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第5回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(3)
【内容・方法 等】 直角の存在、垂線の存在
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第6回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(4)
【内容・方法 等】 三角不等式、線分の中点、角の2等分線
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第7回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(5)
【内容・方法 等】 三角形の外心、内心、重心、垂心
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第8回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(6)
【内容・方法 等】 円に内接する4角形
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第9回 【授業テーマ】 平行線の公理(1)
【内容・方法 等】 三角形の内角の和
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第10回 【授業テーマ】 平行線の公理(2)
【内容・方法 等】 平行4辺形の性質、長方形の存在
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第11回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(1)
【内容・方法 等】 点と直線、無定義の用語、公理
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第12回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(2)

専門関連科目

【内容・方法等】 あらためて平行線の公理、直角仮説
【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(3)
【内容・方法等】 非ユークリッド幾何
【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 平面上の曲線
【内容・方法等】 2次曲線、媒介変数表示
【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 複素数平面
【内容・方法等】 複素数による図形表示、ド・モアブルの定理
【事前・事後学習課題】 課題レポート
評価方法 (基準)
 レポート、演習、小テストで30%、定期テストで70%の割合で判定し評価する。
教材等
教科書…各回ごとに数学研究室作成のプリントを配る。
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。
学生へのメッセージ
 授業の中でわからないことがあれば遠慮なく質問してください。また、毎回の課題レポートでは難しいものもあるかもしれませんが、まずは「考えることに意義がある」と思って、じっくり取り組んでください。そしてできるだけ欠かさず提出することを心がけましょう。
関連科目
 微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱなど。
担当者の研究室等
 3号館3階 数学研究室

幾何学II Geometry II				
島田 伸一 (シマダ シンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 微分幾何学の見地で、日常によくみる曲面、曲線がいかに分類されているのか、その理解を目標とする。その応用として惑星の軌道が一つの平面内の2次曲線であることの定式化とその証明を行い、エネルギーとの関係を論ずる。
 学科の学習・教育目標との対応：[B]
授業方法と留意点
 講義を基本とし理解度をみるため適宜演習をおこなう。また他者に説明できるまで授業内容を把握しているかもみるので出席を重視する。
科目学習の効果 (資格)
 教職科目なので教員の資格を得るためには取る事が望ましい。空間の理解に役に立ち、線形代数・微積分のみごとな応用を見る事ができる。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 **【授業テーマ】** 2次曲線 (1)
【内容・方法等】 放物線、グラフ、標準形、準線、焦点、極形式
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第2回 **【授業テーマ】** 2次曲線 (2)
【内容・方法等】 放物線の焦点の性質、接線(接空間)、微分方程式を立てて解く。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第3回 **【授業テーマ】** 2次曲線 (3)
【内容・方法等】 楕円、標準形、準線、焦点、極形式
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第4回 **【授業テーマ】** 2次曲線 (4)
【内容・方法等】 楕円の焦点の性質、接線(接空間)、パラメータ表示、面積
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第5回 **【授業テーマ】** 2次曲線 (5)
【内容・方法等】 双曲線、標準形、準線、焦点、極形式
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第6回 **【授業テーマ】** 2次曲線 (6)
【内容・方法等】 双曲線の焦点の性質、接線(接空間)、パラメータ表示、微分方程式を立てて解く。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第7回 **【授業テーマ】** 2次曲線 (7)
【内容・方法等】 座標軸の回転と固有値
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第8回 **【授業テーマ】** 2次曲線 (8)
【内容・方法等】 固有値による2次曲線の分類
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第9回 **【授業テーマ】** 平面の曲線 (1)

【内容・方法等】 弧長、曲率
【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 平面の曲線 (2)
【内容・方法等】 曲率円
【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 平面曲線 (3)
【内容・方法等】 曲率と平面曲線の特徴付け、フルネセレーの公式
【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 空間内の曲面 (1)
【内容・方法等】 陰関数表示、パラメータ表示、接平面
【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 空間内の曲面 (2)
【内容・方法等】 曲面積分、曲面積、重心
【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 空間内の曲面 (3)
【内容・方法等】 平均曲率、ガウス曲率(1)
【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 空間内の曲面 (4)
【内容・方法等】 平均曲率、ガウス曲率(2)
【事前・事後学習課題】 課題レポート
評価方法 (基準)
 レポート(宿題)で45%、期末試験55%で評価する。
教材等
教科書…各回ごとに数学研究室作成のプリントを配る。
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。
学生へのメッセージ
 講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、チューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。
関連科目
 微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ、幾何学Ⅰ、解析学、代数学
担当者の研究室等
 3号館3階 数学研究室

解析学 Analysis				
伊東 恵一 (イトウ ケイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 微積分学の厳密な展開を目標とする。理工学部初年度の微積分では計算技法の習得に主眼がおかれ、その基礎となる実数についての理解は直感にたよっている。この授業では、実数を厳密に構成しそれに基づいて連続、収束の概念の明確な理解をめざす。そして連続関数、微分可能関数のもつ重要な性質の理解、また関数の集合が与えられたときの関数族としてもつ性質についての理解を目標にする。
 学科の学習・教育目標との対応：[C]
授業方法と留意点
 講義を基本とし理解度をみるため適宜演習をおこなう。また他者に説明できるまで授業内容を把握しているかもみるので出席を重視する。
科目学習の効果 (資格)
 「数学」教員免許状取得に必要。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 **【授業テーマ】** 実数の構成と性質(1)
【内容・方法等】 論証の用語、和集合、共通部分
 有理数と実数
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第2回 **【授業テーマ】** 実数の構成と性質(2)
【内容・方法等】 無限集合、濃度の比較、有理数の可算性と実数の非可算性
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第3回 **【授業テーマ】** 実数の構成と性質(3)
【内容・方法等】 実数の連続性、実数の作る集合の性質
 限・下限、上極限・下極限、数列の極限、 ε - N 論法
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第4回 **【授業テーマ】** 実数の構成と性質(4)
【内容・方法等】 コーシー列、実数の完備性、ボルツァーノ・ワイエルシュトラスの定理
【事前・事後学習課題】 課題レポート
第5回 **【授業テーマ】** 関数の性質(1)
【内容・方法等】 関数の定義、関数の極限、関数の連続性と ε - δ 論法、

- 第6回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 関数の性質(2)
【内容・方法等】 中間値の定理, 最大値・最小値の存在
- 第7回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 連続関数
【内容・方法等】 逆関数の定義, 合成関数の連続性, 一様連続性, リプシッツ・ヘルダー連続性
- 第8回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 微分と積分(1)
【内容・方法等】 微分係数の定義, 導関数の定義, 微分可能な関数の作る空間
- 第9回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 微分と積分(2)
【内容・方法等】 リーマン積分可能性と定積分, 微積分の基本定理
- 第10回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 平均値の定理とテーラー展開(1)
【内容・方法等】 ロルの定理, コーシーの平均値の定理, 有限増分の公式
- 第11回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 平均値の定理とテーラー展開(2)
【内容・方法等】 ベキ級数の収束と収束半径, 多項式近似定理
- 第12回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 関数列
【内容・方法等】 数列の収束と関数列の収束, 一様収束と各点収束
- 第13回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 関数空間
【内容・方法等】 関数の作る空間, ノルム区間と完備性, アスコリ・アルツェラの定理
- 第14回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 関数方程式と関数空間 (1)
【内容・方法等】 関数方程式と関数空間, 縮小写像の原理と不動点定理
- 第15回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 関数方程式と関数空間 (2)
【内容・方法等】 色々な関数方程式と解の存在

評価方法 (基準)

レポートで約30%、定期テスト(期末)で約70%判定し評価する。

教材等

教科書…数学研究室作成のプリントを授業ごとに配布
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目

微積分Ⅰ・Ⅱ, 線形代数Ⅰ・Ⅱ, 力学, 物理学など。特に微積分Ⅰ・Ⅱの修得は不可欠。

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

備考

微積分Ⅰ,Ⅱを習得済みのこと。 数学の勉強を楽しめる方, 抽象的な思考や計算が好きな方がのぞましい。

物理学I Physics I				
長 島 健 (ナガシマ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

物理学は力学とともに理工系大学教育において、極めて重要な基礎科目である。授業はさまざまな物理現象を基本原理から丁寧に講義する。

物理学Ⅰでは熱、光を軸として、力学や電磁気とも関連した物理学の基礎を総合的に学ぶ。

到達目標：熱および光の性質を基本原理から習得する。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テ

ストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果 (資格)

理工系専門科目において必要不可欠な工学の基礎であり、専門で出てくる物理量の意味や相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 身近なところで活躍する物理学
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 力とエネルギー
【内容・方法等】 いろいろな力と力のつりあい
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 力学と熱
【内容・方法等】 運動とエネルギー(ジュールの実験)
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 熱の基本的性質
【内容・方法等】 熱の移動 比熱
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 熱膨張
【内容・方法等】 ボイル・シャルルの法則
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 熱というエネルギー (1)
【内容・方法等】 熱力学第一法則
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 熱というエネルギー (2)
【内容・方法等】 いろいろな熱源
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 エネルギー
【内容・方法等】 明るさと熱
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 光の屈折
【内容・方法等】 光ファイバーの性質
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 分光と光の干渉
【内容・方法等】 光の色
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 光の反射
【内容・方法等】 鏡の性質
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 光と電磁波
【内容・方法等】 光と電磁波
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 光と電磁気学
【内容・方法等】 家庭用電源と電池(直流と交流)
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 光と熱と電磁気学
【内容・方法等】 電力の効率化とエネルギー
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】

評価方法 (基準)

定期試験と小テストにより行う。定期試験70%、小テスト30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村 洸 (2520円)

参考書…

学生へのメッセージ

この授業内容は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

関連科目

物理学Ⅱ、力学Ⅰ、物理学実験

担当者の研究室等

8号館2階 長島研究室

物理学II Physics II				
前 田 純一郎(マエダ ジュンイチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代の生活を支えている電気・磁気製品は電磁気学を基盤として発展している。物理学Ⅱでは生活に密着した電気・磁気の現象を軸として、力学、熱、光とも関連した物理の基礎を総合的に学ぶ。

到達目標：エレクトロニクスの基礎である電気・磁気の性質を理解する。

専門関連科目

学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法及び留意点

教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果（資格）

理工系専門科目において必要不可欠な工学の基礎であり、専門で出てくる物理量の意味や相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】身の周りの現象と物理学
【内容・方法等】身近なところで活躍する物理学
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】運動の法則
【内容・方法等】運動の三法則
【事前・事後学習課題】予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】剛体の力学
【内容・方法等】力のモーメント
【事前・事後学習課題】予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】電荷と力
【内容・方法等】力学と電気の関係：クーロンの法則
【事前・事後学習課題】予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】電荷の運動（質点の力学）
【内容・方法等】ミリカンの実験・ブラウン管における電荷の運動
【事前・事後学習課題】予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】直流と交流
【内容・方法等】家庭用電源と電池の原理と役割、簡単な回路
【事前・事後学習課題】予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】電流と電圧（簡単な回路）
【内容・方法等】電圧、電流、抵抗及び消費電力について説明する
【事前・事後学習課題】予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】電磁誘導（磁石と力）
【内容・方法等】磁石と力、モーターと発電機、剛体の運動
【事前・事後学習課題】予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】電気エネルギーと熱エネルギー
【内容・方法等】電気エネルギーと熱エネルギーの関係および熱力学の法則
【事前・事後学習課題】予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】電気・熱エネルギーと物質変化
【内容・方法等】電気・熱エネルギーによる物質の変化と状態の方程式
【事前・事後学習課題】予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】電気・熱エネルギー変換と熱機関
【内容・方法等】電気・磁気と熱サイクル
【事前・事後学習課題】予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】光の性質：電磁波
【内容・方法等】折れ曲がる電磁波と光
【事前・事後学習課題】予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】光の性質：粒子
【内容・方法等】光の粒子性とエネルギー
【事前・事後学習課題】予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】物理学とエネルギー
【内容・方法等】エネルギーの変換と効率化(力学、電磁気、熱、光の融合)
【事前・事後学習課題】予習・復習課題13
- 第15回 【授業テーマ】原子物理とまとめ
【内容・方法等】原子物理の概要と物理学Ⅱのまとめ
【事前・事後学習課題】復習課題14

評価方法（基準）

期末試験と小テストにより行う。
期末試験70%、小テスト30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」（森北出版）潮秀樹、上村 洸（2520円）

参考書…なし

学生へのメッセージ

数学や物理は単に「試験問題」と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

関連科目

物理学Ⅰ、力学Ⅰ、力学Ⅱ、物理学実験

担当者の研究室等

8号館2階 物理準備室

物理学実験

Experiments in Physics

三木 久巳 (ミキ ヒサミ)

道下 敏 則 (ミチシタ トシノリ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この実験科目は、自然科学の基本である「物理学」を、実際の測定やデータ解析を通して理解し、さらに物理現象をより深く観察・認識する科目である。よって、いろいろな装置を活用して、一連の内容の基本的演習および計測方法を学ぶ。到達目標：以下の項目の理解を目標とする。1) 国際単位系(SI), 2) 各テーマの物理的内容, 3) 物理計測機器の取り扱い法, 4) 物理測定方法, 5) 誤差の考え方と取り扱い方。学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法及び留意点

2~3人で1つの班が編成されるが、各班は順番表に従って2週間に1回（2時限）の実験を行い、レポートを提出する。

科目学習の効果（資格）

この科目では、事実・現象・測定等の実体験を通して、すじ道を立てて考える科学的な思考法を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】物理学実験に向けて
【内容・方法等】「実験」に関するガイダンス、および有効数字、誤差についての講義を行う。
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】サールの装置によるヤング率の測定
【内容・方法等】サールの装置を用いて、2本の針金（真ちゅう線・ピアノ線）のヤング率を求める。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第3回 【授業テーマ】熱の仕事当量Jの測定
【内容・方法等】電流の発熱作用により、熱量計の中の水の温度上昇から熱の仕事当量Jを求める。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第4回 【授業テーマ】電子の比電荷の測定
【内容・方法等】電子が磁場内で円運動する状態を観察し、電子の比電荷e/mの値を求める。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第5回 【授業テーマ】分光実験
【内容・方法等】分光計を用いて、葉緑素の光吸収スペクトルを求める。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第6回 【授業テーマ】プランク定数の測定
【内容・方法等】光電効果の現象を通して、光量子の概念を理解し、プランク（Planck）定数hの値を測定する。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第7回 【授業テーマ】ボルダの振り子による重力加速度の測定
【内容・方法等】ボルダの振り子を用いて、当実験室での重力加速度の値を求める。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第8回 【授業テーマ】直流回路と交流回路
【内容・方法等】簡単な直流回路と交流回路から、その動作原理を理解し、未知の抵抗の抵抗値を求める。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第9回 【授業テーマ】低温の世界
【内容・方法等】低温では物質の性質が劇的に変化する。低温における様々な現象を観測し、理解する。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第10回 【授業テーマ】光の回折の実験
【内容・方法等】レーザーと回折格子を用いて、回折格子の間隔と回折角との関係を調べ、回折格子の間隔の値を求める。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第11回 【授業テーマ】ねじれ振り子による剛性率の測定
【内容・方法等】ねじれ振り子の周期、金属製円環のサイズ、ピアノ線の直径等を測定し、これらの測定結果からピアノ線の剛性率を求める。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第12回 【授業テーマ】コルラウシュブリッジによる電解質溶液の抵抗測定
【内容・方法等】コルラウシュブリッジを用い、電気伝導率が既知の電解質溶液から容量定数を求め、未知の電解質溶液の電気伝導率を測定する。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第13回 【授業テーマ】電磁波の実験
【内容・方法等】電磁波に関する種々の基本的測定から、電磁波の周波数や偏向特性を調べる。
【事前・事後学習課題】事前報告書およびレポート課題
- 第14回 【授業テーマ】レンズの焦点距離の測定
【内容・方法等】凸レンズおよび凹レンズの焦点距離の測定

法を学び、レンズの特性を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
【授業テーマ】 速度と加速度
【内容・方法 等】 ストロボ撮影により自由落下現象を観察し、速度と加速度を理解し、重力加速度を求める。
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
評価方法 (基準)
 1)実験は講義と異なり、全ての出席を前提とする。2)レポートの提出がない場合、実験をしていないものとみなすので必ず提出すること。3)レポート(60%)、平常点(40%)の総合点で評価する。

教材等
教科書…物理学実験指導書
参考書…潮秀樹、上村洗著「やさしい基礎物理」(森北出版 2520円)・原康夫著「第3版 物理学基礎」(学術図書出版 2520円)

学生へのメッセージ
 1) 実験は自然科学の基本です。この物理学実験でおおいに物理学を実体験して下さい。2) 質問がある場合、担当の先生に遠慮なく質問してください。3) 授業時間外の場合は、担当の先生の研究室へ訪ねてみて下さい。

関連科目
 物理学 I・II、力学 I・II
担当者の研究室等
 8号館2階 物理研究室

生物学I Biology I				
尾崎 清和 (オザキ キヨカス)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 人体の構造、機能および病気とともに、ヒトを含む生物の多様性、分類および生態系に関して概説する。社会人として知っておくべき生物学的な常識を身につけることを目的とする。
 学科の学習・教育目標との対応：[IV]

授業方法と留意点
 ノート・講義方式。教科書およびビデオ教材を用い、ビジュアルに解りやすくやっていきたい。授業中に理解してしまえば、特に新たな勉強は必要ない。

科目学習の効果 (資格)
 一般教養の充実。生物・医学関連に関する記事あるいは専門書を読む際の助けとなるような知識の向上をめざす。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業中のルール説明・試験方法について内臓とその位置に関する理解度チェック
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回** **【授業テーマ】** 体の成分、細胞の組成の理解
【内容・方法 等】 人の体の基礎知識
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第3回** **【授業テーマ】** 遺伝子の理解
【内容・方法 等】 遺伝子とその働き基礎知識
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第4回** **【授業テーマ】** 遺伝子の理解
【内容・方法 等】 ビデオ「人体 生命の暗号を解説せよ」
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第5回** **【授業テーマ】** がんの理解
【内容・方法 等】 腫瘍に関する基礎知識
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第6回** **【授業テーマ】** がんの理解
【内容・方法 等】 ビデオ「人体 突き止めよ、がん発生の謎」
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第7回** **【授業テーマ】** 循環器、体液の理解
【内容・方法 等】 心臓の構造と機能の基礎知識
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第8回** **【授業テーマ】** 循環器系の理解
【内容・方法 等】 ビデオ「人体・心臓」
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第9回** **【授業テーマ】** 泌尿生殖器系の理解
【内容・方法 等】 尿の生成、男女の生殖器の基礎知識
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと

- 第10回** **【授業テーマ】** 泌尿生殖器系の理解
【内容・方法 等】 ビデオ「人体生命誕生」
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第11回** **【授業テーマ】** 皮膚、感覚器系の理解
【内容・方法 等】 目、耳、鼻、皮膚の基礎知識
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第12回** **【授業テーマ】** 生物の多様性の理解
【内容・方法 等】 生物の系統、分類の基礎知識
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第13回** **【授業テーマ】** 生態系の理解
【内容・方法 等】 生態系、物質の循環の基礎知識
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第14回** **【授業テーマ】** 総括質問
【内容・方法 等】 すべての授業内容に関する質問に答えるとともに、難解だった部分の解説を行う。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第15回** **【授業テーマ】** 習熟度試験
【内容・方法 等】 習熟度を確認する。
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)
 小テストを50%、習熟度試験を40%および受講態度10%により判断する

教材等
教科書…ニューステージ「新生物図表」浜島書店 (¥860)
参考書…なし

学生へのメッセージ
 社会人としての一般教養の幅を広げる授業です。次週に小テストを実施するので十分に復習してください。

関連科目
 なし
担当者の研究室等
 枚方・薬学部6号館3階病理学研究室 1
備考
 なし

生物学II Biology II				
竹内 健治 (タケウチ ケンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 生物学は身近な学問です。生物学IIでは、細胞分裂や分化、さらにはがん化や遺伝子疾患などについて解説します。新聞やテレビニュースで報じられる生物関連の話題が理解できるように、基礎的な知識を身につけてください。学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点
 教科書やプロジェクター、プリントを用いて、モデル図や写真を中心に解説します。

- 科目学習の効果 (資格)**
 日常生活に関わりの深い生物学的学術用語に対応できる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** 「生物学II」の概要
【内容・方法 等】 授業の方針・学習目標と、生物学IIの概略について。
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回** **【授業テーマ】** 生命を支える細胞分裂
【内容・方法 等】 一個の受精卵からヒトの生命は出発する。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第3回** **【授業テーマ】** 細胞の分化
【内容・方法 等】 多細胞生物を構成する細胞は独立した役割を持つ。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第4回** **【授業テーマ】** 細胞のがん化
【内容・方法 等】 がん発生の仕組みとその原因。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第5回** **【授業テーマ】** 生殖の仕組み
【内容・方法 等】 生殖の仕組みを細胞レベルで解説します。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。

- 第6回 【授業テーマ】 アポトーシスと個体の老化
【内容・方法 等】 細胞数を減少させる仕組み。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 多細胞生物の自己維持機構
【内容・方法 等】 恒常性維持の仕組み。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 生体防御機構
【内容・方法 等】 免疫の仕組みと働きの基礎
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 遺伝の仕組み
【内容・方法 等】 遺伝の仕組みと遺伝子疾患。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第10回 【授業テーマ】 ヒトの遺伝子疾患
【内容・方法 等】 遺伝の仕組みと遺伝子疾患。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第11回 【授業テーマ】 生物と環境が作る生態系
【内容・方法 等】 ヒトと環境とのかかわりの大切さ。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第12回 【授業テーマ】 環境問題
【内容・方法 等】 ヒトと環境とのかかわりの大切さ。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第13回 【授業テーマ】 生物の誕生と進化
【内容・方法 等】 種の概念と生物の分類体系。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第14回 【授業テーマ】 生物の多様性
【内容・方法 等】 種の概念と生物の分類体系。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第15回 【授業テーマ】 生命科学技術と社会
【内容・方法 等】 生命科学技術の概要と基礎的知識。
【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。

評価方法 (基準)

学期末試験 (60%)、小テストと課題 (25%)、授業態度 (15%) で評価する。

教材等

教科書…やさしい基礎生物学 南雲 保/編 羊土社 2,900円 + 税
参考書…適宜紹介する。

学生へのメッセージ

生物学IIを理解するためには、生物学Iで学んだ知識が必要です。

関連科目

生物学I

担当者の研究室等

枚方学舎 1号館5階

力学I Dynamics I				
東 谷 篤 志 (ヒガシヤ アツシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

物理学は現在の科学技術において基礎となる学問である。この物理学の基礎分野の大きな柱の一つである力学は、理工学部のものづくりを基本とする専門科目を理解するための必要不可欠なものとなる。力学Iでは物体の形や大きさを考慮しない質点系の運動について講義を行う。

到達目標：運動の記述におけるニュートンの運動方程式と運動量・エネルギー保存則を理解する。
学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

講義は主として教科書に沿って行い、授業後にはプリントを配布する。プリントは教科書と授業を参照すれば理解できるので最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果 (資格)

今後の専門科目で出てくる物理量の意味や色々な物理量の相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 力学とは
【内容・方法 等】 自然科学とは何だろうかを身近な例をとって分かりやすく説明する。力学に必要な物理量や単位と次元

- 元についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント1：単位と次元
- 第2回 【授業テーマ】 ベクトルの基礎
【内容・方法 等】 ベクトルの和・積、そして分解・合成について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント2：ベクトルと位置
- 第3回 【授業テーマ】 ベクトルの座標表示とスカラー積
【内容・方法 等】 ベクトルを表示するために直交座標を導入する。そしてベクトルのスカラー積についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント3：ベクトルとスカラー積
- 第4回 【授業テーマ】 微分とベクトルに対する微分
【内容・方法 等】 力学に必要な数学的な微分を説明し、それをベクトルに拡張する。そして位置ベクトルの時間微分についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント4：微分
- 第5回 【授業テーマ】 位置ベクトルの微分と速度ベクトル
【内容・方法 等】 平均の速度と瞬間の速度との違いを示し、位置ベクトルの微分と速度の関係の説明をする。また、速さと速度の違いについて説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント5：速度
- 第6回 【授業テーマ】 加速度と運動の法則
【内容・方法 等】 速度ベクトルの微分が瞬間の加速度であることを理解するために、速度の時間的変化についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント6：加速度と位置ベクトル
- 第7回 【授業テーマ】 重力
【内容・方法 等】 運動の三つの法則についての説明を行い、ニュートンの万有引力の法則について説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント7：力と重力と万有引力と重力
- 第8回 【授業テーマ】 運動方程式
【内容・方法 等】 自由落下や放物線運動を基礎としてニュートンの第二法則である運動方程式の作り方を説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント8：運動方程式
- 第9回 【授業テーマ】 垂直抗力と摩擦
【内容・方法 等】 垂直抗力と摩擦について説明し、釣り合っている状態での運動方程式を理解する。
【事前・事後学習課題】 中間確認プリント
- 第10回 【授業テーマ】 ばねからの力と単振動
【内容・方法 等】 ばねによる単振動、さらに円運動と単振動について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント9：円運動と単振動
- 第11回 【授業テーマ】 運動量と力積
【内容・方法 等】 運動量を定義し、衝撃力による物体の運動を理解するために、物体の運動量変化と力積についての説明を行う。また、運動量の保存則を説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント10：運動量と力積
- 第12回 【授業テーマ】 仕事とエネルギー
【内容・方法 等】 空間と力の内積から仕事(エネルギー)を定義し、仕事移動経路に依存することを示す。
【事前・事後学習課題】 課題プリント11：仕事とエネルギー
- 第13回 【授業テーマ】 運動エネルギーと位置エネルギー
【内容・方法 等】 運動エネルギーと位置エネルギーについて説明を行う。さらにポテンシャルエネルギー(位置エネルギー)について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント12：運動エネルギーと位置エネルギー
- 第14回 【授業テーマ】 エネルギー保存則
【内容・方法 等】 運動エネルギーと位置エネルギーの和が保存することを説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント13：運動量とエネルギー保存則
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】

評価方法 (基準)

評価は期末試験と小テストにて行う。
期末試験70%、小テスト30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮 秀樹/上村 洸 (2520円)

参考書…なし

学生へのメッセージ

力学Iの考え方や物事の捉え方は、これから学ぶ専門科目で役に立ちますので、できるだけ授業に集中してください。また、力学Iでは微分・積分の知識も必要となりますが、授業で力学Iに必要な微分・積分について簡単に講義しますので、数学の苦手な方も不安にならずに履修してください。

関連科目

微積分I・II、線形代数I・II、力学II、物理学実験

担当者の研究室等

1号館2階 物性物理研究室(2)

力学II
Dynamics II

松尾 純子 (マツオ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	X	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

近代の科学技術の基礎には物理学があり、さらにその基礎には力学がある。力学は工学の基盤となる科目であり、工学部専門科目を理解する上で必要不可欠である。力学IIでは、剛体の力学について学ぶ。

到達目標：剛体の取り扱い方を学ぶ。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果（資格）

工学の基礎として、専門に出てくる物理量の意味や色々な物理量の相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 力学Iの復習
【内容・方法等】 質点の力学について復習する。
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 力のモーメントの基礎
【内容・方法等】 てこの原理について学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 力のモーメントのつりあい
【内容・方法等】 シーソー、天秤のつりあいについて学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 力のモーメントと並進・回転運動
【内容・方法等】 並進、回転運動の静止条件から物体のつりあいについて考える
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 重心とモーメント
【内容・方法等】 重心の意味を理解し、様々な図形の重心の位置を求める
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 数学的準備(1)
【内容・方法等】 回転運動を表現する上で重要なラジアン表記、角速度、角加速度について学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 数学的準備(2)
【内容・方法等】 回転運動を表現する上で重要な外積について学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 角運動量
【内容・方法等】 角運動量保存則について学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 慣性モーメントの基礎
【内容・方法等】 慣性モーメントについて定性的に理解をし、慣性モーメントと角運動量の関係について学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 棒の慣性モーメント
【内容・方法等】 棒の慣性モーメントについて説明する
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 板の慣性モーメント
【内容・方法等】 板の慣性モーメントについて説明する
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 円盤の慣性モーメント
【内容・方法等】 円盤状の慣性モーメントについて説明する
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 平行軸の定理、直行軸の定理
【内容・方法等】 慣性モーメントの便利な計算方法について説明する
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 剛体の平面運動
【内容・方法等】 剛体の一般的な運動について考える
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13
- 第15回 【授業テーマ】 剛体の力学のまとめ
【内容・方法等】 剛体の運動についてのまとめ
【事前・事後学習課題】

評価方法（基準）

評価は期末試験と小テストにて行う。

期末試験70%、その他30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村 洸 (2520円)：力学Iと共通

参考書…なし

学生へのメッセージ

数学や物理は単に「試験問題」と考えると難しく思われがちで

すが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

関連科目

微積分I、線形代数、力学I、物理学実験

担当者の研究室等

8号館2階 物理準備室

化学実験（Y片川、Y柳田）

Chemical Experiments

片川 純一 (カタカワ ジュンイチ)

柳田 一夫 (ヤナダ カズオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この化学実験は、物質を分子レベルにまで遡り、その構造や性質および化学的变化について実践的に取り扱う自然科学の基礎となる部分である。化学分野の中から、分析化学、合成化学、界面化学、化学平衡、無機化学などに関する実例を取り上げ、化学的手法に機器を取り入れて実験を行う。これにより、化学知識を深め、実験操作の方法や化学的・物理的な実験データのまとめ方および考察の仕方などを修得することを目的とする。学科の学習・教育目標との対応：[B]

授業方法と留意点

配布する実験書を使って、その日の内容や実験上の注意点などを講義したのち、引き続き、講義に沿った実験をおこなう。使う機器：天秤、ホットプレート付スターラー、真空ポンプ、赤外分光光度計、紫外・可視分光光度計、屈折率計、pHメーター、遠心機、融点測定器、顕微鏡など

科目学習の効果（資格）

実験をとおして、物質に起こる変化や事象を化学の面から捉え、取り扱う技術や思考する能力を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・導入講義
【内容・方法等】 実験書、器具を配布し、使用する器具や試薬の名称と使用上の注意事項および実験室での心構えを説明する。
【事前・事後学習課題】 化学を復習しておくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 混合物の分離(1)
【内容・方法等】 クロマトグラフィーの原理を理解し、薄層クロマトグラフ法を用いて混合色素や混合アミノ酸を各成分に分離する方法と分離した成分を確認する方法を習得する。
【事前・事後学習課題】 クロマトグラフィーの原理を理解する。
- 第3回 【授業テーマ】 混合物の分離(2)
【内容・方法等】 カラムクロマトグラフィーを用いて混合色素の分離と分取の方法を習得する。
【事前・事後学習課題】 クロマトグラフィーについてレポートにまとめる。
- 第4回 【授業テーマ】 界面活性剤の合成
【内容・方法等】 植物油のけん化反応による石けんの作り方と医薬(外)品や化粧品材料として使われる高級アルコール洗剤(SDS)の合成法を習得する。
【事前・事後学習課題】 界面活性剤の種類と合成法を学ぶ
- 第5回 【授業テーマ】 界面活性剤の性質
【内容・方法等】 分光光度計を用いて臨界ミセル濃度を求め、界面活性剤の洗浄効果を探る。
【事前・事後学習課題】 界面活性剤について、レポートにまとめる。
- 第6回 【授業テーマ】 香りをつくる
【内容・方法等】 エステル化反応を使った香料の合成法を習得する。
【事前・事後学習課題】 エステル化反応と香りについて学ぶ。
- 第7回 【授業テーマ】 香料の精製と確認
【内容・方法等】 香料を精製し、精製した香料の構造を分光光度計で確認する。
【事前・事後学習課題】 香料についてレポートにまとめる。
- 第8回 【授業テーマ】 色をつくる
【内容・方法等】 クロミック材料として、注目されるアゾ色素の合成と構造の確認する方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 アゾ色素の合成法を学ぶ。
- 第9回 【授業テーマ】 色の構造と性質
【内容・方法等】 光照射や液性の違いで色変化を起こす化合物について、分光光度計を用いて、色変化を確認する。
【事前・事後学習課題】 構造変化がおよぼす色の変化について、レポートにまとめる。
- 第10回 【授業テーマ】 中和滴定法を用いて溶液に溶けているものの

専門関連科目

量を求める。

試液の調製と指示薬を用いる滴定

【内容・方法 等】 酸や塩基の溶液および緩衝液を調製し、指示薬を使い溶液の濃度を求める。

第11回 【事前・事後学習課題】 溶液の調製法と濃度の求め方を学ぶ。
【授業テーマ】 pHメーターの調整と滴定曲線の作成

【内容・方法 等】 pH曲線の作製法、中和点の求め方、定量法などを実験から習得する。

【事前・事後学習課題】 滴定曲線を使った定量分析法をレポートにまとめる。

第12回 【授業テーマ】 果物の成分分析

【内容・方法 等】 成分分析の応用として、中和滴定法を使って果物の酸度および屈折率から糖度を求める。

【事前・事後学習課題】 糖度や酸度の検量線を作製し、果物の味についてレポートにまとめる。

第13回 【授業テーマ】 無機定性分析

【内容・方法 等】 よく知られている無機イオンの定性分析を行い、それらの化学的性質を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 無機イオンの化学的性質をまとめる。

第14回 【授業テーマ】 無機合成実験とその確認

【内容・方法 等】 日常よく見かける金属を原料に錯化合物や複塩などを合成し、その性質を実験から学ぶ。

【事前・事後学習課題】 無機物質についてレポートを作成する。

第15回 【授業テーマ】 実験報告書の作成

【内容・方法 等】 実験操作や実験データの解析の仕方やまとめ方および考察の仕方などを習得する。

【事前・事後学習課題】 全項目の実験報告書を完成し、提出する。

評価方法（基準）

全項目を実験するのを前提として、実験成果と態度を60%、レポートの内容を40%で総合的に評価し、その合計の60%以上を合格とする。

実験不履行の項目がある場合は評価できませんので、やむなく欠席した場合は、速やかに欠席届を提出し、期間内に補講実験を実施してもらいます。

教材等

教科書…「化学実験」のテキスト

参考書…「実験を安全に行うために」化学同人編集部編著 化学同人

学生へのメッセージ

化学実験は常に危険を伴うので、毎回実験を行う前にその日の実験内容や操作方法や危険な箇所などの実験上の注意点を説明します。これに遅刻することなく参加し、実験に際しては、教員の指示に従って行動してください。

関連科目

化学

担当者の研究室等

枚方キャンパス：1号館3階（薬品物性化学研究室）、枚方キャンパス：1号館2階（薬学教育研究室）

英語II a
English Ila

箕田 正 開 (ミタ マサハル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

BBCが制作したドキュメンタリーの映像を見ながら、リスニング・語彙・内容理解・文法等に関する練習を行う。
学科の学習・教育到達目標との対応：[B2]

授業方法と留意点

DVDの映像と音声を用いて、単語やフレーズの習得および書き取りの練習を行う。学習した結果は紙に書いて毎回提出が求められる。

科目学習の効果（資格）

TOEIC300点をを目指す。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Chapter 1: Hamburger History
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.801-820
- 第2回 【授業テーマ】 Chapter 2: Rings and Things
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.821-840
- 第3回 【授業テーマ】 Chapter 3: Bringing up Baby
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.841-860
- 第4回 【授業テーマ】 Chapter 4: The Bhutanese
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.861-880
- 第5回 【授業テーマ】 Chapter 5: Into the Wilderness
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.881-900
- 第6回 【授業テーマ】 Chapter 6: Jade
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.901-920
- 第7回 【授業テーマ】 Chapter 7: The Mongols
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.921-940
- 第8回 【授業テーマ】 Chapter 8: Diamonds
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.941-960
- 第9回 【授業テーマ】 Chapter 9: Gorillas in Our Midst
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.961-980
- 第10回 【授業テーマ】 Chapter 10: A Father's Labo
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.981-1000
- 第11回 【授業テーマ】 Chapter 11: Queues
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1001-1020
- 第12回 【授業テーマ】 Chapter 12: Ahead of Fashion
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1021-1040
- 第13回 【授業テーマ】 Chapter 13: learning to see
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1041-1060

- 第14回 【授業テーマ】 Chapter 14: Smallest
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1061-1080
- 第15回 【授業テーマ】 総復習、単語練習
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1081-1100

評価方法（基準）

TOEIC Bridge (20%), 統一単語テスト(10%), 平常点(毎回の提出物を採点したもの) (35%), 定期試験 (35%) で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…Welcome to BBC on DVD (成美堂) 2300円
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 (成美堂) 1700円

参考書…なし

学生へのメッセージ

演習形式の授業ですので、できる限り自力で問題を解決してください。

関連科目

他の英語科目全般

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

備考

英和辞典持参

英語II b
English II

箕田 正 開 (ミタ マサハル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

BBCが制作したドキュメンタリーの映像を見ながら、リスニング・語彙・内容理解・文法等に関する練習を行う。
学科の学習・教育到達目標との対応：[B2]

授業方法と留意点

DVDの映像と音声を用いて、単語やフレーズの習得および書き取りの練習を行う。学習した結果は紙に書いて毎回提出が求められる。

科目学習の効果（資格）

TOEIC400点をを目指す。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Chapter 8: Diamonds
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1201-1220
- 第2回 【授業テーマ】 Chapter 8: Diamonds
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1221-1240
- 第3回 【授業テーマ】 Chapter 9: Gorillas in Our Midst
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1241-1260
- 第4回 【授業テーマ】 Chapter 9: Gorillas in Our Midst
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1261-1280
- 第5回 【授業テーマ】 Chapter 10: A Father's Labo
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1281-1300
- 第6回 【授業テーマ】 Chapter 10: A Father's Labo
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1301-1320
- 第7回 【授業テーマ】 Chapter 11: Queues
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト

基礎科目

- 【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1321-1340
- 第8回 【授業テーマ】 Chapter 11: Queues
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
- 【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1341-1360
- 第9回 【授業テーマ】 Chapter 12: Ahead of Fashion
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
- 【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1361-1380
- 第10回 【授業テーマ】 Chapter 12: Ahead of Fashion
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
- 【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1381-1400
- 第11回 【授業テーマ】 Chapter 13: learning to see
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
- 【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1401-1420
- 第12回 【授業テーマ】 Chapter 13: learning to see
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
- 【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1421-1440
- 第13回 【授業テーマ】 Chapter 14: Smallest
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
- 【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1441-1460
- 第14回 【授業テーマ】 Chapter 14: Smallest
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
- 【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1461-1480
- 第15回 【授業テーマ】 総復習、単語練習
【内容・方法 等】 Vocabulary, Listening, Reading, Dictation, 単語テスト
- 【事前・事後学習課題】 付属のDVDを観る。
単語集: No.1481-1500

評価方法 (基準)
統一単語テスト(20%), 平常点(毎回の提出物)(40%), 定期試験(40%)
で評価する。

教材等
教科書…Welcome to BBC on DVD (成美堂) 2300円
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校
語彙で学ぶTOEICテスト」(成美堂) 1700円

参考書…なし

学生へのメッセージ
演習形式の授業ですので、できる限り自力で問題を解決してく
ださい。

関連科目
すべての英語科目

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

備考
英和辞典持参

スポーツ科学実習I Practice of Sports Science I				
内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
ラグビーを通じて、体力や運動能力の維持、増進を図ること
で、健康についての知識を深める。ラグビーは、通常の
ラグビーと違いタックルなどの身体接触がなく、複雑なルール
や高度な技術を必要としない為、運動能力の個人差や男女差が
顕在化しない特徴をもっている。また、鬼遊びの要素を持った
ゲームで、スポーツの楽しさと、チームプレーによるコミュニ
ケーション能力を養うことができ、学生間の交流や、社会での
適応力を高めることを到達目標とする。
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点
実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある)
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動
してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、も

しくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習 I と II で同じ種目を履修するこ
とはできない。

科目学習の効果 (資格)
個人としての基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技
術の獲得、及び団体競技における協調性を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 ガイダンス (履修上の注意やコース種目分
け)

【事前・事後学習課題】 ルールの理解

第2回 【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法 等】 屋外種目

【事前・事後学習課題】 体力測定評価

第3回 【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法 等】 屋内種目

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第4回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 競技説明(ルールの説明)及び基本技術(ラ
ンニング・パス)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第5回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術(タグを使用して、基本的なアタ
ック&ディフェンス練習)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第6回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術(タグを使用して、基本的なアタ
ック&ディフェンス練習)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第7回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習(タグを使った簡易ゲ
ーム)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第8回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習(タグを使った簡易ゲ
ーム)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第9回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習(タグを使った簡易ゲ
ーム)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第10回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム(実際の
試合のルールに慣れる)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第11回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム(実際の
試合のルールに慣れる)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第12回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 試合(成績記録)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第13回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 試合(成績記録)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第14回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 試合(成績記録)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第15回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 試合(成績記録)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法 (基準)
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価
する。

教材等
教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体
育館1Fスポーツ振興センター事務室に来ること。
実施場所は、第1グラウンド(人工芝)で行う。
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
スポーツ指導者論・生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
体育館1F 内部助教室
セミナー室

備考
特になし

スポーツ科学実習I
Practice of Sports Science I

近藤 潤 (コンドウ ジュン)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習Iはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

～テニスコース～

テニスとはもともと手のひらでボールを打ち合うという人間の本能にも根ざした遊びの中から発展してきたスポーツであり、長い歴史と伝統を持っている。見る楽しみもさることながら、どちらかといえば自分で実践するスポーツであり、老若男女を問わず幅広く楽しめるものである。

本授業では、テニスの基本的な技術はもちろんのこと、テニスを通じて人間関係を築く事を目的とする。また、テニスをする事によって生涯を通じて楽しめるスポーツへと発展させることを到達目標とする。

授業方法と留意点

実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)

1回目のガイダンスで種目選択をします。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえで個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 各履修コースを決定
【事前・事後学習課題】 選択種目の確認
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法 等】 屋外種目
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法 等】 屋内種目
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第4回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 基本技術(ストローク)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 基本技術(ストローク・サーブ)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 基本技術(ストローク・サーブ・ボレー)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 基本技術(ストローク・サーブ・ボレー)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 応用練習(ミニゲーム・形式練習)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 応用練習(ミニゲーム・形式練習)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 ゲーム(グルーピング・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 ゲーム(グルーピング・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 ゲーム(グルーピング・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 ゲーム(グルーピング・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 ゲーム(グルーピング・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法 等】 ゲーム(グルーピング・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法(基準)

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…使用しない

参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

実施場所は、テニスコートで行う。服装はスポーツウェア及びテニスシューズを準備すること。(ラケットは授業で用意しますが、自分で持っている学生は自分のラケットのほうが良いでしょう)

関連科目

生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

体育館1F 近藤研究室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体能力を実践する能力を育成することを目的とする。

本授業では、数種目の競技のルール・技術を身につけさらにグループの中でゲーム進行などコミュニケーション能力を向上させる。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
 - ②競技ルールの理解
 - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習IとIIで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえで個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 ガイダンス(履修上の注意やコース種目分け)
- 第2回 【事前・事後学習課題】 ルールの理解
【授業テーマ】 バレー
【内容・方法 等】 基本技術(パス)
- 第3回 【事前・事後学習課題】 測定記録評価
【授業テーマ】 バレー
【内容・方法 等】 基本技術(トス)
- 第4回 【事前・事後学習課題】 測定記録評価
【授業テーマ】 バレー
【内容・方法 等】 応用練習(ミニゲーム)
- 第5回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレー
【内容・方法 等】 応用練習(ミニゲーム)
- 第6回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレー
【内容・方法 等】 応用練習(ミニゲーム)
- 第7回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バトミントン
【内容・方法 等】 基本技術(レシーブ)
- 第8回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バトミントン
【内容・方法 等】 基本技術(スマッシュ)
- 第9回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バトミントン
【内容・方法 等】 応用練習(ミニゲーム)
- 第10回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バトミントン
【内容・方法 等】 応用練習(ミニゲーム)
- 第11回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バトミントン
【内容・方法 等】 応用練習(ミニゲーム)
- 第12回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法 等】 基本技術(ドリブル)

基礎科目

- 第13回 【授業テーマ】 バasketボール
【内容・方法 等】 基本技術（パス）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 バasketボール
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 バasketボール
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 評価方法（基準）
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。
- 教材等
教科書…使用しません
参考書…使用しません
- 学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。
- 関連科目
生涯スポーツ実習・健康論
- 担当者の研究室等
総合体育館 河瀬研究室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

近 藤 潤 (コンドウ ジュン)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習IIはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツを楽しむを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
 - ②競技ルールの理解
 - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]
～スポーツコース～

現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】
実技形式で行う。（雨天の場合、講義形式を行う場合がある。）
1回目のガイダンスで種目選択をします。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 コース種目分け、履修上の注意
【事前・事後学習課題】 選択種目の確認
- 第2回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基本技術（キャッチボール・バッティング）、ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基本技術（キャッチボール・バッティング）、ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 リーグ戦及び実技テスト
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 リーグ戦及び実技テスト
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 リーグ戦及び実技テスト
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 リーグ戦及び実技テスト（総合評価）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

- 第8回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術（リフティング、パス、ドリブル）ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術（リフティング、パス、ドリブル）ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 ミニコートゲーム・オールコートゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 ミニコートゲーム・オールコートゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 オールコートゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 オールコートゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 オールコートゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 オールコートゲーム（総合評価）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室に来ること。
実施場所はグラウンドで行う。
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目

生涯スポーツ実習・健康論

担当者の研究室等

総合体育館1F 近藤研究室

哲学
Philosophy I

柿本佳美(カキモト ヨシミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では、ものづくりの専門家としての技術者のありかた
と技術に関わる思想をたどり、技術者が身につけておくべき職
業倫理について学びます。

人間は、生活のなかの大変な作業を楽にしようとさまざまな技
術を生み出し、生活をより快適にするためにそれらを発展させ
ました。技術は、力を持った人間のために多くの人が苦しんだ
社会から辛い作業をなくし、どの人も自由で豊かな生活を送る
ことのできる社会をつくり出す原動力にもなったのです。とい
え、科学技術も他の専門知と同じく社会のなかで作られるの
ですから、科学技術に対する社会の影響について考える必要が
あります。

ここでは、私たちの社会のなかで技術と技術者のあり方を支
えてきた考え方について学んでいきましょう。

到達目標：日本社会における自然と技術観を理解し、共生社会
を目指す持続可能な技術のあり方を考えることができる。

授業方法と留意点

講義形式で進めますが、人数によってはディスカッションも取
り入れます。

科目学習の効果(資格)

科学技術をめぐる歴史をたどることで、人間の知的営みとして
の技術のあり方について考えることができる。

日本社会における技術観・自然観を学び、これらを技術全体の
歴史のなかに置くことで、日本が生み出した技術の特徴を知る
ことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに：科学技術と私たち
【内容・方法 等】 授業説明と導入。建築家ユニットSANAA
に見る日本の技術への海外の評価
【事前・事後学習課題】 とくになし。
- 第2回 【授業テーマ】 世界史のなかの技術：古代から近世へ
【内容・方法 等】 石器の使用、古代文明、中国およびイスラ
ム圏での発展、近代的な科学技術の誕生
【事前・事後学習課題】 予習 高校地理を復習し、世界の河
川・海洋および気候を確認する。
- 第3回 【授業テーマ】 世界史のなかの技術：近世から現代へ
【内容・方法 等】 科学革命、産業革命、現代の科学技術
【事前・事後学習課題】 予習 太陽系の仕組みを確認しておく。
- 第4回 【授業テーマ】 日本史のなかの技術：古代から近世へ
【内容・方法 等】 技術という視点から見た日本の歴史
【事前・事後学習課題】 予習 近世までの日本の歴史を見てお
く。
- 第5回 【授業テーマ】 日本史のなかの技術：近世から現代へ
【内容・方法 等】 江戸期の技術革新、明治期の近代化、高度
成長期から現代
【事前・事後学習課題】 予習 江戸時代の寺子屋について調べ
る。
- 第6回 【授業テーマ】 日本の組織倫理を支える思想：『論語』と朱子
学
【内容・方法 等】 日本社会における『論語』の受容
【事前・事後学習課題】 予習 『論語』を読んでおく。
- 第7回 【授業テーマ】 生活文化の基礎：茶道と禅
【内容・方法 等】 岡倉天心『茶の本』を読み、茶道と禅が生
活文化にもたらした影響を知る。
【事前・事後学習課題】 予習 テキストにある岡倉天心『茶の
本』の抜粋を読んでおく。
- 第8回 【授業テーマ】 日本の思想：仏教と神道
【内容・方法 等】 仏教と神道の自然観を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 予習 テキストにある法然『一念義停
止起請文』、親鸞『教行信証』、佐藤信綱『経済要略下』の
抜粋を読んでおく。
- 第9回 【授業テーマ】 日本の思想：心学と町衆文化
【内容・方法 等】 町衆文化に根付いた学問および技術観
【事前・事後学習課題】 予習 金子務『江戸人物科学史』(中
公新書、2005)に目を通しておく。
- 第10回 【授業テーマ】 日本の思想：福沢諭吉と文明開化
【内容・方法 等】 西洋技術の導入と近代化
【事前・事後学習課題】 予習 青空文庫にある福沢諭吉『学問
のすゝめ』(http://www.aozora.gr.jp/cards/000296/files/47061_29420.html)を読んでおく。
- 第11回 【授業テーマ】 日本の自然観：南方熊楠と晏荼羅
【内容・方法 等】 日本社会における共生の思想
【事前・事後学習課題】 予習 青空文庫にある南方熊楠『神社
合祀に関する意見』(<http://www.aozora.gr.jp/cards/000093/card525.html>)と、テキストにある南方熊楠
『トートムと命名』を読んでおく。

- 第12回 【授業テーマ】 日本の自然観：和辻哲郎『風土』
【内容・方法 等】 自然環境と文化との関係
【事前・事後学習課題】 予習 高校地理の地形と気候について
復習しておく。
- 第13回 【授業テーマ】 技術者倫理：倫理綱領と技術者
【内容・方法 等】 技術の社会的・道徳的問題
【事前・事後学習課題】 事前学習 日本技術士会「技術者倫理
綱領」を読んでおくこと。
- 第14回 【授業テーマ】 技術者倫理：国境を超える科学技術
【内容・方法 等】 グローバル化と技術者倫理
【事前・事後学習課題】 予習 海外への技術移転について調べ
ておくこと。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ：日本の「技術者の夢」
【内容・方法 等】 市民としての技術者のあり方
【事前・事後学習課題】 予習 中村圭子『科学者が人間である
こと』(岩波新書、2013)を読んでおくこと。

評価方法(基準)

定期試験60%、平常点(コメントペーパー、受講態度、出席状況)
40%の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…吉本隆明『思想のアンソロジー』、ちくま学芸文庫、
2013
「技術士倫理綱領の解説」(公益社団法人日本技術士会
HP http://www.engineer.or.jp/c_topics/000/attached/attach_25_3.pdf)をプリントアウトしておく
こと。

参考書…金子務『江戸人物科学史』、中公新書、2005
中村圭子『科学者が人間であること』、岩波新書、2013

学生へのメッセージ

日本社会における技術の位置づけと技術に携わる人々のあり方
にも触れていきますので、技術に携わる者としての考えを深め
るように。

遅刻、途中退回はしないこと。私語、携帯電話の使用等、授業
態度が悪い場合、平常点をゼロとし、退室を命じることがあり
ます。

関連科目

哲学 II

担当者の研究室等

非常勤講師室

哲学
Philosophy I

島田喜行(シマダ ヨシユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、現代の日本人が持っている行動規範の源流を辿り
直すことから、専門技術者を目指す者が身につけておくべき職
業観と倫理観を学ぶ。

具体的には、今日の産業社会を考える際のキーワードの一つで
ある「持続可能性sustainability」について、江戸時代の様々な
思想を通じて理解する。また、柳宗悦の「民藝」思想を通じて
職人の手仕事、匠の技の卓越性と工芸の用と美に触れる。さらに、
三木清の「技術哲学」から「技術」の思想とその理論的背景を
理解し、自然と人間とがより善く共生できる社会の実現を目指
す技術者のマナーと倫理を学ぶ。

到達目標：以下の項目の理解を到達目標とする。1.sustainability
と技術 2.民藝思想にみる職人の技と矜持 3.自然との共生を目指
す技術者倫理

学科の学習と教育目標との対応：「I I」

授業方法と留意点

ノート講義形式
講義内容の理解を問う小テストを数回行う
講義内容と密接に関係する問題に対する小レポート(1200~
1600字)を1回課す

科目学習の効果(資格)

日本の伝統的な職業観と思想に触れることから、現代の技術者
が身につけるべきことは何か、見習うべきことは何かという問
いに対して自主的に取り組めるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義の説明
【事前・事後学習課題】 とくになし
- 第2回 【授業テーマ】 科学と技術の基礎(1)
【内容・方法 等】 自然科学の源流
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回 【授業テーマ】 科学と技術の基礎(2)
【内容・方法 等】 フランシス・ベーコンの思想
【事前・事後学習課題】 予習 フランシス・ベーコンについて

- 調べる
- 第4回 【授業テーマ】 科学と技術の基礎 (3)
【内容・方法等】 ハンソン「理論負荷性」とは何か
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第5回 【授業テーマ】 江戸時代の思想 (1)
【内容・方法等】 sustainabilityとは何か、環境破壊と人間性
の問題
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第6回 【授業テーマ】 江戸時代の思想 (2)
【内容・方法等】 中江藤樹の思想
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第7回 【授業テーマ】 江戸時代の思想 (3)
【内容・方法等】 熊沢蕃山の思想
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第8回 【授業テーマ】 江戸時代の思想 (4)
【内容・方法等】 荻生徂徠の思想
【事前・事後学習課題】 予習 荻生徂徠について調べる
- 第9回 【授業テーマ】 江戸時代の思想 (5)
【内容・方法等】 石田梅岩と貝原益軒の思想
【事前・事後学習課題】 予習 貝原益軒について調べる
- 第10回 【授業テーマ】 柳宗悦の思想 (1)
【内容・方法等】 現代社会と道具
【事前・事後学習課題】 予習 柳宗悦について調べる
- 第11回 【授業テーマ】 柳宗悦の思想 (2)
【内容・方法等】 民藝と手仕事、匠の技と品物の性質
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第12回 【授業テーマ】 三木清の思想
【内容・方法等】 技術の本質
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第13回 【授業テーマ】 社会と技術
【内容・方法等】 技術者にとって技術とは何か
【事前・事後学習課題】 予習 「技術者倫理綱領」の解説を読む
- 第14回 【授業テーマ】 科学技術がもたらす社会的倫理的問題
【内容・方法等】 生命にかかわる技術と倫理
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 講義のふりかえり
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

評価方法 (基準)
定期試験60%、平常点 (1200~1600字の小レポート、小テスト、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

教材等

- 教科書…公益社団法人日本技術士会のホームページにある「技術者倫理綱領」の解説をダウンロードしておくこと
- 参考書…田尻祐一郎『江戸の思想史 人物・方法・連環』中公新書、2011年。
柳宗悦『民藝とは何か』講談社学術文庫、2006年。その他、講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

日本の伝統的な「ものの見方」と「立ち居振る舞い」に触れ、現代社会を主体的に生きていくためのヒントを発見してください。

私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目

- 哲学から学ぶ
担当者の研究室等
非常勤講師室

哲学II Philosophy II				
柿本佳美 (カキモト ヨシミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では、ものづくりの専門家としての技術者のありかたと技術に関わる思想をたどり、技術者が身につけておくべき職業倫理について学びます。

人間は、生活のなかの大変な作業を楽にしようとさまざまな技術を生み出し、生活をより快適にするためにそれらを発展させました。技術は、力を持った人間のために多くの人が苦しんだ社会から辛い作業をなくし、どの人も自由で豊かな生活を送ることのできる社会をつくり出す原動力にもなったのです。とはいえ、科学技術も他の専門知と同じく社会のなかで作られるのですから、科学技術に対する社会の影響について考える必要があります。

ここでは、私たちの社会のなかで技術と技術者のあり方を支え

てきた考え方について学んでいきましょう。

到達目標：日本社会における自然と技術観を理解し、共生社会を目指す持続可能な技術のあり方を考えることができる。

授業方法と留意点

講義形式で進めますが、人数によってはディスカッションも取り入れます。

科目学習の効果 (資格)

科学技術をめぐる歴史をたどることで、人間の知的営みとしての技術のあり方について考えることができる。

日本社会における技術観・自然観を学び、これらを技術全体の歴史のなかに置くことで、日本が生み出した技術の特徴を知ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに：科学技術と私たち
【内容・方法等】 授業説明と導入。建築家ユニットSANAAに見る日本の技術への海外の評価
【事前・事後学習課題】 とくになし。
- 第2回 【授業テーマ】 世界史のなかの技術：古代から近世へ
【内容・方法等】 石器の使用、古代文明、中国およびイスラム圏での発展、近代的な科学技術の誕生
【事前・事後学習課題】 予習 高校地理を復習し、世界の河川・海洋および気候を確認する。
- 第3回 【授業テーマ】 世界史のなかの技術：近世から現代へ
【内容・方法等】 科学革命、産業革命、現代の科学技術
【事前・事後学習課題】 予習 太陽系の仕組みを確認しておく。
- 第4回 【授業テーマ】 日本史のなかの技術：古代から近世へ
【内容・方法等】 技術という視点から見た日本の歴史
【事前・事後学習課題】 予習 近世までの日本の歴史を見ておく。
- 第5回 【授業テーマ】 日本史のなかの技術：近世から現代へ
【内容・方法等】 江戸期の技術革新、明治期の近代化、高度成長期から現代
【事前・事後学習課題】 予習 江戸時代の寺子屋について調べる。
- 第6回 【授業テーマ】 日本の組織倫理を支える思想：『論語』と朱子学
【内容・方法等】 日本社会における『論語』の受容
【事前・事後学習課題】 予習 『論語』を読んでおく。
- 第7回 【授業テーマ】 生活文化の基礎：茶道と禅
【内容・方法等】 岡倉天心『茶の本』を読み、茶道と禅が生活文化にもたらした影響を知る。
【事前・事後学習課題】 予習 テキストにある岡倉天心『茶の本』の抜粋を読んでおく。
- 第8回 【授業テーマ】 日本の思想：仏教と神道
【内容・方法等】 仏教と神道の自然観を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 予習 テキストにある法然『一念義停止起請文』、親鸞『教行信証』、佐藤信綱『経済要略下』の抜粋を読んでおく。
- 第9回 【授業テーマ】 日本の思想：心学と町衆文化
【内容・方法等】 町衆文化に根付いた学問および技術観
【事前・事後学習課題】 予習 金子務『江戸人物科学史』(中公新書、2005)に目を通しておく。
- 第10回 【授業テーマ】 日本の思想：福沢諭吉と文明開化
【内容・方法等】 西洋技術の導入と近代化
【事前・事後学習課題】 予習 青空文庫にある福沢諭吉『学問のすゝめ』(http://www.aozora.gr.jp/cards/000296/files/47061_29420.html)を読んでおく。
- 第11回 【授業テーマ】 日本の自然観：南方熊楠と曼荼羅
【内容・方法等】 日本社会における共生の思想
【事前・事後学習課題】 予習 青空文庫にある南方熊楠『神社合祀に関する意見』(<http://www.aozora.gr.jp/cards/000093/card525.html>)と、テキストにある南方熊楠『トーテムと命名』を読んでおく。
- 第12回 【授業テーマ】 日本の自然観：和辻哲郎『風土』
【内容・方法等】 自然環境と文化との関係
【事前・事後学習課題】 予習 高校地理の地形と気候について復習しておく。
- 第13回 【授業テーマ】 技術者倫理：倫理綱領と技術者
【内容・方法等】 技術の社会的・道徳的問題
【事前・事後学習課題】 事前学習 日本技術士会「技術者倫理綱領」を読んでおくこと。
- 第14回 【授業テーマ】 技術者倫理：国境を超える科学技術
【内容・方法等】 グローバル化と技術者倫理
【事前・事後学習課題】 予習 海外への技術移転について調べておくこと。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ：日本の「技術者の夢」
【内容・方法等】 市民としての技術者のあり方
【事前・事後学習課題】 予習 中村圭子『科学者が人間であること』(岩波新書、2013)を読んでおくこと。

評価方法 (基準)

定期試験60%、平常点 (コメントペーパー、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

教材等

- 教科書…吉本隆明『思想のアンソロジー』、ちくま学芸文庫、

2013

「技術士倫理綱領の解説」(公益社団法人日本技術士会 HP http://www.engineer.or.jp/c_topics/000/attached/attach_25_3.pdf) をプリントアウトしておくこと。

参考書…金子務『江戸人物科学史』、中公新書、2005
中村圭子『科学者が人間であること』、岩波新書、2013

学生へのメッセージ

日本社会における技術の位置づけと技術に携わる人々のあり方にも触れていきますので、技術に携わる者としての考えを深めるように。

遅刻、途中退席はしないこと。私語、携帯電話の使用等、授業態度が悪い場合、平常点をゼロとし、退室を命じることがあります。

関連科目

哲学 II

担当者の研究室等

非常勤講師室

哲学II
Philosophy II

島田 喜行 (シマダ ヨシユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

わたしたちは環境としての世界のなかで、できるだけ善く生きるために、あるいはできるだけ有効に活動するために、世界のあり方を知ろうとする。こうしたわたしたちの世界を知ろうとする努力が哲学という営為の根本にある。本講義では、世界を知ろうとする哲学の起源である古代哲学を通じて「世界の見方」を学び直すことで常識を突破する知的興奮を学ぶ。そのなかで、どのような仕方で古代の思想が現代社会を生きるわたしたちの指針となりうるか、という問いについて考えてみたい。
到達目標：哲学の源流であるギリシア思想を学ぶことから、社会人にとって必要な教養と多角的視点を身につけることができる。

学科の学習と教育目標との対応：「II」

授業方法と留意点

ノート講義方式
講義内容の理解を問う小テストを数回行う
講義内容と密接に関係する問題に対する小レポート(1200~1600字)を1回課す

科目学習の効果(資格)

古典哲学から哲学的思考法の基本構造を学び、現代の社会構造や現代人の生き方を新たな視点から捉え直す能力が獲得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 講義の説明
【事前・事後学習課題】 とくになし
- 第2回 【授業テーマ】 哲学とは何か
【内容・方法等】 古代哲学者の末路について
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回 【授業テーマ】 古代ギリシア哲学の始まり(1)
【内容・方法等】 古代神話における神の死と哲学の始まり
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第4回 【授業テーマ】 古代ギリシア哲学の始まり(2)
【内容・方法等】 世界の見方、ミュートスとロゴスについて
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第5回 【授業テーマ】 タレスの思想(1)
【内容・方法等】 水の哲学
【事前・事後学習課題】 予習 タレスについて調べる。
- 第6回 【授業テーマ】 タレスの思想(2)
【内容・方法等】 水の哲学についての三つの解釈
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第7回 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想(1)
【内容・方法等】 火の哲学
【事前・事後学習課題】 予習 ヘラクレイトスについて調べる
- 第8回 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想(2)
【内容・方法等】 逆理論法について
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第9回 【授業テーマ】 選別エチカの思想(1)
【内容・方法等】 二分法による世界の見方について
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第10回 【授業テーマ】 選別エチカの思想(2)
【内容・方法等】 「人生は子どもの遊びである」ということについて
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第11回 【授業テーマ】 ソクラテスの思想(1)
【内容・方法等】 神託と無知の知

- 【事前・事後学習課題】 予習 ソクラテスについて調べる。
- 第12回 【授業テーマ】 ソクラテスの思想(2)
【内容・方法等】 ブッダとの対比
【事前・事後学習課題】 予習 ブッダについて調べる。
- 第13回 【授業テーマ】 ストア派の思想
【内容・方法等】 ストイックな生き方とは何か
【事前・事後学習課題】 予習 M.アウレリウスについて調べる。
- 第14回 【授業テーマ】 古代哲学と現代の諸問題
【内容・方法等】 矛盾やパラドクスによって世界を把握することについて
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 これまでの講義のふりかえり
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

評価方法(基準)

定期試験60%、平常点(1200~1600字の小レポート、小テスト、受講態度、出席状況)40%の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…古東哲明『現代思想としてのギリシア哲学』講談社、1998年。
その他は、授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

一見、現代の生活スタイルには関係ないと思われる古典哲学の知見が、実は身近なところで生き続けているということをも自分の目で確かめてください。
私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目

実践の思想

担当者の研究室等

非常勤講師室

文学I
Literature I

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では『百人一首』を読んでいきます。まず、文学作品としての位置づけを行ったうえで、和歌の鑑賞を通して、我々現代人が忘れてしまった自然と共生する力や方法、また今も昔も変わらない心情などを学びましょう。古典作品は断絶した遠い過去の遺物ではありません。自ら作品に近づき親しむことにより、現代の文学作品と同様に多くの知見や感動を得ることができます。和歌の断片的な知識ではなく、作品としての総合的な理解が目標です。

学科の学習・教育目標との対応：「I I」

授業方法と留意点

講義形式です。不定期に小テストを行い、平常点(出席点)とします。

科目学習の効果(資格)

大学生として必要最低限の「古典文学」の知識を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 授業の目的、方法の説明
【事前・事後学習課題】 『百人一首』を読む
- 第2回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』1
【内容・方法等】 『百人一首』の成立と謎
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第3回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』2
【内容・方法等】 江戸時代を中心にした、『百人一首』の後世の受容
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第4回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』3
【内容・方法等】 『百人一首』の構成と和歌を読むための基礎知識
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第5回 【授業テーマ】 四季歌を読む 春1
【内容・方法等】 春の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第6回 【授業テーマ】 四季歌を読む 春2
【内容・方法等】 桜の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第7回 【授業テーマ】 四季歌を読む 夏
【内容・方法等】 夏の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む

教養科目

- 第8回 【授業テーマ】 四季歌を読む 秋1
【内容・方法等】 秋の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第9回 【授業テーマ】 四季歌を読む 秋2
【内容・方法等】 秋の月の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第10回 【授業テーマ】 四季歌を読む 冬
【内容・方法等】 冬の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第11回 【授業テーマ】 恋歌
【内容・方法等】 名所（歌枕）を用いた恋歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第12回 【授業テーマ】 雑歌1
【内容・方法等】 友情をテーマにした歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第13回 【授業テーマ】 雑歌2
【内容・方法等】 旅の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第14回 【授業テーマ】 雑歌2
【内容・方法等】 人生をテーマにした歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第15回 【授業テーマ】 授業の総括
【内容・方法等】 『百人一首』の意義と他の文学作品との関わり
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 評価方法（基準）**
平常点（主に小テスト）と試験によって、総合的に評価します。
（平常点30%、定期試験70%）
- 教材等**
教科書…資料を配付します。
参考書…適宜、講義のなかで紹介いたします。
- 学生へのメッセージ**
和歌が持つ美しいリズムを味わい、千年前の人々からのメッセージを受け取りましょう。
- 関連科目**
日本語読解
- 担当者の研究室等**
7号館2階(非常勤講師室)

文学II Literature II				
細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
この講義では明治以降現代までの新聞小説を、朝日新聞を中心に読んでいきます。時代順に読むことにより、新聞小説が持つ役割の変化を考えましょう。時代の中における文学としての役割、新聞紙上での役割など、複数の視点で捉えるようになることが目標です。
学科の学習・教育目標との対応：「I I」
- 授業方法と留意点**
講義形式ですが、不定期に復習テストを行います。
また、授業で紹介した新聞小説を最低1冊は読むこと。感想文を提出した場合、平常点に加えます。
- 科目学習の効果（資格）**
大学生として最低限の教養を身につけることができます。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 本講義に臨むための基本姿勢と注意点について説明します
【事前・事後学習課題】 特になし
- 第2回 【授業テーマ】 新聞小説とは何か
【内容・方法等】 新聞小説の始まりと歴史について学びます
【事前・事後学習課題】 配布資料を読む
- 第3回 【授業テーマ】 明治時代の新聞小説1
【内容・方法等】 黎明期（明治30年まで）の新聞小説について
尾崎紅葉『金色夜叉』を中心に
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第4回 【授業テーマ】 明治時代の新聞小説2
【内容・方法等】 明治31年以降の新聞小説を読みます
夏目漱石『虞美人草』を中心に
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第5回 【授業テーマ】 明治時代の新聞小説3
【内容・方法等】 夏目漱石『坑夫』を読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第6回 【授業テーマ】 大正時代の新聞小説1
【内容・方法等】 中勘助『銀の匙』を読みます

- 第7回 【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
【授業テーマ】 大正時代の新聞小説2
【内容・方法等】 菊池寛『真珠夫人』、谷崎潤一郎『痴人の愛』を読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第8回 【授業テーマ】 大正時代の新聞小説3
【内容・方法等】 江戸川乱歩『一寸法師』を中心に
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第9回 【授業テーマ】 昭和初期の新聞小説
【内容・方法等】 川端康成『浅草紅団』を読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第10回 【授業テーマ】 戦中の新聞小説
【内容・方法等】 戦中の新聞小説の特色を考え、作品を読みます。
火野葦平『花と兵隊』を中心に
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第11回 【授業テーマ】 戦後の新聞小説
【内容・方法等】 戦後の新聞小説の特色と作品を読みます
石坂洋次郎『青い山脈』を中心に
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第12回 【授業テーマ】 現代の新聞小説1
【内容・方法等】 松本清張『砂の器』を読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第13回 【授業テーマ】 現代の新聞小説2
【内容・方法等】 有吉佐和子『複合汚染』を読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第14回 【授業テーマ】 現代の新聞小説3
【内容・方法等】 宮部みゆき『理由』を中心に
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第15回 【授業テーマ】 本講義のまとめ
【内容・方法等】 講義で取り上げた新聞小説を振り返り、時代との関わりを考えます
【事前・事後学習課題】 配布資料を読む
- 評価方法（基準）**
平常点と試験によって、総合的に評価します。
（平常点30%、定期試験70%）
- 教材等**
教科書…資料を配付します。
参考書…適宜、講義のなかで紹介いたします。
- 学生へのメッセージ**
新聞小説というジャンルを認識することで、社会と文学との関わりを考えてみよう。文学が時代を反映していることや社会に与える影響を、新聞小説を通して理解してもらいたい。
- 関連科目**
日本語読解
- 担当者の研究室等**
7号館2階(非常勤講師室)

歴史学I History I				
村上 司樹 (ムラカミ モトキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
歴史は暗記科目ではない。過去に生きた人びとの具体的経験から思考力を培う営みである。理工学部を対象とするこの授業では、中世ヨーロッパの歴史を、自然と技術の2つの視点から読み直す。具体的には(1)機械による労働、(2)建築家と技術者、(3)自然学の社会的利用が誕生した状況を知ることができる。理学と工学のいずれにとっても大きな転換点であった中世ヨーロッパについて、具体的で中味のある基礎知識を身につけよう。
学科の学習・教育目標との対応：「A」
- 授業方法と留意点**
毎回プリントを配布し、図像資料も交えながら授業を進める。宿題は毎回のプリントを、①授業の当日、②次回授業の前日の、最低2回読み返すこと。つまり復習。なぜならこの授業では、毎回の授業開始時に、「前回どのような話をしたか」語ることは一切しないから。前回とその回の授業内容のつながり、話の流れを追うことは自分でする必要がる。そのための2度の読み返し。そもそも勉強とは復習である。
- 科目学習の効果（資格）**
文化という視点を得て、理学・工学をより深く、より幅広く理解するための教養を培う。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 授業のルール・方針・全体計画
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第2回 【授業テーマ】 機械からみた中世 I
【内容・方法等】 中世の産業革命

- 第3回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 機械からみた中世 I I
【内容・方法 等】 中世の産業革命 (続)
- 第4回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 機械からみた中世 I I I
【内容・方法 等】 領主と農民のエネルギー利用
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 機械からみた中世 I V
【内容・方法 等】 領主と農民のエネルギー利用 (続)
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 機械からみた中世 V
【内容・方法 等】 教会と技術
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 小レポート
【授業テーマ】 建築からみた中世 I
【内容・方法 等】 教会と建築
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 建築からみた中世 I I
【内容・方法 等】 教会と建築 (続)
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 建築からみた中世 I I I
【内容・方法 等】 教会と建築 (続々)
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 建築からみた中世 I V
【内容・方法 等】 修道院と石造り
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 建築からみた中世 I V
【内容・方法 等】 修道院と石造り (続)
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 建築からみた中世 V
【内容・方法 等】 大聖堂と石造り
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 自然からみた中世 I
【内容・方法 等】 奇蹟と魔術の自然学
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 自然からみた中世 I I
【内容・方法 等】 奇蹟と魔術の自然学 (続)
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 自然からみた中世 I I I
【内容・方法 等】 奇蹟と魔術の自然学 (続々)

評価方法 (基準)
暗記は必要ない。減点主義もとらない。具体的には、①定期試験 (40%)、②小レポート (30%)、③レスポンスペーパー (30%) の3つで評価する。①～③すべてに共通する評価基準は、「具体的に書けているかどうか」である。

教材等
教科書…参考資料を適宜配布する。
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンス・ペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やることが多い」などとネガティブに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティブに捉えることをお勧めします。それにものごとを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

歴史学 I History I				
佐伯 智 広 (サエキ トモヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
目的・到達目標：近代日本の成立についての歴史的な基礎知識を身に付け、その特質を理解する。
概要：私たちは、日本という「国」に暮らしていることを、当たり前のこと・自然なことだと思っています。ですが、もしもそれが「自然ではないこと」だと言われたら…ちょっと「えっ？」と思いませんか？
現在の私たちが暮らす「国」とは何なのか。それが誰によって、何のために、どのように作られたのか。この講義では、そうした国の成り立ちの歴史について学びます。それは、単なる歴史ではなく、現代社会について理解することにつながるでしょう。学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
板書講義形式です。プリントを利用します。教科書はありません。

参考図書は講義内で適宜示します。

科目学習の効果 (資格)
近代日本という国の起源・変遷・特色についての、歴史的な基礎知識と、それを説明する能力を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション 「国」とは何か
【内容・方法 等】 私たちが現在暮らす「国」とは何なのかについて説明します。
【事前・事後学習課題】 なし

第2回 【授業テーマ】 開国
【内容・方法 等】 幕末の開国について、江戸時代の鎖国と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「開国」という語について辞書的な意味を調べる。

第3回 【授業テーマ】 廃藩置県
【内容・方法 等】 廃藩置県について、江戸時代の幕藩体制と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「廃藩置県」という語について辞書的な意味を調べる。

第4回 【授業テーマ】 徴兵令
【内容・方法 等】 徴兵令について、江戸時代の武士と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「徴兵令」という語について辞書的な意味を調べる。

第5回 【授業テーマ】 文明開化
【内容・方法 等】 文明開化について、江戸時代の蘭学・国学と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「文明開化」という語について辞書的な意味を調べる。

第6回 【授業テーマ】 自由民権運動
【内容・方法 等】 自由民権運動について、現代の政治制度と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「自由民権運動」という語について辞書的な意味を調べる。

第7回 【授業テーマ】 大日本帝国憲法
【内容・方法 等】 大日本帝国憲法について、日本国憲法と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「大日本帝国憲法」という語について辞書的な意味を調べる。

第8回 【授業テーマ】 条約改正
【内容・方法 等】 不平等条約の改正について考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「条約改正」という語について辞書的な意味を調べる。

第9回 【授業テーマ】 日清戦争・日露戦争
【内容・方法 等】 日清戦争・日露戦争について、前後の時代の戦争と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「日清戦争」「日露戦争」という語について辞書的な意味を調べる。

第10回 【授業テーマ】 第一次世界大戦
【内容・方法 等】 第一次世界大戦について、前後の時代の戦争と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「第一次世界大戦」という語について辞書的な意味を調べる。

第11回 【授業テーマ】 ワシントン体制
【内容・方法 等】 ワシントン体制について、現代の戦争問題と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「ワシントン体制」という語について辞書的な意味を調べる。

第12回 【授業テーマ】 大正デモクラシー
【内容・方法 等】 大正デモクラシーについて、現代の政治制度と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「大正デモクラシー」という語について辞書的な意味を調べる。

第13回 【授業テーマ】 世界恐慌
【内容・方法 等】 世界恐慌について、現代の経済問題と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「世界恐慌」という語について辞書的な意味を調べる。

第14回 【授業テーマ】 第二次世界大戦
【内容・方法 等】 第二次世界大戦について、前後の時代の戦争と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「第二次世界大戦」という語について辞書的な意味を調べる。

第15回 【授業テーマ】 そして現代へ
【内容・方法 等】 第二次世界大戦後の日本について、現代と比較して考えます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「日本国憲法」という語について辞書的な意味を調べる。

評価方法 (基準)
予習シート30%、定期試験70%

教材等
教科書…ありません。
参考書…講義内で適宜示します。

学生へのメッセージ

教科書で勉強する高校の日本史とは違って、大学での講義はきゅうくつな枠組みはありません。ただ過去の歴史を追うのではなく、現在に残る遺跡・遺物・建築・美術工芸品などを紹介したり、歴史を題材にした文学作品・マンガを取り上げたりしながら、現代の私達にとって歴史が持つ意味についても、自由に考えていきましょう！また、最新の学説なども紹介していくので、研究の最先端で教科書が書き換わっていく面白さも知ってもらいたいと考えています。

関連科目

ありません。

担当者の研究室等

7号館2階非常勤講師室

産業技術史 I History of Industrial Technology I				
照元 弘行 (テルモト ヒロユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

様々な産業で用いられる技術を「産業技術」という。この「産業技術」は、どのような経路をたどりながら、何を原動力として発展してきたかという問題について考える。本講義では、様々な「産業技術」の変遷を体系的に捉え、地球規模での産業技術の役割について考え、これまでに築かれてきた技術を学習・理解することで、今後、独創的な技術を生み出していく手がかりを提供する。
到達目標：幅広い教養と地球的視野をもった技術者の育成。具体的には、それぞれの産業技術の歴史を学習・理解することで、技術者として幅広い教養を、また、情報社会の世界情勢や地球環境問題を学ぶことで、物事を地球的視点から多面的に捉える能力と素養を身につけることができる。
学科の学習・教育目標との対応：[I]

授業方法と留意点

授業形式は、視聴覚教材を多用する「プレゼンテーション授業」である。講義中心の授業となるが、産業技術をできるだけわかりやすく理解してもらうために、視聴覚教材および資料集などの図を用いて解説する。

科目学習の効果（資格）

現在の産業技術社会は、膨大な情報と知識の専門化が進んでおり、この産業技術の世界を系統的に学ぶ機会が、一般教養科目を学ぶ以外の時期には少なくなる傾向にあり、他分野の知識の吸収には、自分自身で常に努力していく必要がある。それゆえ、できるだけ早い時期に産業技術の源を学んでおくことは、多くの分野に興味をもつための一助になると考えている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 産業技術史を学ぶにあたって／特許から見た産業発展史
【内容・方法 等】 産業技術史を学ぶ意味を考える。明治時代の近代日本創生から現代のプロパテント時代まで、日本の産業発展に特許制度が果たした役割を理解し、我が国の歴史から産業発展と特許制度の関係を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 課題レポート提出①
- 第2回 【授業テーマ】 製鉄・鉄鋼産業の技術史①
【内容・方法 等】 金属材料について学ぶ。伝統の日本製鉄法「たたら」について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出②
- 第3回 【授業テーマ】 製鉄・鉄鋼産業の技術史②
【内容・方法 等】 製鉄・鉄鋼産業の技術発展史とその公害・環境対策について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出③
- 第4回 【授業テーマ】 製鉄・鉄鋼産業の技術史③
【内容・方法 等】 製鉄所のシンボルである高炉について学ぶ。国産技術で育てた画期的な次世代の鉄「超鉄鋼」について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出④
- 第5回 【授業テーマ】 情報技術産業の歴史①
【内容・方法 等】 今日、日常的に利用しているワープロの歴史とその技術について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑤
- 第6回 【授業テーマ】 情報技術産業の歴史②
【内容・方法 等】 これからの携帯電話技術の「デファクトスタンダード」をめぐる激しい争いを事例にして、これらの技術について学ぶ。

- 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑥
- 第7回 【授業テーマ】 自動車産業の歴史①
【内容・方法 等】 国産自動車トヨタAA型の開発を事例にして、日本の自動車産業を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑦
- 第8回 【授業テーマ】 自動車産業の歴史②
【内容・方法 等】 自動車産業の公害・環境問題について学ぶ。ここでは、低公害エンジン「CVCC」を事例にして学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑧
- 第9回 【授業テーマ】 自動車産業の歴史③
【内容・方法 等】 自動車産業の公害・環境問題について学ぶ。ここでは、「ハイブリッドカー」を事例にして学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑨
- 第10回 【授業テーマ】 自動車産業の歴史④
【内容・方法 等】 自動車産業の公害・環境問題について学ぶ。ここでは、燃料電池の技術と「究極のエコカー」である燃料電池自動車について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑩
- 第11回 【授業テーマ】 鉄道産業の歴史①
【内容・方法 等】 国と地方の問題から「新幹線問題」について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑪
- 第12回 【授業テーマ】 鉄道産業の歴史②
【内容・方法 等】 高速鉄道「新幹線」の開発の歴史とその主要技術について学ぶ。新幹線を作る様々な技術（町工場がもつアナログ的な技術）を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑫
- 第13回 【授業テーマ】 鉄道産業の歴史③
【内容・方法 等】 未来の高速鉄道「リニアモーターカー」について学ぶ。また、これからの鉄道の公害・環境対策技術、安全対策について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑬
- 第14回 【授業テーマ】 公害・環境対策の技術史
【内容・方法 等】 産業競争力強化の重要な柱の1つである「ISO14001」の認証取得の事例を解説する。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑭
- 第15回 【授業テーマ】 世界の産業技術
【内容・方法 等】 産業技術の未来への取り組みについて、子どもたちへの活動を通して考える。
【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。課題レポート提出⑮

評価方法（基準）

各授業毎の課題レポート（50点配分）と定期試験（50点配分）で総合的（合計100点）に評価する。なお、合格基準は、レポートおよび定期試験がそれぞれ30点以上、総合評価で60点以上を合格とする。

教材等

教科書…特に、教科書は、指定しないが、資料集などを配布する予定である。

参考書…参考書は、講義の中で適宜、紹介していく予定である。

学生へのメッセージ

1時間目の授業ではありますが、遅刻せずに毎回出席することが望ましい。授業中は私語を慎み、集中して授業に臨み、理解した授業の内容を整理できるように心がけて下さい。

関連科目

産業技術史は、多面的で複合的な科目であることから、大学において、できるだけ数多くの科目を習得すれば、必ず役立つと思います。

担当者の研究室等

第1回目の講義時にお知らせします。

備考

講義のキーワードとして、「特許」、「公害・環境問題」、「アナログ的な技術・デジタル的な技術」などを示しておく。

国語学 I Japanese Language I				
船田 淳一 (フナタ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

教養科目

授業概要・目的・到達目標

皆さんは本を読むことが好きですか？それとも嫌いですか？この講義では様々なタイプの文章を多角的に「読解」してゆきます。読むことが苦手な人は、その苦手意識の克服、本が好きな人は、更に深く読解する力を付けることが目的です。また読むことに留まらず、書く力の養成も大きな目標の一つであり、それを通して大学生としての思考力を育みます。ともに頑張りましょう！学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

毎回、小テストを行い、基礎的な語彙力を身に付けます。「読む」だけでなく、自分でも「書く」ことで、日本語リテラシーの向上を目指しますので、講義中に作成した文章の提出を求めます。それは成績に反映されます。

科目学習の効果（資格）

大学の授業に必要な読解力が獲得できます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業の進め方などについて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第2回 【授業テーマ】 日本語とは何か？
【内容・方法 等】 私たちの母語である日本語の歴史について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第3回 【授業テーマ】 小説を読む①
【内容・方法 等】 小説を読んで読解力を養う。分析を加え感想文を作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第4回 【授業テーマ】 小説を読む②
【内容・方法 等】 小説を読んで読解力を養う。分析を加え感想文を作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第5回 【授業テーマ】 評論を読む①
【内容・方法 等】 評論を読んで読解力を養う。分析を加え小レポートを作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第6回 【授業テーマ】 評論を読む②
【内容・方法 等】 評論を読んで読解力を養う。分析を加え小レポートを作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第7回 【授業テーマ】 評論を読む③
【内容・方法 等】 評論を読んで読解力を養う。分析を加え小レポートを作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第8回 【授業テーマ】 評論を読む④
【内容・方法 等】 評論を読んで読解力を養う。分析を加え小レポートを作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第9回 【授業テーマ】 古典文学を読む①
【内容・方法 等】 古典文学を読んで読解力を養う。分析を加え感想文を作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第10回 【授業テーマ】 古典文学を読む②
【内容・方法 等】 古典文学を読んで読解力を養う。分析を加え感想文を作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第11回 【授業テーマ】 グルメライターの文章を読む
【内容・方法 等】 グルメライターの文章を読み、味わいを表現する文章を作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第12回 【授業テーマ】 キャッチコピーを読む
【内容・方法 等】 キャッチコピーを読み、広告の文章を作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第13回 【授業テーマ】 小論文の作成①
【内容・方法 等】 課題の文章を読解し、小論文を作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第14回 【授業テーマ】 小論文の作成②
【内容・方法 等】 課題の文章を読解し、小論文を作成する。
【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおく。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 これまでの授業の総括をする。
【事前・事後学習課題】 定期試験にむけて復習をする。

評価方法（基準）

試験期間中に定期試験を実施します（50%）。毎回の小テスト、課題などの提出物（30%）、授業態度（20%）を総合して評価します。

教材等

教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ

「読む」ということを嫌がらず、様々な文章に触れて感受性を磨きましょう。

関連科目

日本語文法

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

国語学 I I Japanese Language II

松尾 佳津子（マツオ カヅコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日々、何を読んでいますか？ また、日々、何を書いていますか？ 何を学ぶにせよ、また学生であれ社会人であれ、「文章を読む」ということを避けて通るわけにはいきません。仲間内だけで通じる会話や話し言葉でなく、書き言葉を通じてしか手に入らないものがあります。それをぜひ身につけてほしいと願っています。前期に「日本語読解」で身に付けた力をさらに伸ばそうという人も、前期は受講していなかったから後期から頑張りたいたいという人も、前期以上に幅の広い、さまざまなジャンルの文章を素材として語句や表現を学び、自分なりの感想を持ちそれを発信する、というトレーニングを積みあげていきましょう。語句の知識を増やして定着させること、表現に着目した読解トレーニングを積むこと、読解した内容に対して自分なりの考えを表現できること。この三つの力を磨くことを目標とします。学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

◇毎回、語句チェックを通じて語彙力を磨きます（授業前半）。また毎回、素材となる文章を配布し、プリント形式で読解授業を進めます（授業後半）。
◇授業中に随時課題を提示しますので、それらに取り組むことで積極的な取り組みをあなたに要求します。友人の回答の引き出しなど、課題に取り組む態度に不備のある場合は、出席と認めません。

科目学習の効果（資格）

「日本語文章能力検定」などの公的資格もありますが、自分のことばに自覚的である感性を養うことが何よりの学習効果です。文章を味読し、自分の考えを文章化し、他者に発信するトレーニングは、積極的に取り組むことで、日々のレポート作成や、就職活動のための種々の文章作成の下地作りにもなるでしょう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 エッセイ（1）
【内容・方法 等】 着眼点の面白さを味わう。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第2回 【授業テーマ】 エッセイ（2）
【内容・方法 等】 表現に着目して味わう。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第3回 【授業テーマ】 エッセイ（3）
【内容・方法 等】 内容を踏まえて自分の意見をまとめる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第4回 【授業テーマ】 新聞記事（1）
【内容・方法 等】 実用的な文章のあり方を考察する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第5回 【授業テーマ】 新聞記事（2）
【内容・方法 等】 伝達の効果を高める工夫を考察する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第6回 【授業テーマ】 新聞記事（3）
【内容・方法 等】 報道記事以外の文章を考察する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第7回 【授業テーマ】 短編小説（1）
【内容・方法 等】 短編小説の構成を味読する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第8回 【授業テーマ】 短編小説（2）
【内容・方法 等】 翻訳の文章を考察する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第9回 【授業テーマ】 短編小説（3）
【内容・方法 等】 表現技法を考察する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第10回 【授業テーマ】 評論（1）
【内容・方法 等】 時事評論を読み解く。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第11回 【授業テーマ】 評論（2）

- 【内容・方法等】 文芸評論を読み解く。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第12回 **【授業テーマ】** 評論（3）
【内容・方法等】 文語調の評論を読んでみる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第13回 **【授業テーマ】** 韻文（1）
【内容・方法等】 俳句を鑑賞する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第14回 **【授業テーマ】** 韻文（2）
【内容・方法等】 和歌・短歌を鑑賞する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第15回 **【授業テーマ】** 韻文（3）
【内容・方法等】 詩を鑑賞する。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

評価方法（基準）

◇講義中に作成する小レポートが出席確認を兼ねます。近年散見する代筆提出については、代筆者・被代筆者共、成績処理時に大幅減点します。
 ◇最終成績は、定期試験の結果7割と小レポートの回答状況3割とを合わせて判断します。
 ◇私語・飲食・頻繁な離席・他授業の課題作成・居眠りなど、受講態度の著しく悪い学生には退室を指示して当日の出席は無効とし、さらに状況に応じてマイナス評価を下します。また、回収した小レポートの回答状況が著しく悪い場合も、当日の出席は無効とします。
 ◇出席不良者は、原則として成績評価を行いません。

教材等

教科書…プリント授業です。
 参考書…毎回のプリントの中で提示していきます。

学生へのメッセージ

「日本語なんて今更…」 「国語はキライ！」などの気持ちを捨てて講義に臨んで下さい。私があなたに求めているのは「今までの知識の積み重ね」ではなく、「自分のことばに自覚的になること、自分のことばで考えること」です。正解のない世界で「自分の答え」を手探りしてみましょう。

関連科目

こういった方面に興味のある人は、他に「文学から学ぶ」や「日本語表現」などを学ぶことで、より理解を深めることができるでしょう。

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

地理学I Geography I				
笠原俊則(カサハラ トシノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

『環境』ということばはいろいろの分野でよく使われているが、地理学では最も重要な術語の一つである。これは人間生活に影響を及ぼす種々の外的要因の全体を意味する。そして近年人間活動にともなうこの環境に著しい変化が生じている。本講義では、最近の地理的環境問題の例をいくつか取り上げて説明し、受講生諸君が現代社会について考える一助にしてもらいたいと考えている。最終的には、受講者全員が現代の環境問題について興味を持ち、理解し、考え方を確立してくれることを期待している。これら3点をクリアできれば、この科目を受講した事が諸君の今後の人生に大いに役立つであろう。学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、講義中に適宜プリントを配布する。

科目学習の効果（資格）

人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 地理学とは？
【内容・方法等】 ・地理学の歴史
 ・地理学の定義
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。
- 第2回 **【授業テーマ】** 地理学と環境
【内容・方法等】 ・人類による環境への働きかけの歴史（過去から現在まで）

- 第3回 **【事前・事後学習課題】** 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
【授業テーマ】 生活の舞台としての地形-その1-
【内容・方法等】 ・扇状地の地形と土地利用
 ・台地の発達と土地利用
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第4回 **【授業テーマ】** 生活の舞台としての地形-その2-
【内容・方法等】 ・自然堤防帯における生活と土地利用
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第5回 **【授業テーマ】** ため池の多面的機能
【内容・方法等】 ・ため池の持つ多面的な機能とその利用
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第6回 **【授業テーマ】** ダム建設とそれとともなう環境の変化-その1-
【内容・方法等】 ・世界のダムと日本のダムの歴史
 ・ダム堆砂
 ・ダム上流における河床上昇とその影響
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第7回 **【授業テーマ】** ダム建設とそれとともなう環境の変化-その2-
【内容・方法等】 ・ダム下流における河床の低下
 ・日本における海岸侵食の状況
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第8回 **【授業テーマ】** 離島における地下ダムの建設
【内容・方法等】 ・宮古島における地下ダムの建設
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第9回 **【授業テーマ】** 都市化にともなう水環境の変化
【内容・方法等】 ・都市化にともなう流出および水質の変化
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第10回 **【授業テーマ】** 都市化にともなう水災害の変化
【内容・方法等】 ・都市化地域における水害と下水道整備
 ・農業地域における都市化と中小河川の変化
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第11回 **【授業テーマ】** 干拓地の自然的特性
【内容・方法等】 ・干拓地の地形
 ・干拓地の水環境
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第12回 **【授業テーマ】** すみわけられた都市社会空間
【内容・方法等】 ・エスニックマイノリティ社会
 ・インナーシティ問題
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第13回 **【授業テーマ】** ニュータウンの高齢化
【内容・方法等】 ・日本におけるニュータウンの成立
 ・千里ニュータウンの高齢化
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第14回 **【授業テーマ】** 都市商業の盛衰と多様化
【内容・方法等】 ・都市商業の発展と社会環境の変化
 ・都市中心部の空洞化と都市商業の変化
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第15回 **【授業テーマ】** 伝統工業の地域構成
【内容・方法等】 ・伝統工業の発展とその系譜
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。

評価方法（基準）

定期試験を実施する。さらに前期中頃に小テストも実施する。評価の割合は、定期試験70%、小テスト20%、授業参加点として10%である。授業参加点は、参加状況を把握するため、時々、コミュニケーションペーパーなどを布してチェックする。

教材等

教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編、古今書院（2400円＋税）
 参考書…「ダムと日本（岩波新書716）」天野礼子、岩波書店（700円＋税）
 「川と国土の危機 水害と社会（岩波新書1387）」高橋裕、岩波書店（700円＋税）

学生へのメッセージ

地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいらっしゃるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。

関連科目

「環境関連科目」等
 担当者の研究室等
 7号館2階 非常勤講師室

法学入門
 Jurisprudence

大 仲 淳 介 (オオナカ アツヨシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要：私たちの日常生活は多くの法律と関わります。この講義では、法学の基礎から始め、身近な具体的事例をとりあげ、民法、商法、会社法、民事訴訟法などの基礎を解説します。目的：日常生活から生じる法律問題を通して、法学の基礎的な知識を修得してもらうこと。目標：日常生活において必要・有益な法律の知識を得て、身近な法律問題を法的な立場から考えるようになることを目指します。

授業方法と留意点

教科書と配布プリントを用いて講義形式で行います。なお小テストは授業中に、適宜、行います。また小テストを行った回の授業を欠席した者のための再試験は行いませんので注意して下さい。

科目学習の効果（資格）

各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得になると思えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 法学の基礎1
 【内容・方法等】 法とは何か。法の種類、法の優劣関係について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書234頁から238頁と241頁から242頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 法学の基礎2
 【内容・方法等】 法律の条文の構造、法律の解釈について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書239頁から240頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 日常生活と契約1
 【内容・方法等】 民法の特徴、契約にの成立について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書1頁から8頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 日常生活と契約2
 【内容・方法等】 意思表示と契約の主体について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書8頁から17頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第5回 【授業テーマ】 日常生活と契約3
 【内容・方法等】 契約自由原則、契約の種類について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書18頁から24頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第6回 【授業テーマ】 日常生活と契約4
 【内容・方法等】 不動産取引と民法について説明します。
 【事前・事後学習課題】 教科書24頁から30頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第7回 【授業テーマ】 日常生活とアクシデント
 【内容・方法等】 交通事故、欠陥商品による被害、医療事故について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書42頁から60頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第8回 【授業テーマ】 家族関係1
 【内容・方法等】 結婚、離婚と民法について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書105頁から128頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第9回 【授業テーマ】 家族関係2
 【内容・方法等】 親子、扶養と民法について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書128頁から142頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第10回 【授業テーマ】 家族関係3
 【内容・方法等】 相続と民法について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書143頁から151頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

- 【授業テーマ】 企業と法1
 【内容・方法等】 商法・会社法を手がかりに企業とはどのようなものかについて説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書152頁から164頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第12回 【授業テーマ】 企業と法2
 【内容・方法等】 企業の所有と経営の分離と株式会社について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書165頁から200頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第13回 【授業テーマ】 紛争の解決1
 【内容・方法等】 日常生活で生じる紛争と裁判について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書201頁から212頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第14回 【授業テーマ】 紛争の解決2
 【内容・方法等】 裁判のしくみ、裁判以外の紛争の解決について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書212頁から233頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法等】 授業全体のまとめ
 【事前・事後学習課題】 第1回から第14回までの配付プリントの問題を確認して下さい。

評価方法（基準）

定期試験（60％）と小テスト（40％）の割合で評価します。小テストは、適宜、授業中に行います。

教材等

教科書…池田真朗、犬伏由子、野川忍、大塚英明、長谷部由紀子「法の世界へ」（第5版）
 有斐閣アルマ（1700＋税）
 参考書…授業中に、適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

授業中に生じた疑問は必ず質問して下さい。

関連科目

日本国憲法

担当者の研究室等

11号館5階 法学部資料室（法学部非常勤講師室）

日本国憲法

The Japanese Constitutional Law

大 仲 淳 介 (オオナカ アツヨシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：日本国憲法の基本的な内容を理解できるように、授業テーマと関連する憲法上の問題を取りあげ、これと関わりのある基本事項、判例、学説を解説・検討します。目的：身近に生じる憲法上の問題を通して憲法の基本的な考え方を理解してもらうこと。目標：憲法の基本的な知識を修得し、身近に生じる憲法上の問題を憲法の視点から考えるようになることを目指します。

授業方法と留意点

教科書と配布プリントを用いて講義形式で行います。小テストは授業中に、適宜、行います。なお小テストを実施した回に欠席した者のための再試験は行いませんので注意して下さい。

科目学習の効果（資格）

各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得になると思えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 日本国憲法とは
 【内容・方法等】 憲法の意味、憲法の最高法規性、違憲審査制などについて説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書9頁から18頁を読んでください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 基本的人権の保障1
 【内容・方法等】 人権の歴史、人権の分類、人権の限界について説明します。
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書19頁から25頁を読んでください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 基本的人権の保障2
 【内容・方法等】 人権の享有主体について説明します。



【事前・事後学習課題】 事前に教科書25頁から38頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第4回 **【授業テーマ】** 基本的人権の保障3
【内容・方法等】 人権規定の私人間効力について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書39頁から46頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第5回 **【授業テーマ】** 基本的人権の保障4
【内容・方法等】 幸福追求権と法の下での平等について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書47頁から66頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第6回 **【授業テーマ】** 基本的人権の保障5
【内容・方法等】 信教の自由と政教分離について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書67頁から78頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第7回 **【授業テーマ】** 基本的人権の保障6
【内容・方法等】 表現の自由の保障とその限界について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書79頁から90頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第8回 **【授業テーマ】** 基本的人権の保障7
【内容・方法等】 表現活動の規制（検閲と事前抑制）について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書91頁から100頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第9回 **【授業テーマ】** 基本的人権の保障8
【内容・方法等】 職業選択の自由とその規制を中心に経済的自由権について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書101頁から110頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第10回 **【授業テーマ】** 基本的人権の保障9
【内容・方法等】 生存権を中心に社会権について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書111頁から129頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第11回 **【授業テーマ】** 基本的人権の保障10
【内容・方法等】 刑罰、刑事手続と憲法について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書131頁から140頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第12回 **【授業テーマ】** 統治機構1
【内容・方法等】 立法の委任を中心に国会と立法権について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に155頁から166頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第13回 **【授業テーマ】** 統治機構2
【内容・方法等】 議院内閣制、内閣の組織と権能について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書167頁から178頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第14回 **【授業テーマ】** 統治機構3
【内容・方法等】 司法権、違憲立法審査権について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書179頁から200頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第15回 **【授業テーマ】** 統治機構4
【内容・方法等】 地方自治の本旨、条例制定権、住民投票について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書201頁から210頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

評価方法（基準）
定期試験（60%）、小テスト（40%）の割合で評価します。小テストは、適宜、行います。

教材等
教科書…中村陸男、岩本一郎、大島佳代子、木下和朗、齊藤正彰、佐々木雅寿、寺島壽一「はじめの憲法学」（第2版）三省堂
参考書…授業中に、適宜、紹介します。

学生へのメッセージ
授業で生じた疑問は必ず質問して下さい。

関連科目
法学入門
担当者の研究室等

11号館5階 法学部資料室（法学部非常勤講師室）

経済学I Economics I				
伊藤正純（イトウ マサズミ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
授業の到達目標は工学部・理工学部の学生諸君にとっても、新聞の経済記事が少しは理解できるようにすることである。そのため、新聞によく登場するマクロ経済学（その中心は国民所得）およびミクロ経済学（その中心は市場）の基礎概念（基本用語）をできるだけわかりやすく解説する。ただし、一般常識の範囲である。
学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
主としてプリントと板書を用いて講義する。授業の最後で授業の感想を書いてもらう。それを読んで次回の授業のやり方を工夫する。

科目学習の効果（資格）
マクロ経済学の諸概念を学び、経済新聞の記事における経済専門用語を理解できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 経済主体と経済循環
【内容・方法等】 経済主体（家計、企業、政府）。生産と支出（消費+投資）の経済循環。
マクロ経済学とミクロ経済学との関係。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第2回 **【授業テーマ】** 生産物市場 市場とは何か(1)
【内容・方法等】 需要・供給・価格決定論。財貨・サービスの市場。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第3回 **【授業テーマ】** 労働市場 その1 市場とは何か(2)
【内容・方法等】 労働需要と労働供給。賃金の決定と失業の発生。雇用慣行。就職。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第4回 **【授業テーマ】** 労働市場 その2 市場とは何か(2)続
【内容・方法等】 雇用形態の流動化。正規雇用と非正規雇用。労働者派遣法の変遷と雇用状況の変化。総額人件費抑制と「春闘」の形骸化。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第5回 **【授業テーマ】** 金融市場、株式市場 市場とは何か(3)
【内容・方法等】 直接金融と間接金融。自己資本と他人資本。株式会社とは何か。株価。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第6回 **【授業テーマ】** 国民所得と経済成長率
【内容・方法等】 フローとストックの違い。国民所得とは何か。GNP(国民総生産)とGDP(国内総生産)の違い。経済成長率（GDP増加率）。名目成長率。実質成長率。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第7回 **【授業テーマ】** 円高・円安 為替レート
【内容・方法等】 ドルを基準に考える。円高と円安はどっちが得？ 実効為替レート。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第8回 **【授業テーマ】** 国際収支
【内容・方法等】 輸出、輸入。経常収支（貿易収支、貿易外収支）、資本収支など。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第9回 **【授業テーマ】** インフレ・デフレ
【内容・方法等】 物価上昇、物価下落。消費者物価指数、企業物価指数。賃金デフレ。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第10回 **【授業テーマ】** 好況・不況
【内容・方法等】 景気循環、有効需要。政府による景気対策。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第11回 **【授業テーマ】** 貯蓄・投資バランス
【内容・方法等】 所得 = 消費 + 貯蓄、所得 = 消費 + 投資、ゆえに、貯蓄 = 投資。
家計と企業と政府の動向。家計の貯蓄減少（賃金デフレと

教養科目

高齢化)。貯蓄し投資しない企業。政府の財政赤字。

【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第12回 **【授業テーマ】** 国民負担率と政府の役割
【内容・方法 等】 租税負担率+社会保障負担率。大きな政府か小さな政府か。消費税増税による「税と社会保障の一体改革」。所得再分配機能。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第13回 **【授業テーマ】** デフレの罠
【内容・方法 等】 グローバリゼーションと総額人件費抑制策。価格破壊と賃下げ。労働分配率の低下。経済格差と貧困。消費不況の長期化。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。

第14回 **【授業テーマ】** 超低金利政策
【内容・方法 等】 なぜ超低金利政策なのか？ 円キャリートレードと世界の過剰流動性。見えない成長戦略。
【事前・事後学習課題】 全体の復讐をし、疑問点があれば次回質問すること。

第15回 **【授業テーマ】** 成長戦略は？ まとめと復讐
【内容・方法 等】 先決事項は、賃金デフレ解消と企業投資の復活、そのための政府の役割。
【事前・事後学習課題】 小テストで答えられなかった点をもう一度復讐すること。

評価方法 (基準)
 定期試験(筆記試験) 50%、小テスト40%、毎回の授業での提出物10%。無断欠席が4回以上ある場合は成績評価をしない。

教材等
教科書…なし
参考書…吉本佳生『日本経済の奇妙な常識』講談社現代新書、740円+税。
 吉本佳生『日本の景気は賃金が決める』講談社現代新書、800円+税。

学生へのメッセージ
 ちょっと難しいが、吉本佳生さんの『日本の景気は賃金が決める』を事前に読んでおいてほしい。そうすれば、日本経済が置かれている状況がイメージしやすくなり、授業中に説明する経済学の基礎用語の意味が理解しやすくなる。

関連科目
 なし

担当者の研究室等
 非常勤講師室(7号館2階)

経済学I Economics I				
久保 広 正 (クボ ヒロマサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 本授業は、経済学の知識がない学生が、マクロ経済学の基礎理論を身につけることを目的とする。株式市場、外国為替、国民所得、デフレ・インフレ、生産物市場等、主要な経済用語を理解し、新聞の経済記事を読めるようになることを到達目標とする。入社試験・公務員試験・資格試験にも役立つように、演習問題(課題)を提示する。学科の学習・教育目標との対応:「A」

授業方法と留意点
 授業は、基本的に、前回の課題の解説(復讐)、本日の授業テーマの解説、授業内容に対応する課題の提示の順序で進めていく。

科目学習の効果(資格)
 マクロ経済学の基礎概念を学び、新聞記事の経済基礎用語を理解できるようになる。入社試験・公務員試験・資格試験に役立つ知識が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション
【内容・方法 等】 マクロ経済学とはどのような学問かについて解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、アンケートの実施

第2回 **【授業テーマ】** 国民経済計算
【内容・方法 等】 付加価値、GDPとGNPの相違、三面等価の原則、名目値と実質値(GDPデフレーター)について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第3回 **【授業テーマ】** 生産物市場
【内容・方法 等】 消費と貯蓄の理論(ケインズ型消費関数と貯蓄関数)について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第4回 **【授業テーマ】** 生産物市場(II)
【内容・方法 等】 投資の理論(ケインズの限界効率理論)について解説する。

【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第5回 **【授業テーマ】** 国民所得の決定理論
【内容・方法 等】 有効需要と乗数理論について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第6回 **【授業テーマ】** 金融市場
【内容・方法 等】 貨幣の役割、株式市場における株価について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第7回 **【授業テーマ】** 中央銀行と金融政策
【内容・方法 等】 流動性選好理論(利率の決定)と中央銀行の役割について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第8回 **【授業テーマ】** 財政金融政策の有効性
【内容・方法 等】 IS-LM分析と経済政策の有効性について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第9回 **【授業テーマ】** まとめと中間試験
【内容・方法 等】 8回までの講義のまとめを行ったうえで、中間試験を実施する。
【事前・事後学習課題】 事前に、8回までの内容を復讐すること

第10回 **【授業テーマ】** デフレとインフレ
【内容・方法 等】 物価の変動を考慮した分析とデフレ・インフレの発生要因を解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第11回 **【授業テーマ】** 労働市場
【内容・方法 等】 失業とフィリップス曲線について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第12回 **【授業テーマ】** 国際マクロ経済
【内容・方法 等】 貿易と国際収支について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第13回 **【授業テーマ(II)** 国際マクロ経済(II)
【内容・方法 等】 外国為替レートについて解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第14回 **【授業テーマ】** 国際マクロ経済(III)
【内容・方法 等】 経常収支の決定理論について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

第15回 **【授業テーマ】** 経済成長
【内容・方法 等】 経済成長理論について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

評価方法 (基準)
 中間試験30%、期末試験50%、授業での課題提出及び授業態度20%の割合で総合的に評価する。ただし、無断欠席が4回以上ある場合には、成績評価しない。

教材等
教科書…飯田・中里『コンパクト マクロ経済学』(2008)新世社(1,800円+税)
参考書…講義中に指示する。

学生へのメッセージ
 工学部・理工学部の学生にとって、マクロ経済学で使用するグラフの読み方は決して難しいものではないと思います。本授業を通じて、一般教養としてのマクロ経済学の基礎知識を習得しましょう。

関連科目
 特になし

担当者の研究室等
 1号館7階 久保教授室(経済学部)

経済学II Economics II				
北尾 隆 夫 (キタオ タカオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 大学での学業を終えられた学生諸氏は、社会人として必ず企業との関わりを持たれます。就職する会社や、自らが経営する会社が、何を目指し、何に悩み、何に生き甲斐を求めているのかを、事例を通じ理解を深めて戴きます。ステーキホルダーとの関わりの中で、企業が果たすべき役割りを考えると共に、企業経営者に求められる素養や判断すべき内容、企業組織の在り方、更にはCSRで代表される企業の社会的責任に言及します。産業資本主義と金融資本主義との狭間で揺れ動く企業経営の実態と今後の企業経営の展望を一緒に考える授業です。

<到達目標>

- ①会社形態、組織形態とその運営への理解
- ②ビジネスの目的と意義への理解
- ③アントレプレナーの目的や意義の理解
- ④起業の方法や留意事項への理解
- ⑤株式会社が生み出す経済活動と社会的責任への理解



学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものになります。授業全体を通じ、その時々々の社会情勢を中心に、プリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介し、全員で考えながら授業を進めます。

科目学習の効果（資格）

企業経営の観点だけでなく、企業での就業の意味や目的を、更には自らの起業や経営の在り方について、経営的観点から理解を深めていただく効果を期待します。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 はじめに - 企業のはじまりの歴史の意味 -
【内容・方法 等】 ・講師自己紹介、授業ガイダンス
・企業（株式会社）の発祥の歴史の経緯や社会的意味、意義を解説します。

第2回 【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んでください。
【授業テーマ】 「法人」の定義 と 「起業」の意義・目的
【内容・方法 等】 企業や団体が「法人」と定義される意味と、その形態を分類整理します。また、企業が事業目的を遂行するために必要とする業務内容とその相互の関連性について解説すると共に、事業を起こすこと（起業）の目的や意義を、企業業務に関連づけて説明します。

【事前・事後学習課題】 法人という定義を事前に調べてください。

第3回 【授業テーマ】 企業の経済活動
【内容・方法 等】 企業は、消費財の提供に伴う経済活動だけでなく、資本や資金の調達、利益の配分などの複雑な経済活動を行っています。その経済活動の種類や目的について解説します。

【事前・事後学習課題】 株式などの有価証券の意味を事前に学習してください。

第4回 【授業テーマ】 企業とステークホルダーの関係とその活動
【内容・方法 等】 企業は消費財を提供することによる消費者との関係だけでなく、種々の社会構造や社会機能との関わりを持っています。企業の社会との関わりについて解説し、身近な事象についての討議を行います。

【事前・事後学習課題】 ステークホルダーの意味を調べておいてください。

第5回 【授業テーマ】 企業の活動目標と組織運営
【内容・方法 等】 企業は、その活動目標を達成するために組織を形成し、役割分担や責任体制を明確化しています。企業における組織の在り方と目標設定の意義について解説します。

【事前・事後学習課題】 企業が持つべき業務機能について考えておいてください。

第6回 【授業テーマ】 分業の意義と問題点
【内容・方法 等】 目的を共有する複数の人が集まり、組織を形成することにより発生する分業について解説し、分業が持つ効果と問題点を整理します。また、ディスカッションにより、具体的な認識を高めていただきます。

【事前・事後学習課題】 分業という言葉の定義を調べておいてください。

第7回 【授業テーマ】 経済情勢と企業経営の方向性
= 新たなビジネスの探索 =

【内容・方法 等】 リーマンショック、東日本大震災、原発事故以降の世界的経済情勢の変化に触れ、「モノづくり」中心の日本産業の直面する課題を整理し、その打開策を学生諸氏と共に考え、これからの企業の在り方の探索や起業分野を考える一助に供します。

【事前・事後学習課題】 2008年に発生した世界的な経済問題であるリーマンショックについて、その概要を調べておいてください。

第8回 【授業テーマ】 情報化社会の意味と我々の生活
【内容・方法 等】 あらゆる局面で「情報化社会」という言葉が使われているが、その定義と我々の生活に与える変化、また我々が対応すべき事柄などを解説します。

【事前・事後学習課題】 情報化社会に関連する新聞記事やインターネット情報を事前に調べ、持参してください。

第9回 【授業テーマ】 企業戦略とそのアプローチ方法 I
【内容・方法 等】 企業は自らの目的を達成するために、事前に調査、分析、戦略立案を行います。その経営戦略の枠組みと、経営資源とは何かを論理的に解説します。

【事前・事後学習課題】 どのような企業でも、持っている目的とは何かを事前に考えておいてください。

第10回 【授業テーマ】 企業戦略とそのアプローチ方法 II
【内容・方法 等】 企業は自らの目的を達成するため行う事前の調査、分析、戦略立案のアプローチ方法を整理し、それぞれの適用ケースを解説します。また、経営者が持つべき戦略的思考についても併せて解説します。

【事前・事後学習課題】 松下幸之助の経営哲学に関する情報を事前に学習してください。

第11回 【授業テーマ】 企業活動における情報活用の目的
【内容・方法 等】 企業経営においては、物理的な資源以外に

「情報」というものの経営資源としての価値が取り上げられ、その活用方法が企業戦略の命運を左右すると言われています。その理由や背景を判り易く解説します。

【事前・事後学習課題】 企業経営が必要とする「情報」を事前に考えてみてください。

第12回 【授業テーマ】 経営意思決定とそのアプローチ
= 「起業趣旨」と「起業手続き」を踏まえて =

【内容・方法 等】 経営意思決定は、経営者の独断に依存するのではなく、戦略要因の定量的分析と取捨選択の的確性により支えられます。「起業の趣旨」を幹に据えた意思決定アプローチについて、「起業の手続き」を交えて、具体的に解説します。

【事前・事後学習課題】 経営意思決定の成功例を事前に調査してください。

第13回 【授業テーマ】 C S R - 企業の社会的責任 - I
【内容・方法 等】 企業は、消費財の供給だけでなく、企業活動が及ぼす社会的影響が問題視されています。企業が活動を行う上で、考慮しなければならない側面を解説すると同時に、皆さんの考えを整理して載せます。

【事前・事後学習課題】 環境問題などの事例を調査してください。

第14回 【授業テーマ】 C S R - 企業の社会的責任 - II
【内容・方法 等】 企業の社会的責任の中でも、経営資源としても挙げられる「情報」の取り扱いを、情報セキュリティの観点から解説します。企業だけでなく、我々に日常生活に於ける情報漏洩などの問題点も併せて説明します。

【事前・事後学習課題】 情報漏洩事件などのニュースを事前に調べておいてください。

第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
【内容・方法 等】 「企業経営」の講義についてのまとめと感想。

授業の要点と重要なポイントをレビューし、質問等にお答えします。

【事前・事後学習課題】 「企業経営」の講義の全体を復習しておいてください。

質問等を事前に準備しておいてください。

評価方法（基準）

全体評価は、平常評価（35%）と学期末試験評価（65%）により行います。

平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上、自己表現力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。

また、レポート課題および学期末試験の設問は、到達目標に纏わる内容とし、その結果で達成評価を行います。

教材等

教科書… 特段、教科書の設定は行いません。授業は配布プリントとパワーポイントによるプレゼンテーションにより進めます。

参考書… 参考資料も、毎回の授業のテーマに沿って必要なものを配布します。

また、授業の参考になる書籍、ビジネス雑誌、更にはインターネット情報を紹介し、授業の一助に供します。

学生へのメッセージ

変化が激しい社会にあって、就職ということだけに目標を置くのではなく、経済活動の中でのビジネスのクリエートの重要性を理解いただきたいと思えます。

・ 毎回出席をとりまします〔連絡カード配付〕。遅刻をしないようにしてください。

・ 座席は前から詰めて着席してください〔座席は指定しません〕。

・ 授業中の私語は謹んでください〔真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります〕。

関連科目

経営、経済、組織、社会学などに関連する授業などが、本授業の参考になり、理解を深めて戴く一助になります。また、金曜日4時限にも、同名称の科目がありますが、同一科目ではありません。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室、講師控え室)

心理学I

Psychology I

牧野幸志 (マキノ コウシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学は、心と行動の科学であるといわれる。人間の心と行動との関係について、知覚、認知、教育、社会など多側面から考えていく。授業では、他者との相互作用の原点であるコミュニ



ケーションを軸として、人間を概説していく。コミュニケーションは、他者理解のみならず自己理解にとっても不可欠である。「人間力と心理」では、社会変化に柔軟に対応するための人間力を身につけることを目的とする。到達目標：1)心理学とは何かを理解する。2)人間関係について学ぶ。3)社会の中での人間力を身につける。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

パワーポイントによるプレゼンテーション形式で講義を行う。第1回授業で授業ルールなどについて説明するので必ず参加すること。

科目学習の効果（資格）

人間の行動および経験を記述・説明するための基本的な概念を修得することで、他の人間科学分野の学習に対する理解を促進する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** ガイダンス・心理学とは？
【内容・方法 等】 授業内容、授業方法について説明します。
心理学とは？人間力とは何か？
【事前・事後学習課題】 学習内容の復習
- 第2回 **【授業テーマ】** 心理学の手法
【内容・方法 等】 心理学の目的、心理学の方法、心理学の現状
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第3回 **【授業テーマ】** 対人コミュニケーション
【内容・方法 等】 人と人とのコミュニケーション
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第4回 **【授業テーマ】** コミュニケーションの基本要素
【内容・方法 等】 コミュニケーションの構成要素
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第5回 **【授業テーマ】** 人間の記憶
【内容・方法 等】 覚えたいのに覚えられないこと、忘れたいのに忘れられないこと
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第6回 **【授業テーマ】** 自己開示①
【内容・方法 等】 自己開示の個人的機能
悩みを打ち明けるとき
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第7回 **【授業テーマ】** 自己開示②
【内容・方法 等】 自己開示の対人的機能
気になる人と仲良くなる方法
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第8回 **【授業テーマ】** 自己呈示：防衛的自己呈示
【内容・方法 等】 悪い印象をもたれないためには？
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第9回 **【授業テーマ】** 自己呈示：主張的自己呈示
【内容・方法 等】 立派な大人になるために
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第10回 **【授業テーマ】** 説得的コミュニケーション
【内容・方法 等】 説得テクニックとその効果
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第11回 **【授業テーマ】** リーダーシップ
【内容・方法 等】 三隅のPM理論
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第12回 **【授業テーマ】** ウソのコミュニケーション
【内容・方法 等】 ウソをつくる人、ウソをつかない人
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第13回 **【授業テーマ】** 友人関係
【内容・方法 等】 友人関係と心理
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第14回 **【授業テーマ】** 人間力とコミュニケーション・スキル
【内容・方法 等】 コミュニケーション・スキルとその訓練方法
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第15回 **【授業テーマ】** 心理学の応用／小テスト
【内容・方法 等】 心理学の応用分野／小テストの実施
【事前・事後学習課題】 復習をしておくこと。

評価方法（基準）

授業中に課す課題への回答(上限20%)、小テスト(80%)により、総合的に判断します。

教材等

教科書…「インターパーソナル・コミュニケーション」深田博己著
北大路書房(2500円)
参考書…「コミュニケーション心理学」 深田博己編著
北大路書房(2500円)

学生へのメッセージ

人のこころと行動は複雑です。社会変化に柔軟に対応するための人間力を心理学の視点から解説していきます。

関連科目

「心理と社会」と関連する。「心理と社会」の前に受けておくことが望ましい。

担当者の研究室等

11号館7階 牧野(幸)准教授室

備考

他人の迷惑となる行為(遅刻、私語、居眠り、内職、スマホ・携帯電話の使用など)を禁止します。

心理学II

Psychology II

河 俣 英 美 (カワマタ ヒデミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学は、人間の行動を予測することを究極的な目標としている。私たちは、これまでに得られた心理学的知見を学ぶことで、自己と他者、そして自分の周囲を取り巻く社会を科学的な視点から見直すことができる。

到達目標：以下の項目の理解を目標とする。

- 1) 集団の中での個々人の行動 2) 対人的コミュニケーション

- 3) 文化と心理

授業方法と留意点

講義方式で適宜資料を配布する。視聴覚教材なども積極的に取り入れる。

科目学習の効果（資格）

取得できる資格は特になし。しかしながら、自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わりを考えるために重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション
【内容・方法 等】 授業概要、目的、内容、授業の進め方、授業のルール、評価基準について説明します。
【事前・事後学習課題】 身の回りで起きているさまざまなことについて心理学的に考える習慣をつけましょう。
- 第2回 **【授業テーマ】** 心の健康(1)
【内容・方法 等】 心の健康と適応について解説します。
【事前・事後学習課題】 授業の前に、テキストのPart2の9「心の健康と適応」を読んで予習してください。
- 第3回 **【授業テーマ】** 心の健康(2)
【内容・方法 等】 こころのトラブルについて解説します。
【事前・事後学習課題】 日常生活にある心の健康を支えるものについて考えてください。
- 第4回 **【授業テーマ】** 心の健康(3)
【内容・方法 等】 適応と不適応、ストレスについて解説します。
【事前・事後学習課題】 自分が暮らしている環境への適応について考えてください。
- 第5回 **【授業テーマ】** 自己(1)
【内容・方法 等】 自己を守ることについて解説します。
【事前・事後学習課題】 テキストのPart2の7「自己意識」を読んで事前に予習してください。
- 第6回 **【授業テーマ】** 自己(2)
【内容・方法 等】 自己を意識することについて解説します。
【事前・事後学習課題】 自らの社会的経験も考慮して、自己をうまく表現する方法について考えてください。
- 第7回 **【授業テーマ】** 自己(3)
【内容・方法 等】 自己を表現するテクニックについて解説します。
【事前・事後学習課題】 自分に対する他者の評価について考えてください。
- 第8回 **【授業テーマ】** 心の健康と適応(1)
【内容・方法 等】 ストレスと健康について解説します。
【事前・事後学習課題】 テキストのPart2の9「心の健康と適応」の大切なところを要約して、レポートを作成し、提出してください。
- 第9回 **【授業テーマ】** 心の健康と適応(2)
【内容・方法 等】 心の健康、精神障害について解説します。
【事前・事後学習課題】 社会で問題となっている精神障害について調べてください。
- 第10回 **【授業テーマ】** 心の構造(1)

教養科目

【内容・方法等】 精神分析学について解説します。
【事前・事後学習課題】 テキストのPart2の8「こころの構造」を読んで、自分のところについて考えてください。

第11回 **【授業テーマ】** 心の構造(2)
【内容・方法等】 局所論と構造論について解説します。
【事前・事後学習課題】 精神分析療法について調べて、レポートを書いてください。

第12回 **【授業テーマ】** 心の構造(3)
【内容・方法等】 神経症と防衛、フロイトと異なる立場をとる分析家たちについて解説します。
【事前・事後学習課題】フロイトと異なる立場をとる分析家たちについて調べてください。

第13回 **【授業テーマ】** 対人認知(1)
【内容・方法等】 対人認知のプロセス、パーソナリティの認知について解説します。
【事前・事後学習課題】 他者の存在が与える自分に対する影響を考えてください。

第14回 **【授業テーマ】** 対人認知(2)
【内容・方法等】 対人関係の認知について解説します。
【事前・事後学習課題】 テキストのPart3の10「対人認知」の大切なところを要約してください。

第15回 **【授業テーマ】** 心理学Ⅱのまとめ
【内容・方法等】 心理学Ⅱについて総括します。
【事前・事後学習課題】 テキストおよびこれまで配布したプリントに基づき、すべての内容を復習してください。

評価方法 (基準)
 授業内の課題試験を主とし、授業での提出物(講義の要約、感想文、課題レポート等)、授業態度をふまえて、総合的に評価する。
【授業内の課題試験70%、授業での提出物20%、授業態度10%】

教材等
教科書…大坊郁夫編『わたしそしてわれわれ ミレニアムバージョン』
 北大路書房 (¥2,500+税)
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 心理学は、みなさんが想像しているよりもはるかに幅広い領域を扱っており、人間の社会生活の全てを研究対象としていると言っても過言ではありません。講義を通じ、自分を取り巻く社会と結びつけて考えることによって理解を深めて下さい。

関連科目
 心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

担当者の研究室等
 11号館6階 経営学部事務室

社会学I Sociology I				
金 政 芸 (キム ジョンウン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 本講義の目標は、私たちの生きる社会の仕組みを理解することである。社会の仕組みを知ること、自分の行動や自分の経験するさまざまな出来事の原因が何を理解することができる。本講義では、まず社会の仕組みを理解するための学問である社会学の概要と、家族、地域、国家、国際社会の構造とそれぞれの社会のかかえる諸問題について紹介する。

授業方法と留意点
 基本的には講義形式の授業がおこなわれる。講義では、理解を深めるために具体的な研究を紹介していく。

科目学習の効果 (資格)
 日々の個人的な経験を、社会の構造やその変化から把握する能力を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 講義を始めるにあたって
【内容・方法等】 オリエンテーション
【事前・事後学習課題】 授業の流れについて理解する。

第2回 **【授業テーマ】** 社会学とは何かⅠ
【内容・方法等】 社会学の定義と歴史について。
【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

第3回 **【授業テーマ】** 社会学とは何かⅡ
【内容・方法等】 社会学の古典的研究の紹介。
【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

第4回 **【授業テーマ】** 他者と自己
【内容・方法等】 他者との関係のなかで形成される自己意識について。
【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

第5回 **【授業テーマ】** 集団と個人
【内容・方法等】 単なる個人の集合体を越えた存在としての社会集団の特徴について。

第6回 **【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
【授業テーマ】 家族の社会学Ⅰ
【内容・方法等】 近代的家族の出現とその変容について。

第7回 **【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
【授業テーマ】 家族の社会学Ⅱ
【内容・方法等】 現代の家族のかかえるさまざまな問題について。

第8回 **【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
【授業テーマ】 地域の社会学Ⅰ
【内容・方法等】 現代都市の特徴について。
【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

第9回 **【授業テーマ】** 地域の社会学Ⅱ
【内容・方法等】 現代の都市のかかえるさまざまな問題について。

第10回 **【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
【授業テーマ】 ネーションとエスニシティⅠ
【内容・方法等】 ネーションの概念整理と、その実在にかかわる諸議論について。

第11回 **【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
【授業テーマ】 ネーションとエスニシティⅡ
【内容・方法等】 移民とエスニック・マイノリティ、ナショナリズムについて。

第12回 **【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
【授業テーマ】 グローバリゼーション
【内容・方法等】 グローバリゼーションとは何か。
【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

第13回 **【授業テーマ】** 階層と格差Ⅰ
【内容・方法等】 階級と階層、そこに存在する格差という問題について。

第14回 **【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
【授業テーマ】 階層と格差Ⅱ
【内容・方法等】 格差はどのように再生産されるのか。
【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

第15回 **【授業テーマ】** 講義を終えるにあたって
【内容・方法等】 総括
【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

評価方法 (基準)
 授業態度20%、中間レポートおよび期末試験80%

教材等
教科書…レジュメを配布。
参考書…授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
 馴染みのない理論や概念がたくさん出てきますが、講義に集中すれば十分に理解できると思います。紹介された理論を身近な経験に適用していけばより理解が深まるでしょう。

関連科目
 社会学Ⅰ

担当者の研究室等

国際理解概論 International Cooperation				
田 添 篤 史 (タソエ アツシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 第二次世界大戦以降、世界では貿易および多国籍企業の規模が拡大し、世界レベルの市場および競争もそれに伴って、拡張してきました。いまや、先進工業国に住んでいる私達は自分の家のなかで、世界中からの商品を手に入れることができるようになり、まさに世界の多くの国に広がっている巨大企業が私達の周りにあります。しかし、この現象は自然に、そして急に起きたものではありません。では、こうした国際産業はどのような特徴があり、どのように働いているのか。また、私達および他の国の人々の暮らしとどのような関係があるのか。この科目は、個別産業に焦点をあてながらグローバルなネットワークの形成とそのガバナンスの実態を明らかにし、現在のグローバル経済の現実を考察します。グローバル化をめぐる議論を理解することおよびグローバル化と日本との関係を理解することがこの授業の到達目標です。
 学科の学習・教育目標との対応:「A」

授業方法と留意点
 主に講義形式で授業は行われますが、授業内容に対する学生の積極的な議論も期待しています。また、場合によっては授業内容に即した映像を副教材として利用します。講師の指示に従って、事前・事後学習をするのは学生の責任です。

科目学習の効果 (資格)
 日本の立場を国際的な視野から見ます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 産業、社会と、変動する世界
【内容・方法 等】 講座の全体的流れを認識し、経済および文化のグローバル化の実例について考えます。
【事前・事後学習課題】 講師の指示に従って次回への展開。
- 第2回 【授業テーマ】 グローバル化とは何か
【内容・方法 等】 グローバル化の概念を考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第3回 【授業テーマ】 グローバル化をめぐる理論（1）
【内容・方法 等】 グローバル化をめぐる理論を考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第4回 【授業テーマ】 グローバル化をめぐる理論（2）
【内容・方法 等】 グローバル化をめぐる理論を考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第5回 【授業テーマ】 経済のグローバル化
【内容・方法 等】 経済のグローバル化をめぐる議論を考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第6回 【授業テーマ】 自動車産業のグローバル化
【内容・方法 等】 産業のグローバル化において自動車産業の重要性を理解し、日本産業の位置づけについて考えます。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第7回 【授業テーマ】 繊維産業・衣料産業のグローバル化（1）
【内容・方法 等】 国際繊維産業・衣服産業の現状を理解し、日本産業および日本市場の位置づけについて考えます。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第8回 【授業テーマ】 繊維産業・衣料産業のグローバル化（2）
【内容・方法 等】 国際繊維産業・衣服産業の現状を理解し、日本産業および日本市場の位置づけについて考えます。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第9回 【授業テーマ】 グローバル化と環境破壊
【内容・方法 等】 グローバル化と世界の環境問題との関係を考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第10回 【授業テーマ】 世界の労働とグローバル化（1）
【内容・方法 等】 国際労働の現状と、グローバル化の影響を考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第11回 【授業テーマ】 世界の労働とグローバル化（2）
【内容・方法 等】 国際労働の現状と、グローバル化の影響を考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第12回 【授業テーマ】 政治のグローバル化（1）
【内容・方法 等】 国際機関、政府やNPOによって世界市場における企業行動などのガバナンスの現状と可能性を考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第13回 【授業テーマ】 政治のグローバル化（2）
【内容・方法 等】 国際機関、政府やNPOによって世界市場における企業行動などのガバナンスの現状と可能性を考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第14回 【授業テーマ】 文化のグローバル化（1）
【内容・方法 等】 文化のグローバル化の現状および文化のグローバル化をめぐる議論を考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第15回 【授業テーマ】 文化のグローバル化（2）
まとめ
【内容・方法 等】 文化のグローバル化の現状および文化のグローバル化をめぐる議論を考察します。
全体を復習し、14回の授業のそれぞれの関連を考える上で、1回目の授業における課題をもう一度考察します。
【事前・事後学習課題】 前回の復習。
- 評価方法（基準）
定期試験、課題と小テストを主とし、授業参加率・態度等を総合評価します。
（定期試験50%、課題30%、小テスト20%の割合で総合的に評価する。）
- 教材等
教科書…無し。
参考書…デヴィッド・ヘルド（編）『グローバル化とは何か：文化・経済・政治』、京都：法律文化社、2002年。

Peter Dicken (2010) "Global Shift". New York, London: The Guilford Press.

学生へのメッセージ

定期試験、課題と小テストを主とし、授業参加率・態度等を総合評価します。
（定期試験50%、課題30%、小テスト20%の割合で総合的に評価する。）

関連科目

特にありません。

担当者の研究室等

非常勤講師ですので研究室はありません。その代わりに、授業中に質問の時間を設ける予定です。

健康論

Theory of Health

横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会では、健康問題が最大の関心事である。特に生活習慣病は増加の一途をたどっている。この要因は食生活・運動・喫煙・飲酒・休養・ストレス等のライフスタイルに強く関連している。本講義では以上を踏まえて受講者が生涯にわたって自ら健康づくりを実践できる方途を具体的に論述する。（到達目標）
①ライフスタイルの重要性について理解する。②生活習慣病について理解する。③健康づくりのための運動処方について理解する。④疾病について理解する。
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

科目学習の効果（資格）

本人が自覚して健康維持・増進を図ることの出来る能力を身につけ、生活の内容を豊かにすることを願う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 健康論とは
【内容・方法 等】 ・ガイダンス
・現代の健康についての概念
【事前・事後学習課題】 ・筆記用具の準備
- 第2回 【授業テーマ】 薬物と健康
【内容・方法 等】 ・違法薬物とは ・薬物中毒 ・薬物の内容・弊害
【事前・事後学習課題】 ・違法薬物に対する理解
- 第3回 【授業テーマ】 喫煙と健康
【内容・方法 等】 ・煙草の種類 ・喫煙のリスク
・喫煙の弊害
【事前・事後学習課題】 ・喫煙のリスク、健康への害に対する理解
- 第4回 【授業テーマ】 飲酒と健康
【内容・方法 等】 ・飲酒と健康
・飲酒の弊害
【事前・事後学習課題】 ・アルコールの知識を理解を深める
- 第5回 【授業テーマ】 思春期と性
【内容・方法 等】 ・身体の変化
・性とは
【事前・事後学習課題】 ・性に対する理解を深める
- 第6回 【授業テーマ】 妊娠・出産（前半）
【内容・方法 等】 ・妊娠とは
・妊娠初期について ・妊娠中期について
【事前・事後学習課題】 ・妊娠初期、中期の理解
- 第7回 【授業テーマ】 妊娠・出産（後半）
【内容・方法 等】 ・妊娠後期について
・産じょく期について
【事前・事後学習課題】 ・妊娠後期、産褥期の理解
- 第8回 【授業テーマ】 性感染症
【内容・方法 等】 ・性感染症とは
・現代の性感染症 ・予防方法
【事前・事後学習課題】 ・現代の性感染症の確認と理解
- 第9回 【授業テーマ】 エイズ1
【内容・方法 等】 ・エイズを知る
・現代のエイズ状況
【事前・事後学習課題】 ・世界の現状を理解
- 第10回 【授業テーマ】 エイズ2
【内容・方法 等】 ・HIVとAIDS
・感染経路
【事前・事後学習課題】 ・エイズの感染経路の確認と理解
- 第11回 【授業テーマ】 エイズ3
【内容・方法 等】 ・エイズの予防対策
【事前・事後学習課題】 ・エイズの予防の確認と理解
- 第12回 【授業テーマ】 応急手当①

第13回 【内容・方法等】 ・日常の応急手当
【事前・事後学習課題】 ・日常生活の応急処置の方法
【授業テーマ】 応急手当②
【内容・方法等】 ・救急処置法
・救急処置の実際

第14回 【事前・事後学習課題】 ・事故などに関する応急処置の方法
【授業テーマ】 食事と睡眠・心身相関
【内容・方法等】 ・健康な食事と睡眠 ・心身の関係性

第15回 【事前・事後学習課題】 ・正しい食事、睡眠の確認と理解
【授業テーマ】 健康論総括（テスト）
【内容・方法等】 14回まで行った授業の内容に関してテストを行う
【事前・事後学習課題】 これまでの授業の復習

評価方法（基準）
出席率75%以上のものを試験資格者とする。遅刻は2回で1回の欠席と同等とみなす。（遅刻は授業開始から30分以内に入室したことをいう）
健康論総括(15回目)におけるテストを100%の割合で評価を行う。（ただし、上記の出席率を満たした者のみを評価対象者とする。）

教材等
教科書…教科書の指定はしない。
参考書…なし

学生へのメッセージ
質問等がある場合は、研究室あるいは総合体育館事務室に来て下さい。

関連科目
スポーツ科学実習1・2
生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館1階 横山講師室

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)
藤林 真美 (フジバヤシ マミ)
内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
 - ②競技ルールの理解
 - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

【授業内容】

授業での開講種目は下記のとおりである。

前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球

後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、
これら種目の他に、集中授業としてゴルフを開講しますが、通年授業の生涯スポーツ実習との重複履修は出来ません。

※尚、各種目の人数が多すぎる場合や少なすぎる場合は、他の種目に移動、もしくは開講しないことがあります。また、第1回目の授業はガイダンスの他、各種目のコース分けを行なうので、必ず出席すること。何らかの事情で出席できない場合は、事前に体育館事務室まで連絡するように。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえで個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 ガイダンス（履修上の注意事項の説明）
コース種目分け
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第2回** 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 競技の概要説明、基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回** 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回** 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説

- 第5回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）

評価方法（基準）
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論

担当者の研究室等

体育館1F 体育館事務室

備考

【準備物】
トレーニングウェア、スポーツシューズ（コースに適したもの）

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)
近藤 潤 (コンドウ ジュン)
藤林 真美 (フジバヤシ マミ)
内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
 - ②競技ルールの理解
 - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

【授業内容】

授業での開講種目は下記のとおりである。

前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球

後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、
これら種目の他に、集中授業としてゴルフを開講しますが、通年授業の生涯スポーツ実習との重複履修は出来ません。

※尚、各種目の人数が多すぎる場合や少なすぎる場合は、他の

種目に移動、もしくは開講しないことがあります。また、第1回目の授業はガイダンスの他、各種目のコース分けを行なうので、必ず出席すること。何らかの事情で出席できない場合は、事前に体育館事務室まで連絡するように。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 ガイダンス（履修上の注意事項の説明）
コース種目分け
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 競技の概要説明、基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論

担当者の研究室等

体育館1F 体育館事務室

備考

【準備物】
トレーニングウェア、スポーツシューズ（コースに適したもの）

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

近藤 潤 (コンドウ ジュン)
菅生 貴之 (スゴウ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	1

授業概要・目的・到達目標

ゴルフというスポーツを通して生涯スポーツへの参加意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- 運動技術の向上
- 競技ルールの理解
- 学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

事前ガイダンスと集中授業4日間合わせて5日間で行う。後期の生涯スポーツ実習が履修できること。5日間すべて受講できること。事前の申し込みが受け付けられることが必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- テーマ 学習内容 場所
- 1回目 : 事前ガイダンス 目的、日程、準備する物、ゴルフについて 総合体育館
- 2回目 AM: ゴルフの基礎知識 ゴルフのルール・マナーについて 総合体育館
PM: 基礎技術 グリップ・スウィング・パター 多目的グラウンドおよび第1グラウンド
- 3回目 AM: 基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場
PM: 基礎技術 アプローチ、パター練習 第1グラウンド
- 4回目 AM: 基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場
PM: 基礎技術 アプローチ、パター練習 第1グラウンド
- 5回目 PM: 応用編 ラウンド(9H) 京阪ゴルフ場

評価方法・評価基準

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…指定なし
参考書…使用しない

備考

ラウンド時の服装は襟付きポロシャツ、スラックス（半ズボンの場合はハイソックス着用）、運動靴（スパイク類は禁止）

教養特別講義I～V「社会と人権」

Human rights and Society

太田 義器 (オオタ ヨシキ)
有馬 善一 (アリマ センイチ)
林田 敏子 (ハヤシダ トシコ)
古川 行男 (フルカワ ユキオ)
松島 裕一 (マツシマ ユウイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】

本科目は、人間が人間として尊重されるということの意味を、具体的な生活や行動と関わらせて考えること、またそのような思索の成果を実際の生活や行動に反映させることを目的とし、そのための知識や見方・考え方を受講生に提示する。

本年度は、太田(政治哲学)、古川(判事経験者)、有馬(倫理学)、林田(西洋史)、松島(法哲学)を専門する教員が、それぞれ3回ずつ授業を行う。

【到達目標】

本授業を履修した学生は、次の項目について一定水準に達することが期待されます。

- ① 社会と人権にかかわる事柄について政治哲学的観点から説明できる
- ② 社会と人権にかかわる事柄について裁判事例の観点から説明できる
- ③ 社会と人権にかかわる事柄について倫理的観点から説明できる
- ④ 社会と人権にかかわる事柄について西洋史的観点から説明できる
- ⑤ 社会と人権にかかわる事柄について法哲学的観点から説明できる
- ⑥ 社会と人権にかかわる事柄について、具体的な自分の生活と行動の場面に即して考えることができる

授業方法と留意点

(有馬担当) 板書・配付資料による講義形式。

科目学習の効果（資格）

人権問題について、印象論ではなく、正確な知識に基づいた理解を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 「社会と人権について考える」ことを考える
【内容・方法 等】 担当者:太田

- シラバス内容の確認(10分)
社会と人権について履修生がどのような考え方をもっているのかの確認(20分)
「社会と人権について考える」ことを考える ための話題提供(40分)
質疑およびミニッツペーパー(20分)
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
Web上のプレ・アンケートをしてもらいます。
結果については、担当教員5名で共有します。
- 第2回 【授業テーマ】 正義とは何か？
【内容・方法 等】 担当者:松島
「人権」という考え方が明確に意識されるようになるのは近代以降ですが、古典古代にもその思想的萌芽が見られます。この回の講義では古代ギリシアにさかのぼって、人間社会における「正しさ（正義）」とは何かについて考えてみます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「正義」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。
- 第3回 【授業テーマ】 自由とは何か？
【内容・方法 等】 担当者:松島
日本国憲法にはさまざまな自由権が規定されていますが、そもそも「自由」とは何でしょうか？ J・S・ミルやI・バーリンらの議論を手掛かりにしながら、人権概念の根幹をなす「自由」というものの本質について考えてみます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「自由」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。
- 第4回 【授業テーマ】 平等とは何か？
【内容・方法 等】 担当者:松島
「自由」と並び、「平等」は人権概念の根幹をなす重要な概念ですが、そもそも平等とは何なのでしょう？ J・ロールズやR・ドゥオーキンらの議論を手がかりにして、平等の本質について考えてみたいと思います。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「平等」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。
- 第5回 【授業テーマ】 人工妊娠中絶の是非をめぐって（1）
【内容・方法 等】 担当者:有馬
・人工妊娠中絶をめぐる「プロ・ライフ」（中絶反対派）と「プロ・チョイス」（中絶擁護派）の論争とその社会的背景について解説をする。
・トムソンの論文について解説をした上で、トムソンの主張について周囲の学生とディスカッションをする。
【事前・事後学習課題】 トムソンの主張についての自分の考えをまとめる。
- 第6回 【授業テーマ】 人工妊娠中絶の是非をめぐって（2）
【内容・方法 等】 担当者:有馬
・前回のディスカッションのまとめ。
・パーソン論と人工妊娠中絶問題とのつながりを説明する。
・トゥーリの論文について解説をした上で、トゥーリの主張についてディスカッションをする。
【事前・事後学習課題】 トゥーリの主張について自分の考えをまとめる。
- 第7回 【授業テーマ】 安楽死をめぐって
【内容・方法 等】 担当者:有馬
・前回のディスカッションのまとめ
・「死ぬ権利」に対するオランダやベルギーの考え方を紹介する。また、日本における「尊厳死」の問題について解説をする。
・安楽死の是非についてディスカッションをする。
【事前・事後学習課題】 安楽死について自分の考えをまとめる。
- 第8回 【授業テーマ】 正義と政治:対テロ戦争は、本当に正義の戦争なのか
【内容・方法 等】 担当者:太田
対テロ戦争についての履修生の考えの確認(10分)
「正しい戦争」という考え方の説明(30分)
「正しい戦争」という考え方を聞いて、何を考えたか、履修生の考えの確認(10分)
米国が主導している「正しい戦争」の現実についての説明(20分)
質疑およびミニッツペーパー(20分)
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
これまでの授業についての確認のwebアンケートに答えてもらいます。
- 第9回 【授業テーマ】 憲法と基本的人権
【内容・方法 等】 担当者:古川
総論、基本的人権と公共の福祉
【事前・事後学習課題】 自分の基本的人権と他人の基本的人権との関係をどのように考えるか
最近のニュースなどで基本的人権が問題となったケースに

- つき話し合う。
【授業テーマ】 憲法における自由権
【内容・方法 等】 担当者:古川
精神的自由権、経済的自由権、人身の自由についての具体的な憲法の規定
それぞれの自由権の歴史的な流れ。愚弟的な内容
【事前・事後学習課題】 それぞれの自由権について各自はどのように考えるのか。
- 第11回 【授業テーマ】 社会権、参政権、その他
【内容・方法 等】 担当者:古川
社会的、経済的弱者を守るための人権にはどのようなものがあるか。
国民主権と参政権
一般的な幸福追求権
【事前・事後学習課題】 この3回の授業で自分として考えたことをまとめる。
- 第12回 【授業テーマ】 女性と人権
【内容・方法 等】 担当者:林田
・歴史学と「人権」
・人権概念の歴史的生成過程～アメリカ独立宣言を中心に～
・もう一つのフランス革命～オランプ・ドゥ・グージュの「女性の人権宣言」～
【事前・事後学習課題】 【事前学習】
「女性と人権」という言葉から連想するものを書き出してくる。
- 第13回 【授業テーマ】 女性は戦争をどう「戦った」か
【内容・方法 等】 担当者:林田
・犠牲者としての女性
・戦いを鼓舞する女性
・「戦う」女性～募兵運動、兵器製造、従軍～
・女性兵士をめぐる
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「戦争があぶりだすジェンダー問題」についてまとめる。
- 第14回 【授業テーマ】 「ジェンダー・フリー」の異
【内容・方法 等】 担当者:林田
セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスから女性専用車両にいたるまで、身近にあるジェンダー問題を通して、ジェンダー・フリーへ向けた取り組みが抱える問題について考える（ディスカッションもしくは、小発表形式）。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
ディスカッション（もしくは小発表）の内容を踏まえて、自分の考えをまとめる。
- 第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 担当者:太田
履修生全員に「社会と人権」について考えたことを20秒でまとめて発言してもらいます。
履修人数によりませんが、一人ひとりに太田が10秒でコメントします。
【事前・事後学習課題】 【事前学習】
発言した内容を中心としたレポートを提出してもらい、それを太田担当回の評価資料とします。
- 評価方法（基準）
5名の担当者が課す課題を100点満点で評価し、その平均点で評価します。(5つの課題それぞれの比重は20%)
それぞれの担当者の評価方法については、授業計画で確認ください。
- 教材等
教科書…とくになし。必要に応じてプリントを配付する。
参考書…とくになし。
- 学生へのメッセージ
教室に来て、座って聞いているだけでも、もちろんためになりますが、それだけではなく、自分で考えてもらうための作業をたくさん行います。
- 関連科目
法学などのさまざまな科目
- 担当者の研究室等
太田(7号館4階)
古川(11号館10階)
有馬(11号館7階)
林田(7号館4階)
松島(11号館9階)
- 備考
有馬担当分 参考図書 加藤・飯田編 『バイオエシックスの基礎』、東海大学出版会

教養特別講義I～V「役立つ金融知力」

Useful Financial Literacy

陸川 富盛 (リクカワ ヨシモリ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

自ら考え判断し行動する「賢い経済主体」となるためには、まずは市場経済や契約社会の仕組みを実感覚として理解し、様々なリスクや不確実性に果敢に立ち向かっていく必要があります。経済や法律そして金融に関する正しい知識を得てそれらを日常的に活用していくことは、実は単に金銭トラブルの回避に役立つだけでなく、より良い人生や社会の実現に欠かせないのです。

本講義の目標は、人生のさまざまな局面で的確に決断し行動できるよう、金融知識を活用する実践的な金融インテリジェンスの基本を身に付けることです。

授業方法と留意点

教科書を使用した講義形式を中心に、まずは経済主体としての視点で、社会の仕組みと様々な課題や対処法を認識します。更に、それらを統合的に活用する金融インテリジェンスの基礎を学び応用します。

科目学習の効果（資格）

経済生活やビジネスライフに必要な意思決定を適宜適切に行えるよう、金融知識を活用する実践的な金融インテリジェンスの基本を身に付けます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法 等】 「金融知力の必要性」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P4～15＞
・私たちの暮らしと経済
・戦後の社会発展
・パラダイムシフト
・変革の必要性
- 第2回** 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識 ①
【内容・方法 等】 「国際経済と国家財政」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P38～49＞
・国際経済
・国家の財政
- 第3回** 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識 ②
【内容・方法 等】 「市場経済と金融の役割」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P16～29＞
・金融の役割
・市場経済のしくみと意義
・金融の役割と銀行
- 第4回** 【授業テーマ】 法律の基礎知識
【内容・方法 等】 「契約の基本」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P147～149・152～159＞
・契約社会Ⅰ
・ローン・クレジット
・契約社会Ⅱ
- 第5回** 【授業テーマ】 リスクと向き合う ①
【内容・方法 等】 「リスクマネジメント」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P74～81・150～152・159～161＞
・リスクマネジメント
・契約社会Ⅲ
- 第6回** 【授業テーマ】 リスクと向き合う ②
【内容・方法 等】 「リタイアメント」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P82～91＞
・年金制度
・老後生活資金
- 第7回** 【授業テーマ】 投資の基礎知識
【内容・方法 等】 「投資とは何か」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P92～98＞
・投資とは
・投資意思決定プロセス
- 第8回** 【授業テーマ】 経済活動と金融市場
【内容・方法 等】 「景気・株価」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P30～37・50～53＞
景気
景気と株価
- 第9回** 【授業テーマ】 金融商品の基礎知識 ①
【内容・方法 等】 「代表的な金融商品（株式等）」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P118～129＞
・株式
・投資信託
・外貨建て商品
・保険商品
・デリバティブ
- 第10回** 【授業テーマ】 金融商品の基礎知識 ②
【内容・方法 等】 「代表的な金融商品（債券他）」

【事前・事後学習課題】 テキスト＜P111～118＞

- ・預貯金
- ・信託
- ・債券

第11回 【授業テーマ】 金融商品の基礎知識 ③
【内容・方法 等】 「金融市場と金融商品の性格」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P99～111＞
・直接金融と間接金融
・金融商品の性格

第12回 【授業テーマ】 投資のリスク管理
【内容・方法 等】 「資産分散と時間分散」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P130～146＞
・分散投資
・時間分散
・長期投資

第13回 【授業テーマ】 ライフプランニング ①
【内容・方法 等】 「ライフプランニング表」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P54～63＞
・ライフプランニング

第14回 【授業テーマ】 ライフプランニング ②
【内容・方法 等】 「ライフイベントごとの課題」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P64～73＞
・キャッシュフロー表の見直し
・ライフイベントごとの課題

第15回 【授業テーマ】 試験（レポート提出）
【内容・方法 等】 課題レポート提出
試験
【事前・事後学習課題】 講義で得た金融インテリジェンスの応用

評価方法（基準）

課題レポートを50%、試験を20%、平常点を30%とし、本科目への取り組み姿勢や理解度等を総合的に評価します。

教材等

教科書…『今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎』
発行：特定非営利活動法人 金融知力普及協会
(必須。授業では毎回この教科書を使用します。)

参考書…特定ものは指定しません

学生へのメッセージ

・受講内容の復習を行い、身近な経済・時事問題などに興味や疑問を持って考えること。
・最終回までに表計算ソフト「エクセル」（自習。講義では教えません。）で簡易な表を作成できること。
本講義でより高い効果を得るには、受講内容を復習し自分自身で深く考え調査した上で、友人たちと議論してみることが役立ちます。

関連科目

民法、会社法、経済学、国際経済、経営学、経営戦略 など

担当者の研究室等

11号館1階（教務課）

備考

この授業は、SMBC日興証券グループによる「寄附講座」です。

教養特別講義I～V「地域連携教育活動I」

Community-Based Education Support ActivitiesI

浅野 英一 (アサノ エイチ)

浦野 崇央 (ウラノ タカオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、「地域連携教育活動I」を初めて履修する学生を対象とする。

科目学習の効果（資格）

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 事前教育ー1（授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）

- 【内容・方法等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
【授業テーマ】 事前教育-2
【内容・方法等】 マナー講座・小中学校の教育現場について(学外講師を含む)
- 第2回
- 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
【授業テーマ】 事前教育-3
【内容・方法等】 「守秘義務」の意味とその内容について(教育委員会からの学外講師)
- 第3回
- 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
【授業テーマ】 活動準備
【内容・方法等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
- 第4回
- 【事前・事後学習課題】 年間計画(案)の作成
【授業テーマ】 活動-1
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第5回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-2
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第6回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-3
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第7回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-4
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
- 第8回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
【授業テーマ】 活動-5
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第9回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-6
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第10回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-7
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第11回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-8
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第12回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
【授業テーマ】 活動-9
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
- 第13回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
【授業テーマ】 活動-10
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第14回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-11
【内容・方法等】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第15回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-12
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第16回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-13
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第17回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-14
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第18回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-15
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
- 第19回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
【授業テーマ】 活動-16
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第20回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-17
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
- 第21回

- 活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-18
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第22回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-19
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第23回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-20
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第24回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-21
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第25回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-22
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第26回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-23
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第27回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-24
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第28回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-25
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
- 第29回
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-26・最終報告会
- 第30回

評価方法(基準)
 ①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数(出席数)票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない
 参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等

7号館5階 (浅野研究室)
 7号館4階 (浦野研究室)

備考

授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義I～V「地域連携教育活動II」 Community-Based Education Support ActivitiesII				
浅野英一(アサノ エイイチ) 浦野崇央(ウラノ タカオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスマーケティングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受け入れ許可を得た学生で、昨年度「地域連携教育活動I」を履修した学生のみが登録できる。

科目学習の効果(資格)

- 活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 事前教育－1（授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育－2
【内容・方法等】 マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育－3
【内容・方法等】 「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回 【授業テーマ】 活動準備
【内容・方法等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】 年間計画（案）の作成
- 第5回 【授業テーマ】 活動－1
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第6回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－2
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第7回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－3
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第8回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－4
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
- 第9回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
【授業テーマ】 活動－5
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第10回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－6
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第11回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－7
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第12回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－8
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第13回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
【授業テーマ】 活動－9
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
- 第14回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
【授業テーマ】 活動－10
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第15回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－11
【内容・方法等】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第16回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－12
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第17回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－13
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第18回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－14
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第19回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－15
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
- 第20回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
【授業テーマ】 活動－16

- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第21回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－17
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第22回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－18
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第23回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－19
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第24回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－20
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第25回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－21
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第26回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－22
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第27回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－23
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第28回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－24
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第29回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－25
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
- 第30回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－26・最終報告会

評価方法（基準）

- ①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

- 教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等

- 7号館5階（浅野研究室）
7号館4階（浦野研究室）

備考

授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「キャリアデザインI(BASIC)」
Career Planning I(Basic)

水野 武 (ミスノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

社会に出て活躍するために大学時代に何をなすべきなのか、早い段階で目的意識を持ち、4年間のキャンパスライフを有意義に送るための授業です。
この講義を通して、①自己理解を深め、自信が持てるようになる。
②コミュニケーションについて、理解を深め、コミュニケーション力アップのし方を知る。
③社会（企業）の変化を知り、自分のワーキングスタイルを考えてみましょう。④大学生活および人生設計ができるようになる。
を講義の到達目標とします。
学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点



講義だけでなくグループワークなどを織り交ぜて進行しますので積極的な態度で受講して下さい。

科目学習の効果（資格）

社会と自分の接点を考えるきっかけとなります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】フレッシュな自分を確認しよう
【内容・方法等】・キャリアデザインとは？何故必要なのか？
【事前・事後学習課題】自分にとって“キャリアデザイン”とは何か？を考えておいて下さい
- 第2回** 【授業テーマ】摂大学
【内容・方法等】・摂大学の建学の精神と教育理念を理解する・授業の活用術を知る・学生生活において“目標とするもの”を考える
【事前・事後学習課題】自分の専門分野の意義を考えておいて下さい
- 第3回** 【授業テーマ】社会は君を待っている
【内容・方法等】・進路についてのイメージづくり・20代の内に身につけたい力を知る・未来予想図を描く
【事前・事後学習課題】自分の将来について少しでも考えておいて下さい
- 第4回** 【授業テーマ】社会で活躍するOB・OG
【内容・方法等】・進路の多様性（進学（院・専門学校）、資格、公務員、企業、海外等）を知る
【事前・事後学習課題】卒業後の進路について考えておいて下さい
- 第5回** 【授業テーマ】グループ課題の設定
【内容・方法等】与えられた課題をグループで取り組む
【事前・事後学習課題】チームの中で「自分はどんな役割を果たしたいか」を考えておいて下さい
- 第6回** 【授業テーマ】社会の仕組み
【内容・方法等】・GDPから見る社会の仕組み・税金の種類と役割・業種/職種を知る
【事前・事後学習課題】テキストに目を通しておいて下さい
- 第7回** 【授業テーマ】お金の話
【内容・方法等】・正社員とフリーターの違いを考える
【事前・事後学習課題】自分が“欲しいモノを3つ”考えておいて下さい
- 第8回** 【授業テーマ】自己分析から自分づくりへ①
【内容・方法等】・自分の関心事柄を知る・性格、適性、能力を考える・自分の大事にしているモノ（価値観）を整理する
【事前・事後学習課題】自分の長所や短所について考え、周囲の人にも聞いておいて下さい
- 第9回** 【授業テーマ】自己分析から自分づくりへ②
【内容・方法等】・キャリア理論を知り、自分の関心事、性格、適性や能力の喚起へと繋げる
【事前・事後学習課題】テキストに目を通しておいて下さい
- 第10回** 【授業テーマ】スケジューリング術
【内容・方法等】・社会人基礎力を理解する・PDCAサイクルを身につける・問題解決の思考法を身につける
【事前・事後学習課題】テキストに目を通しておいて下さい
- 第11回** 【授業テーマ】グループ課題のプレゼンテーション
【内容・方法等】・グループで取り組んだ内容をプレゼンテーションしていただきます
【事前・事後学習課題】プレゼンテーションの準備を行ってください
- 第12回** 【授業テーマ】グループワークに取り組む
【内容・方法等】グループで課題に取り組む
【事前・事後学習課題】グループでプランを作成してください
- 第13回** 【授業テーマ】グループ課題のプレゼンテーション
【内容・方法等】グループごとにプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】プレゼンテーションの準備を行ってください
- 第14回** 【授業テーマ】グループ活動の振り返り
【内容・方法等】グループ活動の振り返りから「コミュニケーション、ホスピタリティ、マナー」等を再認識する
【事前・事後学習課題】グループ活動の経緯を振り返っておいて下さい
- 第15回** 【授業テーマ】未来予想図/講義のおさらい
【内容・方法等】・大学1年生の夏休みから何を始めるか？を考え、グループ内で発表する
【事前・事後学習課題】夏休み以降の大学生活の目標を考えておいて下さい

評価方法（基準）

授業態度30%、グループワーク20%、レポート50%で総合評価します。

教材等

教科書…キャリアデザインⅠ
参考書…必要に応じて授業内でレジュメを配布します

学生へのメッセージ

自分の将来を考える授業ですので、能動的に参加して下さい。

関連科目

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

7号館3階 キャリア教育推進室

**教養特別講義Ⅰ～Ⅵ「青少年育成ファシリテーター養成講座」
Facilitator Training Program**

浅野 英一（アサノ エイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、サービスマスターの授業であり、青少年育成ファシリテーターとして、知識・野外活動の方法を習得し実習を通して学びと成長を得ることができる実践型学習プログラムである。実践は単なる擬似的体験ではなく、人々のために役立つという現実的な体験を得ることを目的とし、到達目標として自己の振り返りと自己発見、責任感、価値観・技能や知識の獲得、リスクマネジメント、社会問題の理解を果たす体験を同時に果たすことができるものとする。活動受入機関は、寝屋川市内の小学校、寝屋川市教育委員会関連団体、共学センター、交野市役所、門真市役所、すさみ町役場、寝屋川青年会議所等の主催・共催事業。

授業方法と留意点

大学の授業後や、授業の無い日を利用して学外活動を行います。週に1度、90分の活動が基本ですが、夏休みなど長期の休み期間中に集中して活動することも可能です。

科目学習の効果（資格）

実習や活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】事前教育-1（授業説明を4月15日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法等】活動についての心構え、授業内容の徹底周知、ファシリテーターについて
【事前・事後学習課題】講義内容のまとめを作成する「活動についての心構え」
- 第2回** 【授業テーマ】事前教育-2
【内容・方法等】守秘義務：活動に伴って知った情報を漏らしてはならない義務を学ぶ
【事前・事後学習課題】講義内容のまとめを作成する「守秘義務について」
- 第3回** 【授業テーマ】事前教育-3
【内容・方法等】安全管理スキル：活動に伴って発生しうる事故を未然に防ぐ方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】講義内容のまとめを作成する「安全管理スキルについて」
- 第4回** 【授業テーマ】事前教育-4
【内容・方法等】救命救護スキル：命の大切さ、命を助ける方法、AEDの使用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】講義内容のまとめを作成する「救命救護スキルについて」
- 第5回** 【授業テーマ】事前教育-5
【内容・方法等】安全対策スキル：安全。衛生管理、危険予知、責任について学ぶ
【事前・事後学習課題】講義内容のまとめを作成する「安全対策スキルについて」
- 第6回** 【授業テーマ】事前教育-6
【内容・方法等】コミュニケーションスキル①：対象者理解、人とのかかわり方を学ぶ
【事前・事後学習課題】講義内容のまとめを作成する「人とのかかわり方について」
- 第7回** 【授業テーマ】事前教育-7
【内容・方法等】コミュニケーションスキル②：報告、連絡、相談（ホウ・レン・ソウ）の重要性を学ぶ
【事前・事後学習課題】講義内容のまとめを作成する「報告、連絡、相談について」
- 第8回** 【授業テーマ】事前教育-8
【内容・方法等】コミュニケーションスキル③：アイスブレイキング手法を学ぶ
【事前・事後学習課題】講義内容のまとめを作成する「アイスブレイキング手法について」
- 第9回** 【授業テーマ】事前教育-9
【内容・方法等】コミュニケーションスキル④：指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方
【事前・事後学習課題】講義内容のまとめを作成する「指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方について」
- 第10回** 【授業テーマ】事前教育-10
【内容・方法等】活動プログラミング・スキル：課題設定・企画立案・実施・評価方法
【事前・事後学習課題】活動計画（案）を作成する
- 第11回** 【授業テーマ】実践活動-1



教養科目

- 【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践①
- 第12回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-2
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践②
- 第13回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-3
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践③
- 第14回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-4
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践④
- 第15回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-5
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑤
- 第16回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-6
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑥
- 第17回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-7
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑦
- 第18回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-8
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑧
- 第19回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-9
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑨
- 第20回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-10
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑩
- 第21回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-11
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑪
- 第22回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-12
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑫
- 第23回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-13
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑬
- 第24回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-14
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑭
- 第25回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-15
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑮
- 第26回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-16
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑯
- 第27回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-17
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑰
- 第28回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-18
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑱
- 第29回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-19
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑲
- 第30回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 最終報告（後期分）
- 評価方法（基準）
①参加日数、②実習報告書、③最終報告書、④受入機関からの調書、以上の4点を総合的に判断して評価する。
- 教材等
教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する
- 学生へのメッセージ
青少年育成活動を通して、責任感・忍耐力・協調性・創造力を

養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

担当者の研究室等
7号館5階（浅野研究室）

備考
授業説明を4月15日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」 Preparation Program for Employment Examination				
松田 剛典 (マツダ タケノリ) 亀田 峻宣 (カメダ タカノブ) 西座 由紀 (ニシザ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な、算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとても多いので、早めに対策をしておきましょう。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特に勧めます。

授業方法と留意点
授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

科目学習の効果（資格）
就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法等】 実力確認テスト
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算
【内容・方法等】 四則演算・小数・分数
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 方程式
【内容・方法等】 方程式
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 速度算
【内容・方法等】 速度の基礎
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算について復習しておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 割合
【内容・方法等】 割合の基礎・濃度算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合について復習しておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 分数問題
【内容・方法等】 仕事算・分割払い
【事前・事後学習課題】 文章題による仕事算・分割払いについて復習しておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 金銭問題
【内容・方法等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算について復習しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 場合の数・確率
【内容・方法等】 場合の数・確率
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数・確率を復習しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法等】 中間テスト
【事前・事後学習課題】 2～8回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 集合・領域
【内容・方法等】 集合の基礎・領域
【事前・事後学習課題】 集合・領域を復習しておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 表の読み取り
【内容・方法等】 表の読み取り
【事前・事後学習課題】 表の読み取り問題を復習しておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 論理
【内容・方法等】 命題・推論①
【事前・事後学習課題】 命題について復習しておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 論理
【内容・方法等】 推論②
【事前・事後学習課題】 推論について復習しておくこと

- 第14回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法等】 総復習①
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法 (基準)

小テスト40%、テスト(中間・期末)40%、授業態度10%、Smart SPI10%の割合で評価する。

教材等

教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことと参考になります。
(例:「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所)

学生へのメッセージ

7~8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。早めの対策しておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

7号館3階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」
Preparation Program for Employment Examination

松田 剛典 (マツダ タケノリ)
亀田 峻宣 (カメダ タカノブ)
西座 由紀 (ニシザ ユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

就職活動時の筆記試験対策(算数・数学)について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。筆記試験で特によく使われるSPI非言語分野の全ての範囲を学習し、実際に出题された際に説き方がすぐに思い出せるように練習します。実践レベルの問題を解きますので、就職活動の準備の一環として受講をお勧めします。

学科の学習・教育目標との対応:工学部[A], 理工学部 [II]

授業方法と留意点

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

科目学習の効果 (資格)

就職活動に必要な数学力を身につける

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法等】 実力確認テスト
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算
【内容・方法等】 四則演算・小数・分数
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 方程式
【内容・方法等】 方程式
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 速度算
【内容・方法等】 速度の基礎
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算について復習しておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 割合
【内容・方法等】 割合の基礎・濃度算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合について復習しておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 分数問題
【内容・方法等】 仕事算・分割払い
【事前・事後学習課題】 文章題による仕事算・分割払いについて復習しておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 金銭問題
【内容・方法等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算について復習しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 場合の数・確率

- 【内容・方法等】 場合の数・確率
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数・確率を復習しておくこと

- 第9回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法等】 中間テスト
【事前・事後学習課題】 2~8回目の範囲を事前に勉強しておくこと

- 第10回 【授業テーマ】 集合・領域
【内容・方法等】 集合の基礎・領域
【事前・事後学習課題】 集合・領域を復習しておくこと

- 第11回 【授業テーマ】 表の読み取り
【内容・方法等】 表の読み取り
【事前・事後学習課題】 表の読み取り問題を復習しておくこと

- 第12回 【授業テーマ】 論理
【内容・方法等】 命題・推論①
【事前・事後学習課題】 命題について復習しておくこと

- 第13回 【授業テーマ】 論理
【内容・方法等】 推論②
【事前・事後学習課題】 推論について復習しておくこと

- 第14回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法等】 総復習①
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

- 第15回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法 (基準)

小テスト40%、テスト(中間・期末)40%、授業態度10%、Smart SPI10%の割合で評価する。

教材等

教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…その他SPIや玉手箱関連の問題集

学生へのメッセージ

7~8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。早めの対策しておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、3回生の秋・冬から筆記試験対策を始めたものの、他の活動や行事が忙しく対策が出来ていないこともあります。早めに対策をしておきましょう。受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目

コミュニケーション能力開発

担当者の研究室等

7号館3階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「キャリアデザインⅡ(ADVANCE)」
Career Planning II(Advanced)

水野 武 (ミズノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

将来、社会で活躍できる人になるために、1回生時からの成長を加速させます。そのために授業では社会を起点に物事を考え、自らの活かし方、伸ばすべきポイントについて考えて頂きます。

授業の到達目標は将来、何になりたいか、そのために何をすべきかを言えるようになることです。
学科の学習・教育目標との対応:「A」

授業方法と留意点

講義だけでなくグループワークや個人で考えるワークを織り交ぜて進みますので能動的な態度で受講して下さい。

科目学習の効果 (資格)

来るべき就職活動に向けて自分は何を伸ばさなければならないのか?等を考えられるようになります

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 ・講義の目的・内容の解説
・評価の方法
【事前・事後学習課題】 大学生活1年目で経験したことを思い出して下さい
- 第2回 【授業テーマ】 就活体験①
【内容・方法等】 ・特性と心がけ、自己PRの組み立て方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP33~P41を熟読して下さい
- 第3回 【授業テーマ】 就活体験②
【内容・方法等】 ・学生生活を振り返る
・講師より学生生活で自分を高めるための提案
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP42~

- P44を熟読して下さい
- 第4回** 【授業テーマ】自分を高める①
【内容・方法等】・今までの習慣を見直し自分を高めることを考える
【事前・事後学習課題】講義を踏まえ、これからの大学生活内で何に取り組むかを考えて下さい
- 第5回** 【授業テーマ】自分を高める②
【内容・方法等】・リーダーシップ開発
・リーダーのタイプを知る
・リーダーシップコミュニケーションを学ぶ
【事前・事後学習課題】講義の内容を日常生活で実践して下さい
- 第6回** 【授業テーマ】自分を高める③
【内容・方法等】・講義4、5の内容を日常生活で実践し、報告プレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】プレゼンテーションの準備をして下さい
- 第7回** 【授業テーマ】社会を知る①
【内容・方法等】・なぜ仕事をするのか？
・仕事観について考える
・仕事の成果とは他者への貢献であることを学ぶ
【事前・事後学習課題】キャリアデザインⅡテキストのP9～P17を熟読して下さい。
- 第8回** 【授業テーマ】社会を知る②
【内容・方法等】・人生のイベントを考える
・他者受容力を磨く
・人生のイベントにかかる費用を考える
【事前・事後学習課題】キャリアデザインⅡのテキストP45～P55を熟読して下さい。
- 第9回** 【授業テーマ】社会を知る③
【内容・方法等】・講義⑦課題プレゼンテーション
【事前・事後学習課題】プレゼンテーションの準備をして下さい
- 第10回** 【授業テーマ】社会を知る④
【内容・方法等】・業種・職種概念を理解する
・川上～川下の概念の理解
・付加価値について考える
【事前・事後学習課題】キャリアデザインⅡのテキストP59～P79を熟読して下さい
- 第11回** 【授業テーマ】社会を知る⑤
【内容・方法等】・視点/視座/視野の使い方事例を知る
・会社・業種・職種の発見の仕方を学ぶ
【事前・事後学習課題】キャリアデザインⅡのテキストP59～P79を熟読して下さい
- 第12回** 【授業テーマ】社会を知る⑥
【内容・方法等】・ニッポンの課題について考える
・未来の働き方を考える
【事前・事後学習課題】キャリアデザインⅡのテキストP55を熟読して下さい
- 第13回** 【授業テーマ】社会を知る⑦
【内容・方法等】・グループプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】グループにおける役割を考えて下さい
- 第14回** 【授業テーマ】おさらい①
【内容・方法等】・講義②～③より自分がどれだけ成長したのかを確認する
【事前・事後学習課題】ここまでの講義を振り返って下さい
- 第15回** 【授業テーマ】おさらい②
【内容・方法等】講義のおさらいと期末レポートの振り返り
【事前・事後学習課題】未提出レポート等がないか確認してください

評価方法（基準）

授業態度30%、グループワーク20%、レポート50%で総合評価します。

教材等

教科書…キャリアデザインⅡ（授業内で配布）
参考書…必要に応じて推薦図書を提示

学生へのメッセージ

来るべき、就職活動、そして卒業後の自分自身のために積極的に参加して下さい。

関連科目

キャリアデザインⅠ・Ⅲ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

7号館3階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ビジネスマナー」

Business Manners

石井三恵 (イシイ ミエ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A-F	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要： マナーとは何か、社会とはどういうところか、社会人になるには何が必要かが、体験を通して理解できる。
目的： 社会生活におけるマナーの重要性を理解し、社会人になる心の準備をすることを目的とする。
到達目標： 社会人になるために必要な態度を理解し、学んだマナーを就職活動や社会で実践できることを目標とする。

授業方法と留意点

ロールプレイやグループワークを多く取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

科目学習の効果（資格）

就職活動でも社会に出ても、必須のビジネスマナーが身に付く。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】ビジネスマナーとは何か
【内容・方法等】授業のオリエンテーション
ビジネスマナーの必要性
ビジネスにおける最低限のルール
【事前・事後学習課題】ビジネスマナーで大切な事を考えておいて下さい。
- 第2回** 【授業テーマ】第一印象
【内容・方法等】第一印象の重要性
第一印象をよくする方法
【事前・事後学習課題】今後考えられる初対面のシーンを考えて下さい。
- 第3回** 【授業テーマ】身だしなみ
【内容・方法等】身だしなみと態度
【事前・事後学習課題】身だしなみが何故大切なのかを考えて下さい。
- 第4回** 【授業テーマ】言葉づかい
【内容・方法等】敬語の仕組みと使い方
【事前・事後学習課題】尊敬語と謙譲語について調べてきてください。
- 第5回** 【授業テーマ】電子メールのマナー
【内容・方法等】電子メールのルールと書き方
【事前・事後学習課題】メールを送る時に気をつけている事を考えてきてください。
- 第6回** 【授業テーマ】ビジネス文書のマナー
【内容・方法等】ビジネス文書の書き方
【事前・事後学習課題】日常でどんな文書を見たことがあるか考えてください。
- 第7回** 【授業テーマ】電話のマナー
【内容・方法等】電話の受け方とかけ方
【事前・事後学習課題】電話をかけるときに気をつける事を考えて下さい。
- 第8回** 【授業テーマ】訪問のマナー
【内容・方法等】訪問のマナーと接遇
【事前・事後学習課題】自分が訪問を受けた時にどんな人が印象に残るのかを考えて下さい。
- 第9回** 【授業テーマ】会社説明会でのマナー
【内容・方法等】会社説明会で何をすればいいのか
【事前・事後学習課題】会社説明会でのマナーについて、疑問点を挙げて来ててください。
- 第10回** 【授業テーマ】名刺交換のマナー
【内容・方法等】名刺交換の仕方
【事前・事後学習課題】名刺の役割について考えてください。
- 第11回** 【授業テーマ】指示の受け方
【内容・方法等】指示の受け方
【事前・事後学習課題】自分が人に指示した経験を思い出してください。
- 第12回** 【授業テーマ】ホウレンソウ
【内容・方法等】報告・連絡・相談の仕方
【事前・事後学習課題】報告と連絡の違いを考えて来てください。
- 第13回** 【授業テーマ】グループディスカッションのマナー
【内容・方法等】グループディスカッションの特徴
グループディスカッションの注意点
【事前・事後学習課題】これまでを振り返って、グループにおける自分の役割を考えてください。
- 第14回** 【授業テーマ】面接でのマナー
【内容・方法等】面接の種類と面接官の狙いについて
面接での基本的な振る舞い方
【事前・事後学習課題】面接でのマナーについて、疑問点を挙げて来ててください。
- 第15回** 【授業テーマ】振り返りとまとめ
【内容・方法等】授業の振り返り・まとめ
【事前・事後学習課題】未提出のレポート等がないか確認をして下さい。

評価方法（基準）

平常点30%、グループ貢献度20%、レポート50%で総合評価する。

教材等

教科書…レジュメ配布
参考書…必要に応じて参考図書を紹介

学生へのメッセージ

マナーを身に付けることは社会人に仲間入りする第一歩です。

何のためにそれをするのかを考え、積極的に参加してください。また、必要になってすぐできるものではありません。日頃から実践するように意識してください。

関連科目

キャリアデザインⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学とこの地域を学ぶ—北河内学—」
Introduction to University and Kitakawachi Region

福 田 市 朗 (フクダ イチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

〔授業概要〕学部共通の入門科目として、摂南大学と大学が立地する「北河内地域」の地歴・環境・文化・産業や同地域内にある地方自治体の現状と課題、また、同地域に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとの活動を広範囲にわたって紹介する。〔目的〕摂南大学の学生として大学や地域に愛着を持てるようになり、学生生活の中で自分自身を見つける機会とする。また、地域貢献活動や地域社会での実践教育の動機付けとする。〔到達目標〕摂南大学と北河内地域についての理解を深め、地域の一員としての意識向上と地域貢献活動への参画意識向上が図れる。

授業方法と留意点

摂南大学地域連携センター関係教員のほか、北河内地域（寝屋川市・枚方市・交野市・門真市）に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとが学外講師として参画し、オムニバス（リレー）形式による講義を行う。各時間内に質疑応答の時間を設け、毎回、時間内に小レポートを提出。

科目学習の効果（資格）

自分自身が学ぶ摂南大学の歴史を知り、また、地域で活躍する人びとの人生観に触れ、大学と地域に愛着を持ち学生生活の中で自分自身を見つける機会となり地域貢献活動への関心が高まり活動への動機付けが図られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 摂南大学とこの地域を学ぶ「北河内学」
【内容・方法等】 本講義のねらいと学び方について解説した後、摂南大学と本学を設置する常翔学園の歴史を紹介し、併せて摂南大学の教育の理念を紹介する。また、本学と地域社会との関わり合いについての概要を説明する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：摂南大学の自校史集やホームページ、図書館を活用して、大学の歴史や教育の理念などについて理解を深めること。
- 第2回** 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（1）
【内容・方法等】 北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究者が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：北河内地域の全域と7つの市の特色を、各市のホームページなどを活用して調べ、北河内に関する理解を深めること。
- 第3回** 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（2）
【内容・方法等】 淀川とその流域の北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究者が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、図書館を活用するなど淀川とその流域の地理・歴史や文化について理解を深めること。
- 第4回** 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（3）
【内容・方法等】 都市（寝屋川市）と地方（和歌山県すさみ町）の連携をはかる取り組みを紹介し、両者が共存共栄するための考え方と具体的な施策について地元の方が解説する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：寝屋川市と協定を結んでいる和歌山県すさみ町との協働事業について、それぞれのホームページを参照し、調べてみる。
- 第5回** 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（1）寝屋川市
【内容・方法等】 寝屋川市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と寝屋川市を見比べるほか、図書館を活用するなど寝屋川市の現状と課題について理解を深めること。
- 第6回** 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（2）枚方市
【内容・方法等】 枚方市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と枚方市を見比べるほか、図書館を活用するなど枚方市の現状と課題について理解を

- 深めること。
- 第7回** 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（3）交野市
【内容・方法等】 交野市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と交野市を見比べるほか、図書館を活用するなど交野市の現状と課題について理解を深めること。
- 第8回** 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（4）門真市
【内容・方法等】 門真市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と門真市を見比べるほか、図書館を活用するなど門真市の現状と課題について理解を深めること。
- 第9回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（1）
【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第10回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（2）
【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第11回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（3）
【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第12回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（4）
【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第13回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（5）
【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第14回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（6）
【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第15回** 【授業テーマ】 北河内の産業を知る
【内容・方法等】 北河内地域での産業活動の具体例について講義する。地元の北大阪商工会議所や寝屋川市工業会の役員が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、関係するホームページや図書館を活用するなどして産業活動を再確認し理解を深めること。

評価方法（基準）
毎回の講義の最後に行う小テスト・レポート（75%）に加えて、講義全体に関して課せられるレポート課題（25%）を総合して評価する。

教材等

- 教科書**…必要に応じてハンドアウト（プリントされた講義資料）を配付する。
- 参考書**…摂南大学の自校史集。
毎回の講義ごとに適切な書籍を指示するので、興味がある内容のものを購入して読んでほしい。

学生へのメッセージ

毎回必ず出席してください。地域で活躍されている各分野のいろいろな人の話を聞くことで、摂南大学と地域が密接につながっていること、そして自分もこの地域とのつながりを大切にすることの意義がわかるようになり、自信を持って本学での勉学に励むことができるようになります。

なお、本講義は地域で活躍されている方々の協力のもとに行われます。講師に対する礼を逸することなく、私語を慎み、選

刻しないように心がけてください。
関連科目
 地理、歴史、文化、経済、産業などに関する教養科目
担当者の研究室等
 11号館7階 福田教授室

備考
 学外講師の事情により、授業計画の順序を変更することがあります。
 学外講師の関係者が聴講することがあります。
 また、授業の様子をカメラ・ビデオで撮影することがあります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「健康科学」 Health Science				
藤林真美 (フジバヤシ マミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

我が国では、交通手段の発達や家事の自動化等により身体活動量が著しく低下しており、さらに食生活の欧米化等も影響して、生活習慣病にかかる人口は増加の一途をたどっている。一方で、うつ病等にかかる人口も激増しており、メンタルヘルスの保持増進も重要課題となっている。
 本講義では、学生諸君が在学中のみならず生涯にわたり心身の健康を維持・増進するため、健康に関して科学的な裏付けに基づいた知識を幅広く身につけ、講義内容を実践できる能力を身につけることを目的とする。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部 [II]

授業方法と留意点

レジュメを配布する。

科目学習の効果（資格）

健康に関する基礎知識を理解し、実生活に応用することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法 等】 日本人の健康に関する現状を把握し、本講義の意義について述べる。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第2回** 【授業テーマ】 健康づくりの三本柱
 【内容・方法 等】 健康づくりのための三本柱とされている「運動」「栄養」「休養」と、その相互作用について解説する。学生諸君は自身の生活について振り返り、改善すべき点があるか検討する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第3回** 【授業テーマ】 身体の生理機能
 【内容・方法 等】 食べたものはどこへいくか？吸った酸素はどこでどんな作用をするか？生体の生理について復習する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第4回** 【授業テーマ】 運動トレーニングが肥満対策になる所以
 【内容・方法 等】 メタボリック症候群の定義、その温床にある内臓肥満について解説する。また肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病について解説し、その予防になぜ運動トレーニングが効果的なのか、最新の知見と関連させて解説する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第5回** 【授業テーマ】 運動トレーニングで何がかわるか？
 【内容・方法 等】 運動トレーニングにより、筋力増強、持久力向上、骨代謝、エネルギー代謝などが改善される。それらのメカニズムについて解説する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第6回** 【授業テーマ】 どんな運動（種類・時間・頻度）が健康によいのか？
 【内容・方法 等】 第5回で解説した運動トレーニングの効果は、運動方法によってその作用が異なる。肥満解消、筋力増大、骨の増強など目的に応じたトレーニング方法について解説する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第7回** 【授業テーマ】 基礎栄養学
 【内容・方法 等】 各栄養素の種類や機能について解説する。日ごろの食生活を振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第8回** 【授業テーマ】 食生活と健康
 【内容・方法 等】 前回の内容を踏まえ、望ましい食事について「食事バランスガイド」に基づいて解説する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第9回** 【授業テーマ】 ダイエット計画
 【内容・方法 等】 近年、性別や年齢による身体の見え方や中身（体重や体脂肪率など）の違いが明らかになっている。この違いを理解したうえで、望ましいダイエット方法につ

- いて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第10回** 【授業テーマ】 女性の健康・男性の健康
 【内容・方法 等】 性別による身体的特徴と性ホルモンの作用、さらに男女それぞれの加齢変化も踏まえて解説する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第11回** 【授業テーマ】 ストレスマネジメント
 【内容・方法 等】 近年増加しているうつ病について概説し、うつ病やメンタルヘルス、ストレス対策として運動が有効なのか、最新の知見を紹介しながら解説する。また他の精神障害についても概説する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第12回** 【授業テーマ】 睡眠
 【内容・方法 等】 睡眠がどのような役割を果たしているか解説する。日ごろの睡眠について振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第13回** 【授業テーマ】 アルコール喫煙、薬物、性感染症
 【内容・方法 等】 アルコールやタバコ、薬物が身体にどのように影響を及ぼすか解説する。またHIVなど性感染症についても解説する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第14回** 【授業テーマ】 高齢者の介護予防と運動
 【内容・方法 等】 わが国は超高齢化社会となり、今後さらに高齢者人口が増大することが見込まれている。運動がなぜ介護予防に効果的なのか、解剖学・生理学の立場から解説する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第15回** 【授業テーマ】 総括
 【内容・方法 等】 本講義の総括と、健康に関する諸問題について考える。
 【事前・事後学習課題】 配布資料

評価方法（基準）
 期末試験50%、レポート30%、授業態度20%の割合で評価する。

教材等

教科書…特に指定しない
 参考書…スポーツサイエンス入門、田口貞善編著、丸善

学生へのメッセージ

皆さんが将来、知的職業人として社会で活躍するためには、まず心身の健康の保持増進が大切です。健康科学の基本を理解して、心身のセルフマネジメントができるようになることを希求します。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1階 藤林研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「マーケティングと歴史」 Marketing and History				
武居奈緒子 (タケスエ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、マーケティングを歴史的に考察することを目的としています。特にマーケティングの発想を踏まえ、呉服商の経営活動について説明していきます。

授業方法と留意点

講義形式を基本としますが、実態分析にも力を入れます。

科目学習の効果（資格）

マーケティング的発想で社会を見る眼が養えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
 【内容・方法 等】 マーケティングについて解説していきます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第2回** 【授業テーマ】 製品政策
 【内容・方法 等】 ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第3回** 【授業テーマ】 価格政策
 【内容・方法 等】 価格の設定方法について考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第4回** 【授業テーマ】 流通チャネル政策
 【内容・方法 等】 商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

- 第5回 【授業テーマ】 販売促進政策
【内容・方法 等】 商品のアピールの仕方について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。
- 第6回 【授業テーマ】 マーケティングのSTPアプローチ
【内容・方法 等】 市場細分化について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。
- 第7回 【授業テーマ】 消費行動
【内容・方法 等】 消費者の購買意思決定過程について考えま
す。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。
- 第8回 【授業テーマ】 マーケティングの歴史的研究と三井越後屋
【内容・方法 等】 マーケティングにおける歴史的研究と三井
越後屋の商法について説明していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。
- 第9回 【授業テーマ】 呉服商の流通機構
【内容・方法 等】 呉服商の流通機構について、概説してい
きます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。
- 第10回 【授業テーマ】 越後屋の仕入機構（1）
【内容・方法 等】 三井越後屋の絹の仕入機構について、説明
していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。
- 第11回 【授業テーマ】 越後屋の仕入機構（2）
【内容・方法 等】 三井越後屋の木綿の仕入機構について、説
明していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。
- 第12回 【授業テーマ】 いとう松坂屋、大丸屋の仕入機構
【内容・方法 等】 いとう松坂屋や大丸屋の仕入機構について、
概説していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。
- 第13回 【授業テーマ】 呉服商から百貨店へ
【内容・方法 等】 呉服商から百貨店への変遷について概説し
ます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。
- 第14回 【授業テーマ】 百貨店業態の成立
【内容・方法 等】 百貨店について、説明していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 全体のまとめをします。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みま
しょう。

評価方法（基準）
期末テストの成績70%、授業内課題30%

教材等
教科書…講義時に指示します。
参考書…その都度、指示します。

学生へのメッセージ
授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましょう。

関連科目
マーケティング論

担当者の研究室等
武居教授室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「武道論」

Theory of Budo

横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「武道とは何か」、「なぜ今武道なのか」等、現代における武道の特性などを概説し、現状と課題について検討していく。また、武道の特性が理解でき、日本人の行動様式やものの考え方についても知ることができることを一般的な目標とする。学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]、理工学部 [II]

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

科目学習の効果（資格）

武道の特性を理解することができる。また、伝統的な行動様式を学ぶ中から現代にない思考力が育まれることを期待する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業内容の説明と武道について
【事前・事後学習課題】 武道について調べてくる
- 第2回 【授業テーマ】 武道とは何か
【内容・方法 等】 武道の意味や言語について概説する
【事前・事後学習課題】 武道にはどのような種目があるのか調べる
- 第3回 【授業テーマ】 武道と武術について
【内容・方法 等】 武道と武術の違いについて
【事前・事後学習課題】 武芸十八般について調べてくる
- 第4回 【授業テーマ】 武道（柔道）
【内容・方法 等】 柔道について
【事前・事後学習課題】 柔道について調べ内容をまとめる
- 第5回 【授業テーマ】 武道（剣道）
【内容・方法 等】 剣道について調べ内容をまとめる
【事前・事後学習課題】 剣道について調べ内容をまとめる
- 第6回 【授業テーマ】 武道（弓道・相撲）
【内容・方法 等】 弓道・相撲について調べ内容をまとめる
【事前・事後学習課題】 弓道・相撲について調べ内容をまとめる
- 第7回 【授業テーマ】 武道（空手・合気道）
【内容・方法 等】 空手・合気道について
【事前・事後学習課題】 空手・合気道について調べ内容をまとめる
- 第8回 【授業テーマ】 武士道から見る日本人の道徳心①
【内容・方法 等】 武士道とは何か
【事前・事後学習課題】 著者・著作にいたる背景を調べまとめる
- 第9回 【授業テーマ】 武士道から見る日本人の道徳心②
【内容・方法 等】 武士道の道徳心について
【事前・事後学習課題】 武士はどのような道徳を持ち生活していたか調べまとめる
- 第10回 【授業テーマ】 武士道から見る日本人の道徳心③
【内容・方法 等】 武士道の道徳心について
【事前・事後学習課題】 武士はどのような道徳を持ち生活していたか調べまとめる
- 第11回 【授業テーマ】 武道と修行
【内容・方法 等】 武道における修行について
【事前・事後学習課題】 修行とは何かを調べまとめる
- 第12回 【授業テーマ】 武道の国際化
【内容・方法 等】 武道の国際化について
【事前・事後学習課題】 武道がどのように世界に普及したか調べまとめる
- 第13回 【授業テーマ】 武道の身体技法①
【内容・方法 等】 武道特有の身体技法について
【事前・事後学習課題】 武道の身体技法とは何か調べまとめる
- 第14回 【授業テーマ】 武道の身体技法②
【内容・方法 等】 実際の身体技法を行う（総合体育館）
【事前・事後学習課題】 武道の身体技法とは何か調べまとめる
- 第15回 【授業テーマ】 武道論総括（テスト）
【内容・方法 等】 14回まで行った授業の内容に関してテストを行う
【事前・事後学習課題】 これまでの授業の復習

評価方法（基準）

出席率75%以上のものを試験資格者とする。遅刻は2回で1回の欠席と同等とみなす。（遅刻は授業開始から30分以内に入室したことをいう）
武道論総括(15回目)におけるテストを100%の割合で評価を行う。（ただし、上記の出席率を満たした者のみを評価対象者とする。）

教材等

教科書…特に指定はしない。
参考書…中村民雄 『今、なぜ武道か』 日本武道館 2007
藤堂良明 『柔道の歴史と文化』 不昧堂出版 2007
村田直樹 『柔道の国際化《その歴史と課題》』 日本武道館 2012
『嘉納治五郎』 筑波大学出版会 2011

学生へのメッセージ

質問等がある場合には、横山講師室に来てください。

関連科目

スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ
生涯スポーツ実習
健康論
保健論

担当者の研究室等

総合体育館1F横山講師室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

本多 友常 (ホント トモツネ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

和歌山県すさみ町旧古座街道沿に位置する佐本地区集落一帯をコンパクトヴィレッジとして捉え、集落環境を特徴付けている文化的景観要素を収集し、過疎高齢化集落とその周辺域の優れた文化的景観を守りつつ、未来に向けて持続可能な社会的・空間的環境整備の可能性を探索する。

授業方法と留意点

地域資産である景観構成要素の探索とそれに引き続く実測、情報収集、コミュニティ活動参加を通して、住民との交流、話し合いを進めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

すさみ町佐本地区を中心とした、集落空間の魅力（地域資産としての景観要素）発見に向けた調査・探索を行う。その後集落内の住民の方々と訪問し、自分たち学生が目から見て不思議なこと、面白いことについて教えていただき、昔の暮らしや今の生活、伝承や史跡などさまざまな事柄を記録する。
また集落生活の課題について、住民との交流ワークショップ、集落コミュニティ活動参加を介して地域資産の持続性について意見交換と考察を行い、文化的景観の持続性にむけた課題発見能力の向上を目指す。

評価方法・評価基準

フィールドノートのまとめ30%
ヒアリング内容のまとめ30%
発表40%

教材等

教科書…なし
参考書…すさみ町誌編さん委員会「すさみ町誌 上巻」昭和53年8月10日
すさみ町誌編さん委員会「すさみ町誌 下巻」昭和53年8月10日
すさみ町役場 地域未来課「広報すさみ」
大己小学校校友会「谷間の光 大己小学校沿革」(1971年)、
佐本小学校百周年事業実行委員会「創立百周年記念誌

学び舎の想い出」昭和54年3月1日
石垣が語る風土と文化－屋敷構えとしての石垣
紀伊続風土記

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

鳥居 祐介 (トリイ ユウスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

<寝屋川市と米国ニューポートニュース市の姉妹都市交流支援プロジェクト>を企画、運営するPBL授業です。NPO法人寝屋川市国際交流協会(NIEFA)とタイアップして、寝屋川市と姉妹都市提携関係にある米国ニューポートニュース市の市民レベルの国際交流を支援し、市の国際化と経済振興に貢献することがプロジェクト全体の目標です。2014年度は、NIEFAが運営するイベント「新天地in Neyagawa」におけるニューポートニュース市の学生マーケティングバンド招聘公演を成功させることがプロジェクトの中心となる予定です。

・地域の非営利団体、自治体、企業、そして大学の相互連携について学び、社会人に相応しいコミュニケーション能力を身につけることが全履修者に共通の目標です。また各自の業務を通じて、アメリカ合衆国に関する知識や実践的な英語コミュニケーション能力を高めたり、イベント運営や広告営業の実地経験を積むことも目標にします。

授業方法と留意点

・年度を通じて定期ミーティングを行い、NIEFAスタッフの方々の協力を得ながら活動します。特に忙しくなるのは米国ニューポートニュース市からの訪問団が来日する10月の前後になります。
・多様な関心分野、得意分野を持った学生の履修を期待しています。たとえば、
(1) 国際交流に関心があり、日本語を話せない外国人を相手に物怖じせず、簡単な英語でコミュニケーションがとれる人、またはとれるように努力する意欲のある人。訪問団の世話や案内をする人が必要です。

(2) アメリカ合衆国の一つの都市について詳しく学ぶことに興味のある人。翻訳に興味のある人。ニューポートニュース市について学んで日本語で情報発信したり、寝屋川市のことを先方に英語で発信する人が必要です。

(3) イベントの企画運営や広告営業を経験し、社会人として働く力を高めたい人。履修者には「新天地」イベント全体を成功に導くスタッフとしての役割も期待されています。教室を離れて仕事の現場に飛び込む行動力のある人が必要です。

(4) ウェブ制作やプレゼン資料作成、チラシ、ポスター等印刷物のデザインに興味のある人。情報発信のための技能を持った人が来てくれると助かります。

(5) 協調性があるだけでなく、リーダーシップもとれる人。PBLは、学生が主体となって進めるものです。教員は、英語および翻訳の指導や事務処理についてのアドバイスをしますが、NIEFAスタッフから現場の要望を聞いて具体的な活動の中身を考え、実行し、フィードバックを受けて改善していくのは受講生の皆さん自身です。細かいプロジェクトごとにリーダーを決め、連絡を取り合いながらチームで動き、活動内容を定期的に教員に報告してもらいます。

以上、どれか一つでも当てはまる人はぜひ履修を検討してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

4月～5月中に数回のミーティングをNIEFAスタッフを交えて行い、いくつかの優先すべき活動内容を決めてそれぞれリーダーを選出し、活動に入ります。ニューポートニュース市からバンドを含む訪問団が来日し、イベントが行われるのは10月です。それ以降は活動報告をまとめ、情報発信する作業が中心になります。

評価方法・評価基準

月ごとの活動報告や、活動現場での取り組み姿勢をみて総合的に評価する。

教材等

教科書…プリント教材
参考書…授業中に指示する

教養科目

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

紙 博文 (カミ ヒロフミ)
岩 坪 加 紋 (イワツボ カモン)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

映画製作（←摂南大学と地域連携→）

タイトル：「空へ」

目的は、20分～30分の短編映画を製作することである。ストーリー（案）を学生諸君で吟味して、それを基に学生が下記の作業を主体的に担う。

脚本、演出、出演、撮影、編集、音楽・作曲・演奏、効果、美術、ロケハンティング等、また、各公的機関、企業との交渉が必要であり、映画製作を通してそのための資質も磨かれる。短編映画ではあるが、かなりの作業量が求められたためその覚悟が必要である。

授業方法と留意点

打ち合わせ、確認、交渉、各連絡等、チームワーク、フットワーク、スマートさ、スピードさが求められる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自に与えられた役割分担をすみやかにこなすこと。映画製作は総合芸術であるからひとつひとつの作業を確認しておかねば前には進まないことに留意されたい。

評価方法・評価基準

どれだけ真剣にチームワークよく取り組めたか、努力したかで評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

牧 野 幸 志 (マキノ コウシ)
久 保 貞 也 (クボ サダヤ)
山 本 圭 三 (ヤマモト ケイゾウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

調査分析に基づいて、地域産業の発展の可能性や地域住民の需要を科学的に明らかにする。その上で、地域を起点とした事業計画を立案し、その実現に向けて、地域内外の企業・団体や国内外の協力団体との交渉、および、コンテストなどへの参加を行う。そして、得られた経営資源を基に事業を実施し、それによってどのような変化、影響をもたらせたかを分析し、今後の活動について考える。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部 [II]

授業方法と留意点

「地域！」

これまでのPBLプロジェクトで集めたアンケートデータや自治体などから提供されるデータ、および、このプロジェクトで企画するアンケート調査などを用いて、地域の期待や要望を浮かび上がらせる。そのために、統計解析の理論とソフトウェアの利用技術を習得し、実践的な分析能力を身につける。

「事業！」

地域を起点として、地域ブランドの普及や既存製品、技術の新しい組み合わせ、または、ITの活用などによる学生視点のビジネスモデルと事業計画を策定する。そして、ビジネスプランコンテストへの応募や、公的団体、民間団体などへプレゼンテーションを行い、事業計画のブラッシュアップと経営資源の獲得を目指す。

「変化！」

上記の活動を通じて得られた経営資源の制約下で、事業計画を再編して、事業の実施に着手する。具体的には、地域プロモーションサイトの構築、ICTによるモールの実験、今後の展開に向けた調査・研究などが考えられる。これらの活動を通して、自分たちの活動が地域や世界にどのようなインパクトを与えられるか、また同時に、自分たちの学びの姿勢や考え方がどのように変化したかについて振り返る。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：地域！事業！変化！

ー地域を起点に事業を起し、世界と自分に変化をもたらすー

内容：

- (1) 市場分析のためのデータ解析技術の習得
- (2) 地域に関するデータの収集・整理
- (3) データ分析の実践
- (4) 企画提案に関する技法の習得
- (5) ビジネスモデルの策定
- (6) 事業計画のプレゼンテーション
- (7) 事業実施のための資源獲得
- (8) 実施結果の分析

方法：月2、3回程度、平日の午後以降に行う（授業時間の空きで調整）。また、その他に講演会や見学会などを年2、3回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設などである。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし

参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

履修については、昨年度までのPBLプロジェクトやゼミ活動、課外活動などで地域での活動経験を有する学生を想定しています。卒業研究や調査実習を見据えた参加希望も歓迎します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

石田 裕子 (イシダ ユウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：寝屋川市立池の里市民交流センターでの子どもたちへの環境学習支援に、学生が企画・実施担当として関わることで、市民ボランティアと子どもをつなぐ架け橋となることを目指す。5年目の今回は、天若湖アートプロジェクトに参加し、天然アユ復活をモチーフとした淀川水系の流域連携活動を行う。

学科の学習・教育目標：工学部[A], 理工学部 [II]

目的：池の里市民交流センターの活動に関わり、子どもへの環境学習支援を行う。天若湖アートプロジェクトへの参加を中心に、淀川水系での流域連携を向上させる。

達成目標：地域の子どもたちの環境学習支援プログラムの企画・実践の手法を体得する。また、流域連携活動を通じて、淀川水系を中心とした環境保全と河川管理について問題を理解するとともに、その解決策について考察する。特に、淀川水系での天然アユ復活を題材に学習を進める。プロジェクト全体を通して、

世代を超えた人々と交流することでコミュニケーション力を学び、自分たちで企画・実践する力を身につける。

授業方法と留意点

連携内容・方法：池の里市民交流センターでは、環境学習支援の補助から始め、学生たち自身による企画と実践を行う。天若湖アートプロジェクト実行委員会に所属し、淀川水系内の市民団体や行政機関と連携し、活動を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト

内容：

- 1. 寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援
- 2. 水辺再生を中心とした環境学習の実施
- 3. 淀川水系を中心とした流域連携イベントの企画・実践
- 4. 天若湖アートプロジェクトにおけるイベントの企画・実践
- 5. 天然アユ復活プロジェクトの学習
- 6. いい川・いい川づくりワークショップでの発表

方法：授業のうち半分（月1回）は原則として平常授業期間内の土曜日2・3限に行い、主として午前中は学内のゼミ室において、石田が資料を用いて講義をし、午後は池の里市民交流センターにおける自然体験学習室の活動に参加して、地域ボランティアおよび子どもたちと接して、必要な知識・技術を習得する。9月と12月に予定している子ども教室において、自分たちで企画した環境学習プログラムを実施する。他の半分（月1回）は、学外の流域連携イベントに参加し、流域問題について学習する。特に、天若湖アートプロジェクトを中心に、淀川水系での流域連携を行う。学外発表の場として、近畿水環境交流会（7月）、天若湖アートプロジェクト（8月）、いい川・いい川づくりワークショップ（9-11月）を予定し、各活動段階における成果発表を行い、自己評価および外部評価を受けることで活動内容を振り返り、次の活動に向けてステップアップを図る。作業の実施に当たっては、理工学部都市環境工学科生態環境学研究室、および文化会エコシビル部の協力を得る。天若湖アートプロジェクト実行委員会より外部講師を招き、事前学習を行う。また、本学園OBである、大阪理化学株式会社社長、前田富久見氏の指導も受ける予定である。授業および活動スケジュールは、学校行事等の関係で受講者と相談の上、変更することがある。

事前事後学習課題：内容ごとに参考資料を配布するので、熟読しておくこと。また、前期・後期末にレポートを作成し、年度末にプレゼンテーションを課す。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に積極的に参加し、水辺環境の再生および流域連携活動に加わること。（60%）
水辺再生・流域連携の意義を正しく理解し、それを他者に伝えられること。（40%）

教材等

教科書…特になし

参考書…特になし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

橋本 正治 (ハシモト マサハル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト

概要・目的：グリーンエネルギーを利用した過疎地域自立活性化に利用出来るマイクロ水力発電装置や太陽光利用温水設備などを過疎地域（和歌山県すさみ町）の住民・行政に提案し、試作した装置の稼働実験を行い、過疎地域における生活環境の改善について評価を行う（継続テーマ）。本年度はこれまでの活動で得た成果をもとに災害時にも対応できる生活支援装置・設備（移設可能なトイレや厨房設備）の開発を行う。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部 [II]

授業方法と留意点

学内活動：通年 週1回程度ミーティングを行いグループごとに活動内容を報告する

現地での活動に向けて装置（ボイラやバーナーなど）や電気機器（ソーラー照明）の製作

現地活動：年5回程度 週末および夏期休業期間など

基本的にバスで移動のため交通費不要。食費のみ必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業計画：

4月：テーマの情報共有（昨年度までの成果の説明）と本年度の目的に沿った開発プロジェクトのテーマ設定

5月：現地調査とテーマの修正と具体的な開発設備・機器の決定

大学にて概念設計、詳細設計、工程設計、必要素材の調達、加工を行う。

- 大型装置・設備については現地で加工組み立て
- 7月：現地で加工、施工、組み立て開始
- 8月：装置・設備の完成
 - 試作装置・設備による実験評価
- 9月：実験結果の考察と改良
 - 改良した装置について評価実験・考察
- 11月：現地あるいは大学で再実験
 - 実験結果の考察と改良
- 2月3月：最終実地評価と報告

評価方法・評価基準

活動への参加が最低限の条件となる
活動状況、活動結果、プレゼンなどで評価する

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based LearningⅠ

一色美博(イツシキ ヨシヒロ)
小川直樹(オガワ ナオキ)
丸山隆三(マルヤマ リュウゾウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的]

ミニ鉄道プロジェクトとして、レール幅3.5、5インチのミニ鉄道を製作し、運転会などの運営を行う。蒸気機関車、電気機関車や客車の製作に加えて、軌道、鉄橋、駅舎なども製作し、イベント会場や小学校などで運転会を催す。また、運転会では製作過程や駆動原理などの展示も加え、参加者のものづくりへの関心を高める。

[到達目標]

蒸気機関車や鉄道施設などの製作を通して、ものづくりの技術を能動的に習得する。

学科の学習・教育到達目標との対応：工学部[A], 理工学部 [II]

授業方法と留意点

週1回のミーティングでプロジェクトの企画、運営、製作についての計画や進捗状況の報告を行います。加えて、皆さんが決定する時間割にしたがってテクノセンターで製作や技術の習得を行います。

この科目では、能動的に活動できる能力を培うことが大きな狙いです。与えられた課題に対して全貌を把握した上で計画を作り、その計画を確実に実行する姿勢を学んでください。与えられた環境、条件のもとで、工夫して自律的に課題を達成できる能力は社会人として必須の力です。この授業で「指示待ち」から「自ら行動する」姿勢を学んでください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

本年度はレール幅5インチの蒸気機関車の製作を継続するとともに運行イベントの企画・運営を行う。

1. 教員の指導の下に目標と計画を作る。
2. 計画に従って、技術指導を受けながら蒸気機関車、鉄道施設を製作する。
3. 計画からの遅れには対策を講じる。
4. 製作時に利用する金属材料、工作機械、工作方法などについては図書館で調べ知識を確かなものとする。
5. 運行イベントの企画・運営を計画し、実施する。
6. 計画、進捗状況、調査結果等をミーティングで報告する。

評価方法・評価基準

プロジェクトの実施計画や進捗状況の把握程度、プロジェクト推進に対する貢献度および製作技術習得時の能動的態度について、ミーティングでの報告や作業時の態度で評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based LearningⅠ

浅野英一(アサノ エイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

①調査：地域で予定されているプロジェクトを調査し、実現可能を探る。

- ②企画：具体案を立て、評価（実現可能性、コスト、実施期間、有効性）を行い、詳細な実施計画を立てる。
 - ③関連する団体に企画をプレゼンテーションし、プロジェクトの妥当性を評価する。
 - ④実施：実施計画に従いプロジェクトを実施する。途中に実施状況を関連機関に報告し計画の修正を行う
 - ⑤結果報告：プロジェクトの終了時に関連機関に実施結果と次年度以降でのプロジェクトの展開について報告を行う。
- 学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

プロジェクトの実施地は、和歌山県西牟婁郡すさみ町です。活動にかかる交通手段は、バスを大学でチャーターして移動します。宿泊は、摂南大学すさみ町活動拠点（廃校になった小学校の校舎）を使うため宿泊費用は発生しません。プロジェクト実施については、調査状況に基づき事前に学内で協議して現地活動を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

すさみ町の過疎地域活性について、①農業分野のキャベツ・プロジェクト、②畜産分野のイノブタソーセージ・プロジェクト、③観光分野の自然体験学習型キャンプの3つを同時に行います。

評価方法・評価基準

レポート、参加態度を総合的に評価する。

教材等

教科書…特に無し。
参考書…特に無し。

備考

履修登録をする前に、必ず、活動内容を問い合わせ、相談してから履修して下さい。問い合わせ・相談をせずに履修登録をした場合、登録を取り消すことがありますので注意してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based LearningⅠ

黒澤敏朗(クロザワ トシロウ)
山本圭三(ヤマモト ケイゾウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

目的：「交野市の活性化」のプランを創ります。

概要：休耕田を利用した「そば」栽培の体験などをもとに、交野市の特産品を企画・提案します。

到達目標：独自の計画案作成のプロセスを通じて、多くの人々とのコミュニケーションや、各自のもつ知識の活用ができるようになることです。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部 [II]

授業方法と留意点

1. 連携先の関係者・グループとの意見交換を通じて、課題を明確にします。
2. 交野市の住民へのヒアリングとアンケート調査を行います。
3. 他の地域の活性化プロジェクトの現状を調査します。
4. 独自の特産品を企画し、イベントなどで試作したものを公開し、市民からの評価を受けます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1. 集団意思決定のための技術の習得
 - KJ法をはじめとする各種の意思決定、創造性開発の技法の演習を授業期間中に学内で行います。
2. アンケート調査の方法の習得
 - 経営情報学科で開講する「市場調査」に関わる科目を受講します（他学科の学生も同様）。
3. 農産品とその加工、販売方法（6次産業化）に関する知識の習得
 - 夏休みを利用して、先進的な地域・プロジェクトの見学を行い、知識の拡大を図ります。
4. 地域特産品に関する知識・情報の収集
 - 先進的な地域の特産品の調査を行います。

評価方法・評価基準

グループ作業が中心となるため、個人ごとの評価は簡単ではありませんが、諸活動への「参加度（回数、活動意欲、結果への貢献度、など）」をもとに評価します。

教材等

教科書…とくに指定しません。
参考書…入門書として役立つ、新書などを紹介します。

備考

毎週金曜日に定例のミーティングを行います。テーマの性質上、それ以外にも土曜日と日曜日の数日を使用して活動します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

久保 貞也 (クボ サダヤ)
針尾 大嗣 (ハリオ ダイジ)
牧野 幸志 (マキノ コウシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

大学との関係がある自治体、公的団体に直接出向き、自分の感覚を使って地域を感じとる。
地域について見聞きし、調べ、そこで行われている活動を通じて、その地域が抱える課題やチャンスを見出す。そして、その課題解決へのチャレンジやチャンスを活かして地域と自分が共に発展する活動について考える。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]、理工学部 [II]

授業方法と留意点

「地域に行く」

摂南大学の卒業生が勤務している自治体や、連携協定を結んでいる自治体・公的団体への見学会を行い、魅力ある地域資源や取り組みなどを体験的に学ぶ。また、複数の地域を訪れることで、地域間の差異や共通部分の存在を実感する。

「地域を知る」

関連団体から講演者を招き、地域社会における課題や解決に向けた取り組みの実態を知る。また、地域で開催されているイベントへの参加や自主的な調査活動を通じて、地域の現状について理解を深める。

「地域と自分について考える」

このプロジェクトで気づいた課題と発見したり創りだしたチャンスを活かして、学生主体の取り組みを提案する。地域の中で学生が貢献できる役割を見つけたら、学生が地域の中で有益な学びが行える場を創りだすことを目指す。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：地域×3+自分

－「地域」に行き、「地域」を知り、そして、「地域」と「自分」について考える－

内容：

- (1) 大阪府内、京都府内、滋賀県内などの市町村への訪問
- (2) 地域ブランドや特産品の収集
- (3) 自治体の地域活性化担当者による講演
- (4) 地域のNPOやボランティア団体、起業家などによる講演
- (5) 地域イベントへの参加（春、夏、秋、冬を通じて行う）
- (6) 地域イベントの企画（学生主体の企画・運営の提案、新規イベントの創出）
- (7) 地域と学生との関わりについての分析・考察
- (8) 今後に向けての企画・提案

方法：月2、3回程度、平日の午後以降に行う（授業時間の空きで調整）。また、その他に講演会や見学会などを年2、3回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設などである。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし

参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

地域の実践的な課題解決を目指すため、各学部のさまざまな知識と意欲ある学生の参加を求めています。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

佐井 英子 (サイ ヒデコ)
栢木 紀哉 (カヤキ ノリヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

摂南大学近隣の小学生を対象に、北大阪商工会議所青年部と共同で、「子供株式会社プロジェクト」を実施する。このプロジェクトでは、子供達が、起業・会社経営の体験を通じて社会や経済・経営の仕組みを学ぶことを目的としているが、同時に学生も小学生の指導を通して、自ら考え、解決する能力、すなわち、マネジメント能力、コミュニケーション能力、指導力、行動力、協調性、責任感や市役所や商工会議所等との折衝力及び交渉力の実践力を培うことを目標とする。

授業方法と留意点

北大阪商工会議所青年部との共同により、交野市、寝屋川市、枚方市の小学生を対象に子供株式会社を設立し、商工会議所のイベントに参加する。主に小学生に対する指導は学生が担当し、実践のためのイベントの会場提供・設定等は、商工会議所が主体となるが、小学生への指導等、一部の作業は学生が責任をもって担当するので、セミナーやイベントには、必ず出席すること。また、実際の経営、生産の現場を体感するために、上記3市の会社見学会を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：子供株式会社の設立と経営

内容：

I 経営、マネジメント、経営戦術、会計等に関する基礎的な知識を学ぶ。

II 実際の経営、生産の現場を体感するために、会社見学会を実施する。

III 小学生に指導する。

1. 小学生と友達になろう
2. 株式会社って何だろう
3. 株式会社をつくろう
4. 商売って何だろう。儲けてなんだろう
5. 経営計画をたてよう
6. マーケティングをしよう
7. 商品企画書の作成しよう
8. 銀行にお金を借りよう
9. 実際に販売してみよう
10. 帳簿をつけて決算書をつくろう
11. 税金を納めよう
12. 決算書を作成しよう
13. 経営報告会をしよう。どの会社が一番儲かったのかな。

講義方法：子供達に指導する前に、まず自分たちで上記のテーマを演習形式で学習し、その後グループに分かれ小学生に対して指導する。

事前事後学習課題：上記テーマ、イベントの結果報告等レポートを作成、提出する。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に必ず参加すること。

会社の設立、経営、決算報告等の一連のプロセスを理解し、小学生に対してきちんと説明できる知識を修得すること。

小学生が理解できるような説明、会話ができるプレゼン能力を修得すること

日常接することのない保護者の方や商工会議所青年部の会員の方々とも協同することにより社交性、協調性を修得することができたかを評価します。

教材等

教科書…特になし

参考書…必要に応じて適宜指定します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

八木 紀一郎 (ヤギ キイチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

北河内における近郊ツーリズムの開発－交野のみのを関西のふるさとにしよう

狩り暮し棚機津女に宿借らむ天の川原に我は来にけり 在原業平

またや見む交野のみのの桜狩り花の雪散る春のあけぼの 藤原俊成

観光地のイメージの希薄な北河内地域でも、生駒山系の西部山麓に位置する交野市は、緑豊かな森林と古墳時代に遡る史跡をもつ地域である。同市から現在の枚方・香里園みいたる丘陵は、「交野が原」「交野のみ野」とよばれる古来からの禁猟地で、平安時代の大宮人が風情を訪ねる地域であった。この授業では、交野市の行政・NGO・住民と協力し、この地域の観光資源を調査・開発して関西人の近郊ツーリズム（日帰りないし1泊）の対象地として盛り上げる。

学生にとっての到達目標：観光企画の基本を学ぶとともに、現地の人・組織と協力して企画をたて実践する実行力を身につける。

授業方法と留意点

*交野市の行政・商工団体・観光協会・「おりひめ大学」と連携して、同市周辺の観光資源を調査し、それを活用したツアーの企画、観光宣伝媒体の作成、イベントへの協力にあたる。

*参加者は、同市の市民学習会である「おりひめ大学」の学生とみなされ、同市の住民・関係者と協働することになる。最小限の礼儀と責任感をもって参加してください。

*参加者は協働作業用のネットワークに加わるとともに、各自

PBL用の専用ファイルで資料と活動成果を保存してください。
 * イベント時に、観光ニーズをさぐるためのアンケートを実施します。
 * 週1回は打ち合わせ会をおこないます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
 5月連休時 第1回交野合宿(1泊2日) 現地調査、班編成、協力者との調整
 6月 企画スケジュールの決定 交野市・北河内・エコツアーの勉強会
 7月 枚方市・交野市の七夕祭りに参加・協力
 8月 天の川星まつり協力、アンケート実施
 9-11月 秋の近郊ツーリズム企画
 観光絵葉書、ポスター、パンフレット作成
 12月 かたのキャンパスなどのイベントに協力
 1-2月 学内最終発表会
 学外コンペ参加
 担当者のホームページhttp://www.setsunan.ac.jp/~k-yagi/99_blank005.htmlを参照してください。

評価方法・評価基準
 活動への実質的参加を前提にした地域と観光への認識の深まり、活動におけるリーダーシップ、協調性、創意工夫、責任感(6割)、年度末の総括レポート(4割)

教材等
教科書…安藤明之『初めてでもできる社会調査・アンケート調査とデータ解析(第2版)』日本評論社、本体2500円+税 ISBB978-4-535-58623-1

教養特別講義 I ~ V 「摂南大学PBLプロジェクトI」
 Project Based Learning!

富岡直美(トミオカ ナオミ)
 水野武(ミズノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- 授業概要： 様々な人との交流を通して自らを取り巻く社会についての理解を深め、課題を発見し、解決策を考える。また、自主的に活動をし、実際に社会貢献をすることで、自律的職業人を目指す。
- 目的： 社会で活躍できる人になるために、社会貢献活動を通して自分自身をより理解するとともに、新たな可能性を見出す。
- 到達目標： 役割意識や自己効力感を育むために、仲間と協働しながら社会に貢献する喜びを体験する。
 学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部 [II]

授業方法と留意点

- ① 絵本や紙芝居について学ぶ。(外部講師)
- ② 読み聞かせや紙芝居を練習する。
- ③ 社会と接するためのマナーについて学ぶ。
- ④ 学生同士のピアラーニング。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- テーマ： 紙芝居ボランティアを通じた社会貢献
- 内容： 寝屋川市の子供たちが抱える課題を解決するための紙芝居を作成し小学校で上演活動をする。寝屋川市内の小学校を訪問し、課題の聞き取り調査や紙芝居の読み聞かせ活動を実施する。
- 方法： (毎週1回ミーティング、および適宜、小学校での読み聞かせ活動)
 1. 昨年度からの紙芝居の読み聞かせ活動を継続させる。
 2. 昨年度からの紙芝居を広めるための営業活動をする。
 3. 新規紙芝居の作製にむけ、調査、企画、作成、営業などを行う。
 4. 自らの活動振り返りを行い、改善する。
 5. 仮想企業を立ち上げ、見積書などを外部団体に評価いただくことで、本活動の社会的価値を計る。
 他に、地域や企業様とのコラボレーション、新たな商品開発など、参加学生のアイデアを取り入れ、様々な社会貢献の方法を模索します。

評価方法・評価基準

参加態度・貢献度合(50%)、役割遂行度合(30%)、報告書(20%)による総合評価

教材等

参考書…余郷裕次(2010)『絵本のひみつ』南日本新聞社

備考

- 活動は、役割を分担し自主的に運営するため、学部に関係なくそれぞれの得意分野を発揮できる。
- 絵本や紙芝居について(構成、読み聞かせなど)、専門的な知識を身につけることができるため、表現力(プレゼン能力)の向上が期待される。

教養特別講義 I ~ V 「身近な犯罪から自分、家族、まちを守る」
 No Name

中 沼 文 晃(ナカヌマ タケアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

私は、地域における防犯を研究し、自分自身も、研究室の学生とともに、青パト(青色回転灯をつけた自主防犯パトロールカー)で毎日、子どもの見守り活動を行っている。そうした研究者として、普段一番接する学生に、犯罪の実態を知ってもらい、少しの注意と手間で犯罪から身を守ることをわかってほしくて、この講義を開講することとした。加えて、それほど気負わなくても、防犯ボランティアとして社会貢献できる方法があることも紹介したいと考えている。

授業方法と留意点

とにかく実際の事件を取り上げて、加害者の視点、被害者の視野、発生した場所・時間の特徴、警察や行政、学校、ボランティアの動きを具体的に説明する。そして、いま推奨されている防犯対策を紹介する。警察の防犯実務者や、活躍する防犯ボランティア団体の世話役の方をお招きしたインタビュー講義も交えていく。

科目学習の効果(資格)

各自が自分で、家庭で防犯対策をして、犯罪から身を守るようになってもらうのが第一である。防犯ボランティア参加の動機づけにもなるだろう。職業では、当然、警察官の仕事の視点がわかる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】** 昨年起きた犯罪はどのような特徴があったのか?
【内容・方法等】 昨年起きた具体的な犯罪例を取り上げて、どのような人・物が、どういう理由でねらわれているのか探る。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第2回 【授業テーマ】** 犯罪にはどのような種類があり、どうやって数えるのか?
【内容・方法等】 刑法上は同じ窃盗でも、ひったくり、自転車盗、車上ねらいなどさまざまな手口がある。1件の窃盗でも、起きた数、警察に届けられた数、検挙された数がある。こうした手口の分け方や数の数え方を説明する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第3回 【授業テーマ】** 犯罪はなぜ起こるのか? どうやって減らすのか?
【内容・方法等】 悪い人がいるから犯罪が起こるのか、すきがある人がいるから犯罪が起こるのか、犯罪が起きやすい場所・時間があるから犯罪が起こるのか、それぞれの理屈を確かめてみる。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第4回 【授業テーマ】** 大阪の治安はどのくらい悪いのか? どのように防犯対策を進めているのか?
【内容・方法等】 大阪府は、他の都道府県に比べてどのような犯罪が多いのか、人口の多さを考慮するとどうなのか説明する。「オール大阪」で街頭犯罪ワースト1を返上する取り組みを紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第5回 【授業テーマ】** 街頭犯罪ーひったくり、自転車盗、車上・部品ねらいを中心に
【内容・方法等】 一番身近な街頭犯罪について、どういう人・物が、どういった状況でねらわれているのか、どういう人が犯罪を行っているのか説明する。ついて、ひったくり防止カバー、シリンダー錠などの防犯対策の効果について紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第6回 【授業テーマ】** 住宅への空き巣、忍び込み、居空き
【内容・方法等】 泥棒は、空き巣に入る家をどのように物色し、どうやって侵入し、何を盗んでいくのか解説する。最近の防犯住宅、防犯マンションの取り組みを紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第7回 【授業テーマ】** 性犯罪ー街頭での強制わいせつ、痴漢、公然わいせつ

教
 養
 科
 目

- 【内容・方法 等】** 大阪府は性犯罪が深刻な自治体である。犯罪者は、どんな人・場所をねらって性犯罪に及ぶのか説明する。女性の学生が今日からすべき防犯対策を紹介する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。
- 第8回 【授業テーマ】** 子どもをねらった犯罪
【内容・方法 等】 子どもに対する犯罪について、過去に大きな社会問題になった殺傷事件から、日常的に起きているわいせつ、声かけ、つきまといまで、実態を具体的に説明する。そして、子どもの安全を守るために各地で行われている取り組みを紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。
- 第9回 【授業テーマ】** ストーカー、DV（配偶者からの暴力）
【内容・方法 等】 ストーカーやDVは、個人間の問題に関わるので、対応の判断が難しい。しかし、大きな事件につながれば、対応の遅さ、まずさが批判されやすい。過去の事件の経緯を紹介して、深刻な問題への展開を防ぐために現在行われている対策を説明する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。
- 第10回 【授業テーマ】** 詐欺ー高齢者をねらった振り込め、オレオレ、リフォーム詐欺など
【内容・方法 等】 昨年、急激に増え、手口が次々と変わる高齢者をねらった詐欺を取り上げる。背景にどのような組織があるのか、どうして防犯が難しいのか、実例に即して説明する。若い私たちにできる協力も紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。
- 第11回 【授業テーマ】** サイバー犯罪ー子どもや学生が巻き込まれるネット犯罪
【内容・方法 等】 子どもが巻き込まれる出会い系サイトやネットゲームでのなりすまし、大学生も被害を受けている偽サイトでのショッピング詐欺、ネットバンクでのID、パスワード盗難など、身近なサイバー犯罪を取り上げる。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。
- 第12回 【授業テーマ】** 違法ドラッグの実態と対策
【内容・方法 等】 違法ドラッグについて、その危険性、販売の実態、取締の方法を紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。
- 第13回 【授業テーマ】** 防犯カメラの普及と効果
【内容・方法 等】 急速に普及した防犯カメラについて、普及の背景と経緯、技術の進歩、個人情報・プライバシーとの関係、防犯効果の考え方を説明する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。
- 第14回 【授業テーマ】** 防犯ボランティアの活動
【内容・方法 等】 近年の犯罪対策の最大の特徴は、民間のボランティア団体の活性化である。地域での子ども見守り隊、青パト活動、学生防犯ボランティアなど、最近の各地、各世代の防犯ボランティアの活動を紹介します。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。
- 第15回 【授業テーマ】** 警察官の仕事の実態
【内容・方法 等】 犯罪が起これば捜査し検挙する。犯罪が起きないように市民や企業に防犯をうながす。それを職業とする警察官の仕事の実際を紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。
- 評価方法（基準）**
 定期試験60%、講義毎回の確認ペーパー30%、受講態度（投げかける質問に対する発言など）10%で総合的に評価する。
- 教材等**
教科書…指定しない。
参考書…講義で紹介する。
- 学生へのメッセージ**
 勉強以前に、自分、家族、まちを身近な犯罪から守るために、ぜひこの講義を受講してほしいと願っている。そして、できることからでよいので、講義で知った防犯対策をしてもらいたい。警察官志望者には、近年、警察でも人気の仕事になりつつある防犯の実務がわかるという意味で、興味を持ってもらえらると思う。
- 関連科目**
 法学部「刑事政策」「経済刑法」「少年法」

担当者の研究室等
 11号館9階 中沼研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「英語での数学活用例」				
No Name				
戸村 芳 (トムラ カオル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 自然科学も社会科学も言語で記述して推論します。数学も人工言語です。数学言語表記は英語と日本語の両方の特徴を備えています。このことを知り、数学嫌いからの脱出を目的とします。テキストと講義担当者の発信内容の概略を理解できることを到達目標とします。

授業方法と留意点
 非native speaker of Englishの担当者の英語会話と日本語で授業します。英語会話部分については、その内容を活字にして配布または投影します。担当者を受講者のやりとりとして、毎回提出物（非テスト）を書いてもらい次週には朱筆でひとりひとりに応答します。この返却物も保管しておいて定期試験で持参参照してください。

科目学習の効果（資格）
 文理両方の多くの資格の活用で効果があると信じます。資格を伴わない、これからの（国際的）社会活動で、大学以前の数学、英語学力も効果大であると実感していただけると存じます。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】** 言語（英語、日本語）と数学表示
 $(2+3) \times 4$ と $2 \uparrow (二)$ $3 + (タシテ)$ $4 \times (カケル)$ など
【内容・方法 等】 テキストp1 - p9 14
【事前・事後学習課題】 Appendix p122 1 つめから 11 こめまでの問題を考えておいてください。
- 第2回 【授業テーマ】** 数学はつじつまあわせ（指数計算の例、 $\exp(x)$ の定義など）
【内容・方法 等】 テキストp9 15 - p16 13、pp110,118
【事前・事後学習課題】 Appendix p122 12 こめから p123 5 こめまでの問題を考えておいてください。
- 第3回 【授業テーマ】** 中途半端なネイピア定数eを知らば数学はこわくない
 逆関数 $1/x$ から e など
【内容・方法 等】 テキストp16 14 - p25、pp110,118
【事前・事後学習課題】 Appendix p123 6 こめから p124 4 つめまでの問題を考えておいてください。
- 第4回 【授業テーマ】** 統計、確率、感性（心理学）、電子雲グラフ、など
【内容・方法 等】 テキストp26 - p36 17
【事前・事後学習課題】 Appendix p124 5 つめから 126 1 つめまでの問題を考えておいてください。
- 第5回 【授業テーマ】** 測れない母集団平均の信頼区間推定
【内容・方法 等】 テキストp36 118 - p40 19
【事前・事後学習課題】 Appendix p126 2 つめから 7 つめの問題を考えておいてください。
- 第6回 【授業テーマ】** 分子、DNA、モルルス信号のシステムなどのエントロピーという概念
【内容・方法 等】 テキストp40 110-p54
【事前・事後学習課題】 Appendix p126 8 つめから p129 3 つめまでの問題を考えておいてください。
- 第7回 【授業テーマ】** つるかめ算の延長でpH計算など
【内容・方法 等】 テキストp55-p64 110
【事前・事後学習課題】 Appendix p129 4 つめから p130 8 つめまでの問題を考えておいてください。
- 第8回 【授業テーマ】** 1700年ごろの日本人の業績 行列計算で直接測定できないKaの推定、混成軌道の作成で分子の説明
【内容・方法 等】 テキストp64 111 - p69
【事前・事後学習課題】 Appendix p130 9 つめから p131 7 つめまでの問題を考えておいてください。
- 第9回 【授業テーマ】** 人体の数学モデル pH分配説、あてはめ式の有意確率など
【内容・方法 等】 テキストp70 - p84
【事前・事後学習課題】 Appendix p131 8 つめから p133 5 つめまでの問題を考えておいてください。
- 第10回 【授業テーマ】** みえない化学反応説明の数学モデル
【内容・方法 等】 テキストp85 - p91 115
【事前・事後学習課題】 Appendix p123 6 つめから p134 7 つめまでの問題を考えておいてください。
- 第11回 【授業テーマ】** 測定値のグラフでの表示（直線表示）、物質収支式で人体モデル
【内容・方法 等】 テキストp91 116 - p98
【事前・事後学習課題】 Appendix p134 8 つめから p135 9 つめまでの問題を考えておいてください。

- 第12回** 【授業テーマ】 現象（反応速度）記述の連立微分方程式の近似解法（解の先取り）
 【内容・方法等】 テキストp99 - p106
 【事前・事後学習課題】 Appendix p135 10 こめから p136 6 つめまでの問題を考えておいてください
- 第13回** 【授業テーマ】 量子化学Shoredinger微分方程式のラプラス変換による簡単な代数的な解法の紹介
 【内容・方法等】 テキストp107 - p112 / 1
 【事前・事後学習課題】 Appendix p136 7 つめから p137 8 つめまでの問題を考えておいてください
- 第14回** 【授業テーマ】 人体モデル（コンパートメントモデル）での薬物投与に対する血中薬物濃度変化の推定のラプラス変換での簡単な代数的解法の紹介
 【内容・方法等】 テキストp112 / 2 - p116 / 1
 【事前・事後学習課題】 Appendix p137 9 つめから p138 4 つめまでの問題を考えておいてください
- 第15回** 【授業テーマ】 拡散のノイエスホイトニー式、点滴投与での血中濃度変化のラプラス変換での簡単な代数的解法の紹介
 $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ knows best の種明かし
 【内容・方法等】 テキストp116 / 2 - p121
 【事前・事後学習課題】 Appendix p138 5 つめ以降の問題をを考えておいてください

評価方法（基準）

毎回の提出物の評価点合計を70点満点、テキストと返却された自分の提出物参照許可の定期試験を30点満点として、合計60点以上を合格とします。定期試験不受験は成績評価できません。

教材等

教科書…Mathematical models & Pharmaceutical Sciences
 $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ knows best,
 Kaoru Tomura, Ph.D. in Eng. (Osaka Univ.), 戸村芳草著
 Industrial Publishing & Consulting Inc.,
 ISBN 978-4-901493-62-8 (-13-0), ¥1200

参考書…指定はありませんが、配布プリントも活用してください。

学生へのメッセージ

これまでに修得なさった、数学、英語については、生理的に嫌悪なさる方もいるかと思えます。これらを違った観点から眺めて数学、英語は大切であることを感じてください。私は英語の専門ではありません。お詫びします。しかし、義務教育の英語だけで多くの方が英語で発言しています。私もできます。みなさんもできます。良い意味で（大学らしい）楽しい授業にしたいと存じます。よろしくお祈りします。

関連科目

あつかう分野は「物理化学」関連が多いですが、感性心理学などの関連も紹介します。

担当者の研究室等

枚方学舎 1号館2階 phone:072-866-3152
 tomura@pharm.setsunan.ac.jp

備考

授業方法と留意点に記載した提出・返却物による、やりとり、を大切にします。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部 [II]

授業方法と留意点

授業の曜日時間は決まっていますが、どの日に何が取り上げられるかは、未定です。詳細については、前期中に発表します。鑑賞に行く際にかかる費用については、履修生の自己負担になります。(無料の音楽会等についての情報提供をする予定です。)

科目学習の効果（資格）

芸術を鑑賞し、人間性の涵養につながる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション
 【内容・方法等】 この授業の進め方、スケジュール、評価方法についての説明
 【事前・事後学習課題】 【事後学習】「これまでの芸術鑑賞経験」をまとめて提出してもらいます。
- 第2回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(1)
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第3回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(2)
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第4回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(3)
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第5回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(4)
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第6回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(5)
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第7回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(6)
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第8回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(7)
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第9回** 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験①
 【内容・方法等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
 鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
 鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。

教養特別講義 I ~ V 「芸術の鑑賞」				
No Name				
太田 義器 (オオタ ヨシキ)				
樋口 友紀 (ヒグチ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】
 音楽、絵画、彫刻、陶芸、詩歌。芸術と言っても、その範囲は広い。「芸術とは何か」と大上段から議論をするのではなく、芸術に親しむことを目指して、さまざまな芸術ジャンルの鑑賞の仕方をそれぞれのジャンルのプロに教えてもらい、また実際に、クラシック音楽、絵画、陶芸、日本の伝統芸能、演劇、書道などの演奏会や展覧会などに行って鑑賞してもらおう。

これまで芸術鑑賞に関心はあったけれども経験はないという人でも、芸術鑑賞を始められるように、芸術の楽しみ方について、初級レベルから説明します。たとえば、演奏会のチケットはどこで手に入ればいいのか、行くときの服装はどうしたらいいのか、など経験のない人が感じる不安や疑問など、あるいはそれぞれの芸術ジャンルの楽しみ方のポイントは何か、などについてわかりやすくお話いただきます。

教室での授業は8回、鑑賞は3回。

【目的】
 芸術の鑑賞を通じた人間性の陶冶

【到達目標】
 芸術を鑑賞できるようになる

- 第10回** 【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
【授業テーマ】 芸術鑑賞体験①
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
第11回 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験②
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
第12回 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験③
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
第13回 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験④
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
第14回 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験⑤
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 この授業を通して学んだことについて情報交換をします。
【事前・事後学習課題】 【事前学習】「芸術鑑賞を体験して」というテーマで、授業全体の振り返りを報告してもらいますので、その準備をしてきてください。

評価方法（基準）

鑑賞には3回行ってもらいます。
レポート(100%)で評価します。

教材等

教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ

2014年度から始まる新しい授業です。
ぜひ楽しみに来ててください。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

太田(7号館4階)
樋口(11号館7階)

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「チームビルディング」

No Name

水野 武 (ミスノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

成熟社会においては個人の力を集合させてプロジェクトを作り上げる「チームビルディングの思考や技術」を学ぶことが重要です。
本科目はチームビルディングの理論を学び、様々なアクティビティを通してチームに貢献する方法を考えられるようになるた

めの授業です。

2回生以降に摂南大学PBLプロジェクトを履修する際にも役立ちます。

授業方法と留意点

講義は受講生によるアクティビティ・プレゼンテーション・シミュレーションソフトを活用したワークなどを織り交ぜて進めます。

科目学習の効果（資格）

チームで物事を進める際の基礎知識が身につきます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 ・講義の進め方
 ・なぜチームが必要なのかを知る
 ・チームビルディングとは何かを理解する
【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを精読してください
第2回 【授業テーマ】 チームビルディングとは何か
【内容・方法 等】 ・第一回チーム分けとアクティビティ
 ・チームビルディングの理論を学ぶ
 ・チームビルディングのための技術を知る
【事前・事後学習課題】 チームにどのように貢献できるかを考えてください
第3回 【授業テーマ】 チームビルディング体験
【内容・方法 等】 ・ペーパータワーワーク（予定）
 ・チームの10カ条
 などに取り組み、チームビルディングを体験する
【事前・事後学習課題】 チームでの取り組みを振り返ってください
第4回 【授業テーマ】 シミュレーションソフトを活用したディスカッション①
【内容・方法 等】 シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読してください
第5回 【授業テーマ】 シミュレーションソフトを活用したディスカッション②
【内容・方法 等】 シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読してください
第6回 【授業テーマ】 シミュレーションソフトを活用したディスカッション③
【内容・方法 等】 シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読してください
第7回 【授業テーマ】 ビジネス記事を活用したディスカッション①
【内容・方法 等】 記事を活用して情報の読み取りと活用、自分ならどうするかを考える
【事前・事後学習課題】 チームでのディスカッションを振り返ってください
第8回 【授業テーマ】 ビジネス記事を活用したディスカッション②
【内容・方法 等】 記事を活用して情報の読み取りと活用、自分ならどうするかを考える
【事前・事後学習課題】 チームでのディスカッションを振り返ってください
第9回 【授業テーマ】 チームでプロジェクトを企画する
【内容・方法 等】 ・第二回チーム分けとアクティビティ
 ・チームでプロジェクトを企画する
【事前・事後学習課題】 チームにどのように貢献できるかを考えてください
第10回 【授業テーマ】 摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【内容・方法 等】 本学で開講されている摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【事前・事後学習課題】 興味を持ったプロジェクトについて調べてください
第11回 【授業テーマ】 摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【内容・方法 等】 本学で開講されている摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【事前・事後学習課題】 興味を持ったプロジェクトについて調べてください
第12回 【授業テーマ】 工程管理を意識したチームビルディング
【内容・方法 等】 ビジネスゲームを題材にリソースとコスト、工程管理を意識したワークに取り組む
【事前・事後学習課題】 工程管理に関して調べて下さい
第13回 【授業テーマ】 プロジェクトのプレゼンテーション
【内容・方法 等】 第9回目の課題の報告プレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの際に留意することを考えて下さい
第14回 【授業テーマ】 チーム力を上げる
【内容・方法 等】 ・メンバーの力でチーム全体の力を上げる方法を考える
【事前・事後学習課題】 講義後日常生活で活かそうな箇所を実践してください
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめと振り返り
【内容・方法 等】 講義のおさらいと振り返りを行う
【事前・事後学習課題】 提出物などの出し忘れがないか確認してください

評価方法 (基準)

チームでの提出物30%、ワーク後の振り返りシート20%、授業態度20%、最終レポート30%で総合的に評価します。

教材等

教科書…教科書…講義の中で必要に応じてレジュメを配布します。

参考書…参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

ワークやアクティビティが中心となる授業です。主体性を持って講義に挑んでください。

関連科目

キャリアデザインⅠ・Ⅱ、摂南大学PBLプロジェクト

担当者の研究室等

7号館3階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくりインターンシップ基礎」
No Name

伊 藤 譲 (イトウ ユズル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

これから就職活動を始める学生(大学3年)を対象に、社会人として必要とされる規律やマナー、製造業など企業で働く上での基礎知識、課題を発見して解決する方法などを習得することを目的とする。履修後には、社会人・企業人としての役割および責任、仕事への情熱、創造的態度、自己の能力向上意欲が喚起されることを期待する。到達目標は、次のとおりである。

(1)社会人としてのマナーを身につける。(2)仕事の基本に関する知識を修得する。(3)環境問題/意識についての体験をする。(4)企業における品質問題を体験する。(5)原価管理の基礎知識を修得する。(6)PDCAサイクルによる課題解決を体験する。

学科の学習・教育目標との対応:

授業方法と留意点

パナソニック(株)より講師を招き、社会人・企業人としての基礎である知識と心がまえについて、パナソニック(株)の新入社員研修の方式に従い、講義に加えて具体事例演習を通じて体得させる。摂大教員も教室に常駐し、授業の補助と成績評価を分担する。授業は挨拶に始まり、挨拶で終わるので遅刻は厳禁です。なお、1～5回目までは120分授業(途中5分程度の休憩)とする。

科目学習の効果(資格)

社会が学生に何を求めているのかを体得し、職業意識を高め、自発的に能力向上を行えるようになる。就職後ただちに、社会人・企業人としての適切な行動が取れるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは①
4月10日(木)
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事に基本①の講義終了後、レポートを提出のこと(書式は別途)
- 第2回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは②
4月17日(木)
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 ---
- 第3回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは③
4月24日(木)
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本②～③の講義終了後、レポートを提出のこと(書式は別途)
- 第4回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは④
5月8日(木)
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 ---
- 第5回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは⑤
5月15日(木)
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本④～⑤の講義終了後、レポートを提出のこと(書式は別途)
- 第6回 【授業テーマ】 品質教育①

- 5月22日(木)
【内容・方法等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する(座学と実習)
【事前・事後学習課題】 ---
 - 第7回 【授業テーマ】 品質教育②
5月29日(木)
【内容・方法等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する(座学と実習)
【事前・事後学習課題】 ---
 - 第8回 【授業テーマ】 品質教育③
6月5日(木)
【内容・方法等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する(座学と実習)
【事前・事後学習課題】 品質教育①～③の講義終了後、レポートを提出する(書式は別途)
 - 第9回 【授業テーマ】 原価・コスト教育①
6月12日(木)
【内容・方法等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 ---
 - 第10回 【授業テーマ】 原価・コスト教育②
6月19日(木)
【内容・方法等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 ---
 - 第11回 【授業テーマ】 原価・コスト教育③
6月26日(木)
【内容・方法等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 原価・コスト教育①～③の講義終了後、レポートを提出する(書式は別途)
 - 第12回 【授業テーマ】 課題解決教育①
7月3日(木)
【内容・方法等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】 ---
 - 第13回 【授業テーマ】 課題解決教育②
7月10日(木)
【内容・方法等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】 ---
 - 第14回 【授業テーマ】 課題解決教育③
7月17日(木)
【内容・方法等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】 課題解決教育①～③の講義終了後、レポートを提出のこと(書式は別途)
また、14回目までの講義を総括して、最終回での質問事項を考えておくこと
 - 第15回 【授業テーマ】 全体討議・質疑応答
7月24日(木)
【内容・方法等】 14回の講義を総括しての討議・質疑応答を実施する
【事前・事後学習課題】 最終報告として受講レポートを提出する。
- 評価方法(基準)
課題レポート(6回)と受講レポート50%、授業姿勢(積極性)20%、全体討議(プレゼンテーション)10%、期末試験20%とした総合評価を行う。
- 教材等
教科書…資料を配布する。
参考書…なし
- 学生へのメッセージ
日本を代表する企業であるパナソニック(株)と共同で実施する研修を受講して、社会と企業は学生に何を求めているのかを知り、職業人としての基礎知識を身につけ、社会人になるための意識転換をしましょう。この科目を履修する学生は、この科目と「ものづくりインターンシップ実践」または「ものづくり海外インターンシップ」を同時に受講することが前提です。
- 関連科目
『ものづくりインターンシップ実践』または『ものづくり海外インターンシップ』を履修する学生は、必ずこの科目を履修すること。
- 担当者の研究室等
1号館3階 伊藤教授室
- 備考
【担当者】
摂南大学: 榊講師、白鳥講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野教授、田中講師
パナソニック講師: 佐藤哲志、山下秀行、福田祥一、高岡清

教養科目

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくりインターンシップ実践」

No Name

伊 藤 譲 (イトウ ユズル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

『ものづくりインターンシップ基礎』の実践コースである。『ものづくりインターンシップ基礎』で学んだ内容をパナソニックのモノづくり現場で具体実習・実践することにより、更なる理解を進め、習得して自らの強みとすることを目的とする。

到達目標は以下のとおりである。

(1)生産革新・改善を体験する。(2)製造業の成り立ち・仕組みを体験する。(3)チームワーク・QCD問題を体験する。(4)パナソニックの工場を見学する。(5)研修成果を発表する。

学科の学習・教育目標との対応：

授業方法と留意点

『ものづくりインターンシップ基礎』で学んだ内容を体験するため、パナソニック(株)人材開発カンパニーで、計7日間の宿泊実習を行なう。また、事前指導として『ものづくりインターンシップ基礎』のまとめを行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかるためにプレゼンテーションによる報告を行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

直前指導

・1回目 インターンシップⅠのまとめ、インターンシップⅡの準備 7/10(木) 6限目

・2回目 インターンシップⅠ全体討議プレゼンテーション指導 7/17(木) 6限目

宿泊実習(パナソニック人材開発カンパニー)

・1～3日目

【授業テーマ】

生産革新演習

【内容・方法等】

1個流しセル生産のロールプレイを通じて、生産革新実践・方法等を体得する。(グループ演習)

【事前・事後学習課題】

演習終了後、レポートを提出のこと

・4～5日目

【授業テーマ】

モノづくりシュミレーション演習

【内容・方法等】

四角錐製作を通じて、製造業の成り立ち・しくみを習得(設計～生産)し、目標達成のためのチームワーク・QCD問題意識の重要性を体得する。(グループ演習)

【事前・事後学習】

演習終了後、レポートを提出のこと

・6日目

【授業テーマ】

工場見学

【内容・方法等】

パナソニックのモノづくりを工場見学を通じて体得する。(2工場)

【事前・事後学習課題】

見学終了後、レポートを提出のこと

・7日目

【授業テーマ】

研修成果報告会

【内容・方法等】

研修成果報告会の実施。(グループ単位)

【事前・事後学習課題】

グループ単位でプレゼン資料をまとめておくこと

実習中指導

・8月30日(土) 2～5限目 プレゼンテーション指導

実習後指導

・1回目 体験報告書の添削指導

・2回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導

・3回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導

・4回目 研修成果報告会(2回目)

・5回目 全体報告会 学生代表者の発表・質疑

・6回目 全体報告会 企業管理者の講演と講評

評価方法・評価基準

実習成果40%、研修成果報告会(2回)20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%とした総合評価を行なう。

教材等

教科書…資料を配布する

参考書…なし

備考

【注意事項】

期間：2014年 8月25日(月)～8月29日(金)、9月1日(月)～9

月2日(火) パナソニック(株)人材開発カンパニーでの宿泊研修です。8月30日(土)には撰大でプレゼン資料を作成します。その間、パナソニック(株)社員の、朝礼、ランニングにも参加します。ジーンズ、スリッパは禁止。ランニングできる履物、着替えが必要です。学生負担金・食費等は別途徴収します。

【担当者】

撰南大学：榊講師、白鳥講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野教授、田中講師

パナソニック講師：佐藤哲志、高岡清、熊本義久

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくり海外インターンシップ」

No Name

川 野 常 夫 (カノ ツネオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本の企業がますますグローバル化する中で、国際的視野と素養を身に付けた人材はますます必要となる。本科目は、「ものづくり海外インターンシップ」と呼び、世界展開をしている「ものづくり企業」の海外工場において具体的に実習体験をすることにより、グローバル企業の現状を理解するとともに、自らの視野と経験を広げることを目的とする。研修先はとりわけ東南アジアの企業とする。到達目標は以下のとおりである。(1)グローバル企業の現状が理解できる。(2)海外でのものづくりの工程を体験できる。(3)チームワークを体験できる。(4)国際的視野を広げられる。(5)研修成果が発表できる。

学科の学習・教育目標との対応：[A1]

授業方法と留意点

東南アジアは、フィリピンとタイを予定している。受講者はいずれかを選択し、どちらかの企業において、本学の夏休み中に往復を含めて計10日間(予定)の現場実習を行う。事前指導として実施企業や語学(英語)について予習を行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかる。「ものづくり企業」での研修であるが、専門知識は特に必要としないので、参加学生は専門分野も、文系・理系も問わない。また男女も問わない。実習先の受け入れ人数に制限があるため、希望者多数の場合は理工学部インターンシップ委員会において選定する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

直前指導

・1回目 海外実習の準備 7/10(木) 6限目

・2回目 全体報告会に向けたプレゼンテーション指導 7/17(木) 6限目

・3回目 海外で実習するための事前指導

海外実習

・1～2日目

【授業テーマ】移動、オリエンテーション

【内容・方法等】研修先企業の概要、オリエンテーション、語学(英語)研修など

【事前・事後学習課題】実習終了後、レポートを提出のこと

・3日目

【授業テーマ】企画・設計部門実習

【内容・方法等】ものづくり工程の川上である企画・設計部門において、その役割、重要性などを体得する。(グループ演習)

【事前・事後学習】実習終了後、レポートを提出のこと

・4～5日目

【授業テーマ】工場見学会、交流会

【内容・方法等】関連工場の見学、現地従業員との交流会に参加する。交流会では、英語によるコミュニケーションを行う。

【事前・事後学習課題】交流会終了後、レポートを提出のこと

・6～8日目

【授業テーマ】加工部門、組立部門、検査・品質管理・出荷部門実習

【内容・方法等】ものづくり工程の中流、下流である製造、組立、検査部門について、その役割、重要性などを体得する。(グループ演習)

【事前・事後学習課題】実習終了後、レポートを提出のこと

・9～10日目

【授業テーマ】研修成果報告会、移動

【内容・方法等】グループ単位でPPTでプレゼン

【事前・事後学習課題】実習終了後、最終レポートを提出のこと

実習後指導

・1回目 最終レポート(体験報告書)の添削指導

・2回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導

・3回目 全体報告会 学生代表者の発表・質疑

・4回目 全体報告会 企業管理者の講演と講評

評価方法・評価基準

実習成果40%、研修成果報告会(2回)20%、実習最終レポート

10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%として評価を行う。

教材等

教科書…必要時にプリント等を配布する。

参考書…内永ゆか子：日本企業が欲しい「グローバル人材」の
必須スキル，朝日新聞出版 (2011/9/7)

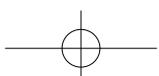
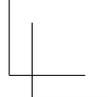
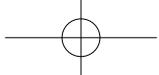
備考

【注意事項】 研修予定期間：2014年 8月中旬（研修先の都合により変更する場合があります。）

航空運賃、宿泊費、保険代などは自己負担となります。

【共同担当者】 白鳥講師





教師論
Teacher Education

朝日素明 (アサヒ モトアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

教職に関する理解を深め、自己の適性を見つめ直し、最終的に教職をめざすことについて主体的な進路選択を行うための判断材料を提供します。学生は、「教職の意義とは何か」「教師の役割や責任は何か」「教師の職務とはどのようなものか」「教師として生きるとはどのようなことか」などについて基礎的な知識を獲得し、「自分は教師に向いているのか」「自分はどのような教師をめざすのか」などの意思決定ができるようになります。

授業方法と留意点

講義を中心に、グループワーク等も織り交ぜて授業を進めます。また適宜、レポートを課します。「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）

教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教職の意義等に関する科目
各科目に含める必要事項：教職の意義及び教員の役割・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む）・進路選択に資する各種の機会の提供等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
教職への道
【内容・方法 等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自らの学校・生徒体験、心に残る教師等についてのふりかえり
教職課程の履修動機
教師になることの意味
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオのリマインダ設定」
本科目のシラバスの熟読
- 第2回 【授業テーマ】 教職の成立とその意義
【内容・方法 等】 公教育の成立
教職の誕生
戦前の教員養成
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章
- 第3回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（1）
【内容・方法 等】 教員への道
戦後教員養成の原則と制度
教員免許制度の確立
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章
- 第4回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（2）
【内容・方法 等】 教員免許制度の新たな展開
教員採用の動向と採用試験
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章・第12章
- 第5回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（3）
【内容・方法 等】 教員の研修の意義
教員の研修の種類と体系
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章
- 第6回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（4）
【内容・方法 等】 法定研修
教員の自己研修
【事前・事後学習課題】 教員研修体系に関する配布資料
テキスト第11章
- 第7回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（1）
【内容・方法 等】 戦前・戦後の教師像
憧れの教師
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章・終章
- 第8回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（2）
【内容・方法 等】 「不良教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】 「不良教師」に関する配布資料
- 第9回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（3）
【内容・方法 等】 「熱血教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】 「熱血教師」に関する配布資料
- 第10回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（4）
【内容・方法 等】 「人間教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】 「人間教師」に関する配布資料
- 第11回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（5）
【内容・方法 等】 「プロ教師」（文献・映像に基づく教師像

- の探究）
【事前・事後学習課題】 「プロ教師」に関する配布資料
【授業テーマ】 教員の役割・職務（1）
【内容・方法 等】 教室における指導者の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章・第8章
- 第12回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（2）
【内容・方法 等】 学校組織の構成員の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章
教職員の構成と校務分掌に関する配布資料
- 第13回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（3）
【内容・方法 等】 教員の任用と身分
教員の服務と身分保障
教員の勤務条件
【事前・事後学習課題】 教員の任用・服務等に関する配布資料
- 第14回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（4）
【内容・方法 等】 教員のメンタルヘルス、バーンアウト
教育改革と教員
【事前・事後学習課題】 テキスト第9章
- 第15回 評価方法（基準）
定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等

教科書…佐島群巳・小池俊夫『新版 教職論』学文社（1,600円＋税）

参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

教職について考えることは教育について考えることであり、「教え」「学び」「育ち」を含む「生き方」について考えることになります。教養をもとに、広い視野で物事を捉える習慣を身につけましょう。
遅刻・早退等は厳禁です。教師を目指す者としての資質が問われます。

関連科目

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育経営論」「教育課程論」「教育方法論」「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等

7号館3階 朝日研究室

備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育原理

Educational Principles

村田俊明 (ムラタ トシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

人間形成は、自立を促すプロセスである。人間の発達は誕生と同時に始まるが、保護と養育、しつけと教育という意図的な営為のうちに、教育の意義が認められる。もし教育がなされなければ、どうなるかは野性児の記録が示す通りであり、教育によつてのみ人間になれるのである。人間にとっての教育の必要性和可能性について検討していく。また、教育がめざすものは何か。のぞましい人間とはどのような人間かなどについて考えていく。その他教育がめざしてきた人間像や教育基本法などについて考えていく。

授業方法と留意点

初めて教育学を学ぶ教職履修学生に、教育の諸原理を講述する形で進めるが、可能な限り、受講生の意見や感想、あるいは質問に答えていきたい。

科目学習の効果（資格）

（1）高等学校教諭1種免許状 （2）中学校教諭1種免許状の取得 （3）学芸員資格の取得に必要です。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育の基礎理論に関する科目
各項目に含める必要事項：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育とは何かを考える
【内容・方法 等】 （1）オリエンテーション-教職課程と履修動機- （2）教育の意味-自らの経験に学ぶ- （3）「学ぶ」立場から「教える」立場へ
【事前・事後学習課題】 予習：自分にとって「教育とは何か」について考えておく。
- 第2回 【授業テーマ】 人間形成のしくみを考える

教職科目

- 【内容・方法 等】** (1) 教育の必要性と可能性 (2) 野生児の記録
- 【事前・事後学習課題】** 予習：もし教育を受けることがなかったなら、どのようになるかについて考え、まとめておく。
- 第3回 【授業テーマ】** 人間形成のしくみを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教育・教化・形成 (2) 人間形成と発達課題 (3) からだと心の教育 (4) ことばと文化の学習
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現代の発達課題について考え、まとめる。
- 第4回 【授業テーマ】** わが国における教育としつけを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 子どもの社会化 (2) しつけと教育
- 【事前・事後学習課題】** 予習：しつけのいまと昔についてまとめておく。
- 第5回 【授業テーマ】** 教育の思想－教育はどう考えられてきたか－(1)
- 【内容・方法 等】** ソクラテスの産婆術とソフィストの講演、暗記と体罰の教育、コメニウスの感覚主義的教育と「世界図絵」について知る。
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教科書「教育の思想－教育はどう考えられてきたか－」を読んでおく。
- 第6回 【授業テーマ】** 教育の思想－教育はどう考えられてきたか－(2)
- 【内容・方法 等】** ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルからデューイに至る教育思想の系譜をたどり、近代教育思想の礎となった教育思想家に学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】** 復習：近代の教育思想と教育思想家の業績をまとめる。
- 第7回 【授業テーマ】** 教育の思想－わが国の近代化と教育の関係を学ぶ。
- 【内容・方法 等】** 福沢諭吉と「学問のすすめ」、森有礼と「学校令」、澤柳政太郎と開智学校など、わが国教育の近代化につくした教育家の思想と業績を知る。
- 【事前・事後学習課題】** 復習：近代の教育思想と教育思想家について感想をまとめ提出する。
- 第8回 【授業テーマ】** 教育の理念と目的について考える (1)
- 【内容・方法 等】** (1) 「学制」と「被仰出書」 (2) 教育勅語
- 【事前・事後学習課題】** 予習：予習：わが国近代教育の理念を確認する。
- 第9回 【授業テーマ】** 教育の理念と目的について考える (2)
- 【内容・方法 等】** (1) 憲法の教育規定 (2) 教育基本法を学ぶ－旧法・新法の比較を通して－ (3) 学校教育法と教育の機会均等
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現行教育基本法の内容を確認する。
- 第10回 【授業テーマ】** 学校の歴史的な意味と課題を考える
- 【内容・方法 等】** (1) 学校とは何か (2) 学校の発達 (3) 学校教育の展開と二つの歴史のエポック
- 【事前・事後学習課題】** 予習：学校制度の発展について、何が分かったかをまとめる。
- 第11回 【授業テーマ】** 教育の再生と学校改革
- 【内容・方法 等】** (1) 教育改革の系譜 (2) 自律的学校の創造 (3) 「生きる力」と学力向上
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現代学校改革の課題についてレポートする。
- 第12回 【授業テーマ】** 「教えること」と「学ぶこと」について考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教える・学ぶの成立条件 (2) 「学ぶ力」と「生きる力」
- 【事前・事後学習課題】** 予習：「教えること」と「学ぶこと」についての体験をまとめておく。
- 第13回 【授業テーマ】** 授業とは何かを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 授業をつくる (2) 授業と教材 (3) 授業の形態と技術 (4) 授業と評価 (5) 教育評価の意味を考える
- 【事前・事後学習課題】** 予習：理想的な授業の条件についてまとめておく。
- 第14回 【授業テーマ】** 教師のしごとについて考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教師のしごと (2) 子どもとの信頼関係 (3) 教育公務員としての教師 (4) 教師の成長と同僚
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教師のしごとにとって大事なことは何であるかをまとめておく。
- 第15回 【授業テーマ】** 討論と反省
- 【内容・方法 等】** 討論 教育原理を学んで得た新たな知見について
- 【事前・事後学習課題】** 復習：二年度以降の教育学学習の課題を明確にする。
- 評価方法 (基準)**
定期試験成績、レポートの成績による総合評価を行う。
- 教材等**
教科書…村田俊明 橋本はる美『教育探求の基礎』(税務経理協

会)、2012年、2800円(本体)
参考書…J.A.L.シング『狼に育てられた子』(福村出版) 1470円
 平沢茂編著『教育の方法と技術』(図書文化) 2000円
 小林恵『「学習指導要領」の現在』(学文社) 2800円

学生へのメッセージ
 ①自分の学習体験等を思い出してほしい。②教育関係の新聞報道等に常に関心を持ってほしい。③講義中に紹介する本も読んでほしい。

関連科目
 「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教育実習Ⅰ」「教職実践演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等
 7号館3階(村田研究室)

教育心理学 Educational Psychology				
吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標
 学校での教育活動において、教師の果たす役割は大きい。学習の質を高めるために、教師が学習者を理解し、様々な形で援助していくためにはどうすればよいのか、それを考えていくにあたって必要な、基本的な知識を身につけることを目標とし、特に、認知的な側面に焦点を当てて議論していく。具体的には、教育について考える際に、ある意味基本となる「発達と学習」、学習者が主体的に学ぶための「学習意欲」、個人差の理解、障害の理解と特別支援教育について考える「個に応じた教育」を中心とする。また、学校を学習の場としてとらえたときの「人間関係」についてもふれることとする。

授業方法と留意点
 講義形式で行う。

科目学習の効果 (資格)
 教員免許状取得上必修。免許法施行規則に定められた「教育の基礎理論に関する科目」6単位のうち2単位を充足。
 【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目：教育の基礎理論に関する科目
 各科目に含める必要事項：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む)。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】** 発達と教育と心理学と
【内容・方法 等】 教育に対して心理学ができること、発達と教育
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達1
【内容・方法 等】 思考(1)……人間の思考の特徴
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章、第9章を読む
- 第3回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達2
【内容・方法 等】 思考(2)……思考の発達、メタ認知
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章の1、第8章、第9章を読む
- 第4回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達3
【内容・方法 等】 言語(1)……言語の機能、言語の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第9章の2、第11章を読む
- 第5回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達4
【内容・方法 等】 言語(2)……文章理解
【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読む
- 第6回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達5
【内容・方法 等】 記憶(1)……記憶のメカニズム
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章、第5章を読む
- 第7回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達6
【内容・方法 等】 記憶(2)……記憶の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章、第5章を読む
- 第8回 【授業テーマ】** こどもの学び1
【内容・方法 等】 様々な学習(1)……学習とは何か、古典的条件づけ
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章を読む
- 第9回 【授業テーマ】** こどもの学び2
【内容・方法 等】 様々な学習(2)……道具的条件付け、観察学習
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章を読む
- 第10回 【授業テーマ】** 学習を支える動機づけ1
【内容・方法 等】 意欲とは何か……動機づけ過程、期待×価値理論、学習性無力感
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章、第3章を読む
- 第11回 【授業テーマ】** 学習を支える動機づけ2

- 【内容・方法等】さまざまな学習意欲(1)……外発的動機づけ
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章、第3章を読む
【授業テーマ】 学習を支える動機づけ3
- 【内容・方法等】さまざまな学習意欲(2)……内発的動機づけ
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章、第3章を読む
【授業テーマ】 学習を支える動機づけ4
- 【内容・方法等】学習意欲を育むために……報酬と罰、評価、目標、教師の対応
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の2、第2章、第3章を読む
- 第14回 **【授業テーマ】** 個に応じた教育1
【内容・方法等】 個人差の理解と教育……ATI、学習方略
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の3、第6章を読む
- 第15回 **【授業テーマ】** 個に応じた教育2
【内容・方法等】 「障害」の理解と特別支援教育
【事前・事後学習課題】 テキスト第13章を読む

評価方法 (基準)

小テスト30% 期末試験70%

教材等

教科書…「絶対役立つ教育心理学～実践の理論、理論を実践～」
 藤田哲也(編著) ミネルヴァ書房(2800円)

参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ

これまで受けてきた教育を思い出してください。また心理学の用語の中には、日常的に遣われているのとやや異なる意味で用いられるものがあることに留意してください。

関連科目

心理学

担当者の研究室等

7号館3階(吉田研究室)

教育社会学 Sociology of Education				
村田俊明(ムラタ トシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

教育社会学は、社会的事実としての教育の営みを社会的に研究する方法学である。講義は、主に教科書の内容に沿って、基本的概念や予備知識について講述する「基礎」とデータ分析を中心に行う「応用」から構成する。教育社会学が方法学であるといっても、具体的研究対象・内容とは密接に関連するものであるから、教育の人間形成作用・社会化機能を縦軸に据え、教育社会学の多様な研究対象・内容のうち、現代教育制度改革・学校改革問題、わが国の教員集団と教員問題などを取り上げ、文科省の教員統計調査データ等を拠りに分析・検討し、教育社会学の見方と方法を学ぶ。

授業方法と留意点

教育社会学の講義は、まず教科書の内容に沿って基本的概念や予備知識について講述する。受講生には意見発表等を求めるので、教科書を予習し、各章の問題点や意見を明らかにしておく。「基礎」「応用」とも、個人あるいはグループでデータを分析し、その結果について発表する。なお、パソコンを活用してデータの検索や分析を行う。

科目学習の効果(資格)

(1) 高等学校教諭1種免許状 (2) 中学校教諭1種免許状の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 基礎 教育社会学とは何か
【内容・方法等】 (1) 教育社会学の課題と方法を知る
 (2) 教育社会学と社会化研究の意味を知る
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書(1-教育社会学とは)「14-教育社会学の技法」を読んでくる。
- 第2回 **【授業テーマ】** 基礎 現代社会と学校
【内容・方法等】 (1) 学校教育の拡大と学校化の病理を考える
 (2) 教育の機会均等の実現-「量」から「質」への転換-
 (3) 社会化環境としての分節型社会の特徴を理解する
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書(6-学校制度の社会学)を読んで、問題点をまとめる。
- 第3回 **【授業テーマ】** 基礎 階層・学歴・職業
【内容・方法等】 (1) 高等教育の発展段階論-ユニバーサル段階の教育課題について考える-
 (2) 学歴社会を考える-学校の社会化、選抜・配分、正当

化機能を考える-

- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：教科書(「10-学校の社会的機能」「11-高等教育の社会学」「12-階層・学歴・職業」)を読んで、問題点をまとめる。
- 第4回 **【授業テーマ】** 基礎 学校空間と教育的知識
【内容・方法等】 カリキュラム・教育的知識と社会化環境としての学校空間の意味を考える
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書(「7-教室空間・学校空間と教育過程」「8-カリキュラムと教育的知識」「9-学校の組織と文化」)を読んで、問題点をまとめる。
- 第5回 **【授業テーマ】** 基礎 現代社会の変貌と教育
【内容・方法等】 高度情報社会の教育と社会化について考える
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書(「3-社会化環境の構造変容」)を読んで、問題点をまとめる。
- 第6回 **【授業テーマ】** 基礎 教育改革の動向と課題
【内容・方法等】 わが国の教育改革がめざしてきたもの、世紀転換期における教育改革動向と課題について知る
【事前・事後学習課題】 事前：教科書(13-教育改革と学習社会)を読んで、問題点をまとめる。
- 第7回 **【授業テーマ】** 応用 教育改革の動向と課題(1)
【内容・方法等】 教育制度改革・学校改革について考える-学力テストと「脱ゆとり」に焦点をあてて-
【事前・事後学習課題】 事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。
- 第8回 **【授業テーマ】** 応用 教育改革の動向と課題(2)
【内容・方法等】 教育制度改革・学校改革について考える-学校教育制度の改革に焦点をあてて-
【事前・事後学習課題】 事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。
- 第9回 **【授業テーマ】** 応用 教育改革の動向と課題(3)
【内容・方法等】 教育制度改革・学校改革について考える-教育委員会改革に焦点をあてて-
【事前・事後学習課題】 事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。
- 第10回 **【授業テーマ】** 応用 教員問題を検証する(1)
【内容・方法等】 (1) 教員問題の系譜と現在を知る
 (2) 日本の教師集団を検討する-都道府県別・学校種別・年齢別・性別・職位別教員構成の分析を通して-
【事前・事後学習課題】 事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。
- 第11回 **【授業テーマ】** 応用 教員問題を検証する(2)
【内容・方法等】 (3) 求められる教師と教員養成、教員の需給関係、教員養成と教員採用を考える
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データからわかったことをレポートする。
- 第12回 **【授業テーマ】** 応用 教員問題を検証する(3)
【内容・方法等】 (4) 学校改善と学校評価を考える-学校管理職調査データから-
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データからわかったことをレポートする。
- 第13回 **【授業テーマ】** 応用 教員問題を検証する(4)
【内容・方法等】 (5) 学校評価の事例研究-A中学校の学校教育点検・評価の実際を検討する-
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データからわかったことをレポートする。
- 第14回 **【授業テーマ】** 応用 教員問題を検証する(5)
【内容・方法等】 (6) 教員評価を考える-学校管理職調査データから-
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データからわかったことをレポートする。
- 第15回 **【授業テーマ】** 全体検討 学校・教師をめぐる諸問題と教育社会学研究について
【内容・方法等】 まとめ 学校・教師をめぐる諸問題の構造的関連性を理解し、残された課題を明らかにする。
【事前・事後学習課題】 事後課題 「基礎・応用」を通じて関心をもったこと・わかったこと、新たに発見した課題をレポートをまとめる。

評価方法 (基準)

定期試験成績、課題発表、レポートの成績による評価を行う。

教材等

教科書…天野郁夫、藤田英典、荻谷剛彦『改訂版 教育社会学』(放送大学教育振興会)、2010年、2200円(本体)

参考書…文部科学省『学校教員統計調査報告書(平成22・25年度)』国立印刷局、6000円
 小林恵『学習指導要領の現在』(学文社)2800円
 村田俊明『学校経営研究のポリフォニー』(税務経理協会)、2013年、1800円

学生へのメッセージ

文部科学省のホームページ、新聞等の教育関係の報道に関心を

持つ。レポートの提出、発表を求める。

関連科目

「教育原理」「教育社会学」「道德教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教育実習Ⅰ」「教職実践演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等

7号館3階(村田研究室)

備考

共同担当者 橋本はる美

教育経営論 Studies of Educational Administration				
朝日素明(アサヒ モトアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

本科目では、公教育システムに関してなじみの深い事例を参照し、そこから政策や法制、機構、理論や論争、現実や実態を明らかにし、検討していきます。これを通して、私たちにとってはあたりまえで意識することもないような、学校教育を中心とした公教育システムのしくみやはたらきについて理解します。具体的には、例えば「何をどう教えるのか」という内容的・技術的な事柄も、実はさまざまな制度やその運用の仕方などによって決められている様子がわかります。

授業方法と留意点

プレゼンテーションソフトを用いた講義のほか、テキスト・資料の事前学習に基づくディスカッション(LTD: Learning Through Discussion)等のグループワークも織り交ぜて授業を進めます。事前学習は必須です。「未来ポートフォリオ」を通して資料配布、課題・レポートの提示・提出のほか、ディスカッションもします。「事前・事後学習課題」はすべて事前学習課題です。事後学習課題については別途、指示します。

科目学習の効果(資格)

教員免許取得上選択必修であり、可能な限り修得することが望ましい科目
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育の基礎理論に関する科目
各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
公教育とは
【内容・方法等】 授業概要、方法としてのLTD、「未来ポートフォリオ」の使用について説明
公教育の成立前史
教育における「公」と「私」
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダを設定しておく。
- 第2回 【授業テーマ】 教育権の構造
【内容・方法等】 「教育をする権利」「教育を受ける権利」「学習する権利」
教育権論争について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章1節を読んでくる。
- 第3回 【授業テーマ】 教育を受ける権利の保障
【内容・方法等】 教育の制度原理
「義務制」「無償制」にかかわって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章2節を読んでくる。
- 第4回 【授業テーマ】 学校体系のしくみ
【内容・方法等】 段階性、系統性
学校体系の類型
学校の種類と設置者
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章1・2節を読んでくる。
- 第5回 【授業テーマ】 学校体系の現代的課題
【内容・方法等】 選別・分離と接続・統合
「選抜・選別」について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章3節を読んでくる。
学校の機能に関する配布資料を読んでくる。
- 第6回 【授業テーマ】 教育条件整備の法制度と新しい動向
【内容・方法等】 公教育を支える諸条件とは
条件整備はどのようになされるか
学校の「適正規模」「適正配置」にかかわって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章2・3節を読んでくる。
学校統廃合に関する配布資料を読んでくる。
- 第7回 【授業テーマ】 学校の組織管理
【内容・方法等】 教職員配置と組織編制
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章1・2節を読んでくる。

- 第8回 【授業テーマ】 学校経営の新しい動向
【内容・方法等】 「開かれた学校」
学校評議員制度、学校運営協議会制度
地域運営学校について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章3・4節を読んでくる。
コミュニティスクールまたは学校参加に関する配布資料を読んでくる。
 - 第9回 【授業テーマ】 教育課程経営
【内容・方法等】 学習指導要領の性質と特徴の変遷
学力論争と教育評価論
学力低下論争をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章1・2節を読んでくる。
学力低下論争に関する配布資料を読んでくる。
 - 第10回 【授業テーマ】 教科書制度と指導行政
【内容・方法等】 教科書検定
教科書採択
制度をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章3・4節を読んでくる。
教科書検定または教科書採択制度に関する配布資料を読んでくる。
 - 第11回 【授業テーマ】 社会教育行政
【内容・方法等】 社会教育と生涯学習
社会教育の理念と展開
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章1・2節を読んでくる。
 - 第12回 【授業テーマ】 生涯学習社会への移行と生涯学習振興
【内容・方法等】 社会教育行政の運営原則
社会教育の諸制度
社会教育不要論をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章3・4節を読んでくる。
社会教育不要論に関する配布資料を読んでくる。
 - 第13回 【授業テーマ】 教育行政のはたらきと地方教育行政組織
【内容・方法等】 教育行政の原則
教育委員会のしくみとはたらき
教育委員会制度論の新動向に関して簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章1節を読んでくる。
教育委員会制度の動向に関する配布資料を読んでくる。
 - 第14回 【授業テーマ】 国の教育行政と地方との関係
【内容・方法等】 国の教育行政を動かす組織のしくみとはたらき
教育行政関係の新しい動向
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章2・3節を読んでくる。
 - 第15回 【授業テーマ】 教育費と教育財政
【内容・方法等】 教育財政の考え方
国・地方の教育費と教育財政
義務教育費国庫負担制度とその改革
学校財務
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読んでくる。
- 評価方法(基準)
定期試験60%、レポート30%、受講に係る積極的態度10%の割合で総合的に評価します。定期試験を受験しなかった場合は成績評価をしません。
- 教材等
教科書…勝野正章・藤本典裕『教育行政学 改訂版』学文社(1,800円+税)
参考書…授業中に適宜、指示します。
- 学生へのメッセージ
教員採用試験で頻出の教育法規については授業中に折に触れ解説しますが、採用試験ではそれを基本としてさらに幅広い知識、深い理解と応用力が要求されます。本科目は採用試験対策のための講義ではありませんので、各自が自主的に採用試験受験準備に取り組んでください。
遅刻・早退等は厳禁です。専門職業人・教師としての資質が問われます。
- 関連科目
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育社会学」「教師論」「教育課程論」に関連する事項を含みます。
- 担当者の研究室等
7号館3階 朝日研究室
- 備考
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育課程論
Studies of Curriculum Development

大野 順子 (オオノ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修(中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標

(1) 教育課程(カリキュラム)とは何かについて考える。教育課程(カリキュラム)はどのような目的から、どのような内容で編成されていったかについての歴史的経緯を考察する。また、同時に学校システムとの関わりから、その意義や役割を理解する。
(2) わが国における学習指導要領の変遷や戦前・戦後のカリキュラムの実践的開発を知ると共に、これからのカリキュラム開発の課題について考える。

授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いた講義を中心に授業を進めるが、状況によっては学生主体の発表(プレゼン)を行うなど、学生皆さんの授業への主体的な参加が求められる。各自が取得する免許教科の中学校・高等学校の教科書を複数概観することが望ましい。

科目学習の効果(資格)

教員免許(中学校・高等学校)取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目: 教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項: 教育課程の意義及び編成の方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育課程とは何か/オリエンテーション
【内容・方法等】 ・学校教育のもつ機能について
【事前・事後学習課題】 課題: シラバスに挙げているテキストの該当する分を読んでおくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 日本における教育課程の歴史的変遷
【内容・方法等】 ・戦前から戦後(経験主義～系統主義: 高度経済成長期)の教育課程変遷について
【事前・事後学習課題】 課題: テキストの該当する部分と授業(第1回目)で配布する資料に目を通しておくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 日本における教育課程の歴史的変遷
【内容・方法等】 ・1970年代以降、「ゆとり」への標榜から「生きる力」、そして現在までの教育課程変遷について
【事前・事後学習課題】 課題: テキストの該当する部分と授業(第1回目)で配布する資料に目を通しておくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 教育課程(カリキュラム)の概念と構造、および教育課程編成について
【内容・方法等】 ・その編成要素(内部要因と外部要因)について
【事前・事後学習課題】 課題: シラバスに挙げているいずれかのテキストの該当する分を読んでおくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 教育評価
【内容・方法等】 ・発達段階にふさわしい評価の方法とその特徴
【事前・事後学習課題】 課題: 事前に配布した資料を読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 『総合的な学習の時間』について
【内容・方法等】 ・導入の背景とそのねらいについて(学生グループによる発表を予定)
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第7回 【授業テーマ】 学校化された社会
【内容・方法等】 ・「隠れたカリキュラム」について(学生グループによる発表を予定)
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第8回 【授業テーマ】 新しい教育課程 その1
【内容・方法等】 ・「キャリア教育」について(学生グループによる発表を予定)
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第9回 【授業テーマ】 新しい教育課程 その2
【内容・方法等】 ・「人権教育/平和教育」について(学生グループによる発表を予定)
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第10回 【授業テーマ】 新しい教育課程 その3
【内容・方法等】 ・「シティズンシップ」教育とは(学生グループによる発表を予定)
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第11回 【授業テーマ】 教育課程と教育改革 その1
【内容・方法等】 ・特色のある学校づくり=小中編(学生グループによる発表を予定)
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる

(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。

- 第12回 【授業テーマ】 教育課程と教育改革 その2
【内容・方法等】 ・特色のある学校づくり=高校編(学生グループによる発表を予定)
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第13回 【授業テーマ】 教育課程と教育格差 その1
【内容・方法等】 ・学力格差と学力低下問題(学生グループによる発表を予定)
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第14回 【授業テーマ】 教育課程と教育格差 その2
【内容・方法等】 ・教育格差に抗する学校の取り組み(学生グループによる発表を予定)
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第15回 【授業テーマ】 総括: 教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法等】 海外の学校教育課程の動向と国内の問題(例: 外国人児童生徒問題)
【事前・事後学習課題】 課題: 事前に配布した資料を読んでおくこと。

評価方法(基準)

定期試験、レポート及び授業態度や授業への貢献度(発表を含む)など総合的に評価を行う。

教材等

教科書…田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵[著] 『新しい時代の教育課程 第3版』 有斐閣アルマ、2011年
参考書…その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めることが大切である。そのため、各自の中学校・高等学校での体験をふりかえり、学ぶことの視点に立った、計画的学習を考えること。また「教育実習」を視野に入れた授業計画を考えることが重要。

関連科目

教職科目全般と関連がある。他の教職科目と重なる所や特徴点を整理していくことが重要。

担当者の研究室等

7号館3階(大野研究室)

備考

2009年度以前入学生は、(高校)教免取得上選択

教職科目

工業科教育法

Engineering Education

倉田 光雄 (クラタ ミツオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	[工業]教免 取得上必修	4

授業概要・目的・到達目標

前期では、工業教育の意義・目標や教育関連法規、歴史と現状などについて説明します。目的は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得する事です。後期では、学習指導の実際について、学習指導計画の作成から授業の進め方と成績評価、授業改善について学び、進路指導や学校運営についても学びます。到達目標は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得することが目標です。

授業方法と留意点

教科書中心で行い、随時にプリントの配布、教材掲示装置、プロジェクターも使用します。

科目学習の効果(資格)

工業高等学校の教員1種免許を得るために必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目: 教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項: 各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業教育の意義・役割・目標・内容>
【内容・方法等】 工業教育の役割について、適正年齢などに基づき説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第2回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業教育の意義・役割・目標・内容>
【内容・方法等】 工業教育の目標やその内容を取り扱う。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第3回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<教育関係法令>
【内容・方法等】 教育関係法令の種類と法令のおもな部分を取り扱う。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第4回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業高校

- 発展の歴史と現状>
【内容・方法 等】 日本の工業高校発展の明治以来の歴史と現在の状況について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第5回 **【授業テーマ】** 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業高校発展の歴史と現状>
【内容・方法 等】 数種類の工業高校発展の具体例を挙げて歴史について考える。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第6回 **【授業テーマ】** 外国の技術・工業教育の紹介
【内容・方法 等】 外国の技術・工業教育の具体例を紹介する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第7回 **【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<教科・工業の共通科目>
【内容・方法 等】 教科・工業の共通科目の考え方とねらいについて説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第8回 **【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<教科・工業の共通科目>
【内容・方法 等】 教科・工業の共通科目の課題研究について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第9回 **【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<専門学校などの工業教育について>
【内容・方法 等】 専門学校などの工業教育の内容について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第10回 **【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<工業科の主な学課の実験・実習の内容紹介>
【内容・方法 等】 工業科の主な学科の実験・実習を紹介する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第11回 **【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<工業科の主な学科の実験・実習の内容紹介>
【内容・方法 等】 工業科の主な学科の実験・実習について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第12回 **【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<実践的工業教育>
【内容・方法 等】 就業体験学習の指導計画、就業資格について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第13回 **【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<実践的工業教育>
【内容・方法 等】 実践的工業教育の活動計画・実際・展開などについて具体例を紹介する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第14回 **【授業テーマ】** 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育課程の編成から単元の計画まで>
【内容・方法 等】 教育課程の意義・目標・役割などについて説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第15回 **【授業テーマ】** 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育課程の編成から単元の計画まで>
【内容・方法 等】 教育課程の編成から単元計画までの手順や配慮事項について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第16回 **【授業テーマ】** "教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<授業設計・学習指導案・授業改善および教育実習>"
【内容・方法 等】 授業構造や学習指導案について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第17回 **【授業テーマ】** "教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<授業設計・学習指導案・授業改善および教育実習>"
【内容・方法 等】 授業改善および教育実習について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第18回 **【授業テーマ】** 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育評価>
【内容・方法 等】 新しい学力観に基づく教育評価などについて説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第19回 **【授業テーマ】** 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育評価>
【内容・方法 等】 評価・認定の実例を説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第20回 **【授業テーマ】** 学習理論関係<学習と授業理論>
【内容・方法 等】 学習と授業理論の歴史的展開を説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第21回 **【授業テーマ】** 学習理論関係<学習と授業理論>
【内容・方法 等】 授業の方法や形態について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第22回 **【授業テーマ】** 学習理論関係<自作教具の勧め>
【内容・方法 等】 教具の種類と具体例について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第23回 **【授業テーマ】** 模擬授業と評価および意見交換（導入を中心に）
【内容・方法 等】 模擬授業と評価および意見交換（導入を中心に）
【事前・事後学習課題】 教科書による予習

- 第24回 **【授業テーマ】** 模擬授業と評価および意見交換（展開を中心に）
【内容・方法 等】 模擬授業と評価および意見交換（展開を中心に）
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第25回 **【授業テーマ】** 模擬授業と評価および意見交換（まとめ）
【内容・方法 等】 模擬授業と評価および意見交換（まとめ）
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第26回 **【授業テーマ】** 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業教育と進路指導>
【内容・方法 等】 工業教育と進路指導を説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第27回 **【授業テーマ】** 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業教育と進路指導>
【内容・方法 等】 工業教育と進路指導の具体例を紹介する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第28回 **【授業テーマ】** 進路指導・学校運営・工業高校の展望<学校運営と教員研修>
【内容・方法 等】 学校運営と教育力向上への取り組み。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第29回 **【授業テーマ】** 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業高校の展望>
【内容・方法 等】 工業教育の現状と今後の発展について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第30回 **【授業テーマ】** 創造性教育課題研究
評価方法（基準）
 臨時試験成績とレポート評価(40%)、および、小テストなどの平常点(60%)により評価する。

教材等

教科書…"新しい視点と実践に基づく 工業科教育法の研究、池森慈、佐藤弘幸、中村豊久、実教出版、2006年、(2,000円税別)"
 参考書…参考書・参考資料等 高等学校学習指導要領解説・工業編

学生へのメッセージ

工業科教育関係に必要な科目です。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

1号館3階 倉田教授室

備考

なし

道徳教育の研究

Studies of Moral Education

村田 俊明 (ムラタ トシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修(中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標

道徳教育は、報酬と罰を上手にやれば、それで済むというものではない。一定の価値を伴う行動様式と生活態度を子どもの中に育む営みである。道徳教育の歴史を学び、わが国において道徳教育がどう展開されてきたかを知る。また子どもの道徳性はいかに発達するか。なぜいま道徳教育が必要なのか。学習指導要領「道徳」の内容を授業で、どう展開するかを考え、「道徳」の授業構想及びシナリオづくりを行う。今日の中学生に、教師として「気づいてほしいこと・考えてほしいこと」は何かという「ねらい」をもった授業を構想することができ、その「ねらい」にふさわしい教材選択と教材研究をすることができる。

授業方法と留意点

教科書に基づいて道徳教育の歴史や道徳性の発達等について講述するほか、DVD等を視聴し、道徳教育のあり方について考え、理解を深める。さらに受講生による「道徳」の授業構想を発表し、検討する。

科目学習の効果（資格）

中学校教諭1種免許状の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各項目に含める必要事項：道徳の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 道徳教育と人間形成
【内容・方法 等】 (1) 道徳教育がめざすもの (2) 道徳教育の現状と課題 (3) なぜ、いま道徳教育なのか-DVD「崩壊?日本人のモラル-」視聴 (4) 「道徳」の特別教科化を考える
【事前・事後学習課題】 予習：教科書「まえがき」「第3章」
- 第2回 **【授業テーマ】** 道徳教育の歴史-明治期-

- 【内容・方法 等】** (1) 学制と「修身科」(2) 「教学聖旨」「教育議」論争(3) 教育勅語の成立と修身科教育
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教科書(9頁～14頁)
- 【授業テーマ】** 道德教育の歴史-大正・昭和前期-
- 【内容・方法 等】** (1) 大正新教育と修身科(2) 総力戦体制下の教育と修身科
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教科書(14～19頁)
- 【授業テーマ】** 道德教育の歴史-戦後から現在-
- 【内容・方法 等】** (1) 修身科の廃止と教育勅語の取り扱い(2) 社会科と新しい道德教育(3) 道德教育の振興と特設道德
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教科書(19頁～38頁)
- 【授業テーマ】** 学校道德教育の計画・運営・実施について
- 【内容・方法 等】** (1) 「道德」の実施状況について(2) 「道德」の時間と指導計画(3) 各教科・特別活動・総合的学習の時間との関係(4) 道德教育推進教師の役割
- 【事前・事後学習課題】** 予習：出身中学校における「道德教育計画」をHP等で調べておく。
- 【授業テーマ】** 学習指導要領「道德」の目的と内容
- 【内容・方法 等】** (1) 学習指導要領「道德」の目的(2) 「道德」の内容分析(3) 指導上の留意点
- 【事前・事後学習課題】** 予習：配付資料の課題をしておく。教科書135頁～149頁を読んでおく。
- 【授業テーマ】** 道德性の発達と教育方法
- 【内容・方法 等】** (1) 他律道德から自律道德へ(2) ピアジェとコールバーグの発達段階論(3) 道德的葛藤とシチュエーションの創造(4) モラルジレンマの授業
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教科書(39頁～76頁)
- 【授業テーマ】** 子どもの実態と道德の授業
- 【内容・方法 等】** (1) 子どもの価値意識-「実態調査」から(2) 道德の授業と教材(3) 道德教育の方法と技術
- 【事前・事後学習課題】** 予習：配付Excel Dataの検討及び教科書(77頁～99頁)を読んでおく。
- 【授業テーマ】** 道德授業の創造と特別授業
- 【内容・方法 等】** (1) 実感ある「道德」授業の創造(2) DVD視聴「特別授業 差別を知る-カナダのある小学校の試み」
- 【事前・事後学習課題】** DVD視聴の感想文提出
- 【授業テーマ】** 「道德」授業の構想(1)
- 【内容・方法 等】** (1) 「道德」授業の構想・シナリオづくり 教材「スタート台のわたし」(2) 学生による指導案の発表と検討
- 【事前・事後学習課題】** 予習：配布教材に基づいた指導案の作成
- 【授業テーマ】** 「道德」授業の構想(2)
- 【内容・方法 等】** (1) 「道德」授業の構想・シナリオづくり 教材「じいちゃん長生きして」(2) 学生による指導案の発表と検討
- 【事前・事後学習課題】** 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 【授業テーマ】** 「道德」授業の構想(3)
- 【内容・方法 等】** (1) 「道德」授業の構想・シナリオづくり 教材「アイバンク」(2) 学生による指導案の発表と検討
- 【事前・事後学習課題】** 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 【授業テーマ】** 「道德」授業の構想(4)
- 【内容・方法 等】** (1) 「道德」授業の構想・シナリオづくり 教材「蜘蛛の糸」(2) 学生による指導案の発表と検討
- 【事前・事後学習課題】** 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 【授業テーマ】** 「道德」授業の構想(5)
- 【内容・方法 等】** (1) 「道德」授業の構想・シナリオづくり 教材「ぼくの名前呼んで」(2) 学生による指導案の発表と検討
- 【事前・事後学習課題】** 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 【授業テーマ】** 討論 「現代に生きる子どもたちに考えてほしいこと・気づいてほしいことをめぐって」
- 【内容・方法 等】** (1) 意見発表「道德教育の研究を学んで」(2) 道德教材「100万回生きたねこ」とおして(3) 質疑応答と課題の発見
- 【事前・事後学習課題】** 討論資料の作成・準備
- 評価方法(基準)**
定期試験成績、レポートの成績による評価を行う。
- 教材等**
教科書…柴田義松編著『道德の指導』(学文社)、1800円(本体)
文部科学省『中学校学習指導要領』平成20年、国立印刷局、232円(本体)
- 参考書…L. コールバーグ、永野重史監訳『道德性の形成』新曜社
- 学生へのメッセージ

中学校時代の「道德」の時間における学習体験を思いおこすとよい。道德の教材を取り扱うが、その教材をよく読み、中学生に何を伝えたらよいかを考えてほしい。

関連科目
教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等
7号館3階(村田研究室)

備考
共同担当者 橋本はる美

特別活動論 Extra-Curricular Activities				
大野 順子(オオノ ジュンコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標
(1) 人間関係の希薄化が指摘される社会にあつて、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そのことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要さが増してきている。具体的には、学級(ホームルーム)活動、生徒会活動、学校行事の3本柱それぞれの特質、内容、指導課題について考えていく。(2) 中学校、高等学校の特別活動について、具体的事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

授業方法と留意点
テキストやプリント教材等を中心に進めていく予定であるが、プレゼンテーションの力やまとめる力をつけるため、レポート作成や各自の中学校・高等学校時代の経験発表なども積極的に行う。よつて、学生皆さんの主体的な授業への参加が求められる。

- 科目学習の効果(資格)**
教員免許(中学校・高等学校)取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：特別活動の指導法
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** 特別活動とは何か
【内容・方法 等】 ・学校教育、および子どもたちを取り巻く現状と課題
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で配布)を読む(詳細は授業で指示する)。
- 第2回** **【授業テーマ】** 特別活動の意義と目標
【内容・方法 等】 ・特別活動の教育的意義について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当箇所を読んでおくこと。
- 第3回** **【授業テーマ】** 特別活動の特質と活動内容
【内容・方法 等】 ・特別活動が担う部分とは～その特質と活動内容について
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で事前に配布予定)を読んでおくこと。
- 第4回** **【授業テーマ】** 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法 等】 ・学級会(ホームルーム)活動の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で事前に配布予定)を読んでおくこと。
- 第5回** **【授業テーマ】** 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法 等】 ・生徒会活動の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で事前に配布予定)を読んでおくこと。
- 第6回** **【授業テーマ】** 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法 等】 ・学校行事の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で事前に配布予定)を読んでおくこと。
- 第7回** **【授業テーマ】** 特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法 等】 ・学校教育における儀礼的行事・文化的行事・体育的行事・集团的行事等のねらいと具体的な取り組み
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で事前に配布予定)を読んでおくこと。
- 第8回** **【授業テーマ】** 特別活動における学校行事とボランティア活動

- 【内容・方法等】 ・部活動について～そのねらいと教育的意義
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第9回 【授業テーマ】 特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法等】 ・ボランティア活動を含めた社会奉仕活動のねらいや効果と期待
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第10回 【授業テーマ】 特別活動の指導計画と配慮事項
【内容・方法等】 ・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第11回 【授業テーマ】 特別活動の指導計画と留意事項
【内容・方法等】 ・グループワークを行い、特別活動の指導計画を作成する際のポイントをまとめ、発表する。
【事前・事後学習課題】 課題：第10回までの授業内容を各自まとめてくる。
第12回 【授業テーマ】 特別活動の効果について
【内容・方法等】 ・特別活動を単なる「経験」に終わらせないための取り組みとしてのふりかえり（自己省察）と経験の共有、そして教師の役割について考える。
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第13回 【授業テーマ】 特別活動の課題とこれから
【内容・方法等】 ・中央教育審議会答申と特別活動の課題
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第14回 【授業テーマ】 特別活動の新たな動向
【内容・方法等】 ・教科教育との連携をめざして
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第15回 【授業テーマ】 特別活動の新たな展開
【内容・方法等】 ・地域社会と学校教育～連携と協同
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

評価方法（基準）
 定期試験、レポート等及び授業態度、授業内での発表（プレゼン）等によって総合的に評価を行う。

教材等

教科書…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 (210円)
参考書…白井慎他著『新特別活動—文化と自治の力を育てるために—』学文社
 その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に生徒の話を「聞くこと（傾聴）」への理解が大切である。そのため、自身の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れていくことが望まれる。

関連科目

全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

担当者の研究室等

7号館3階(大野研究室)

教育方法論

Studies of Educational Method

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

(1) 学校教育の中心は日々の授業活動である。そのことを踏まえ、「授業とは何か」「学びとは何か」を問い直し、授業というものを基本から考え、捉えることが大切である。(2) そのために、教育方法の歴史的な考察、特に日本の戦後教育の歩みを辿り、その目的と方法を考えていく。また、現在の教育方法の課題となっている情報機器・視聴覚教材を活用した授業の原理、構成、方法について学ぶ。

授業方法と留意点

"テキストを中心にプリント、視聴覚教材等を用いた講義方式で進める。また、各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。"

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目
 各項目に含める必要事項：教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】** 教育方法と教育実践
【内容・方法等】 ・「学ぶこと」と「教えること」を見つめ直すことから、授業や学習の原理について考える・授業のガイダンス。
【事前・事後学習課題】 課題 大阪府教委資料「学校現場が求める教師像」をまとめる
第2回 【授業テーマ】 教育方法と学びの指導
【内容・方法等】 ・「学力とは何か」を問い直し、そのことから、学びと学力を考察する。その上に立って、授業のあり方を考えていく。
【事前・事後学習課題】 課題 志水宏吉著『学力を考える』岩波新書を読んでおく
第3回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・近代以前の教育方法
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト pp7-8
第4回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・中世の教会と大学の教育
 ・宗教革命と印刷術の発明
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト pp8-9
第5回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・教育学の成立—コメニウス
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト pp10-12
第6回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・合自然の教育学—ペスタロッチ
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト pp12-14
第7回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・国民国家の教育学—ヘルバルトとヘルバルト主義
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト pp14-18
第8回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・子ども中心の教育と学びの共同体—デューイ
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト pp18-20
第9回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・効率主義の教育学—ポピットとチャーターズ
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト pp20-22
第10回 【授業テーマ】 日本の授業と授業研究（日本教育史を中心に）
【内容・方法等】 ・授業の成立と制度化
 ・戦後の新教育
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト pp33-35
 課題 テキスト pp38-40
第11回 【授業テーマ】 授業の構想と計画(1)
【内容・方法等】 ・構想と計画の基本的視点
 ・指導案と教材研究
 ・教育における情報機器の活用
【事前・事後学習課題】 課題 指導案の作成(1)
第12回 【授業テーマ】 授業の構想と計画(2)
【内容・方法等】 ・授業と教授メディア
 ・コンピューターの利用(情報機器とその教材活用)
【事前・事後学習課題】 課題 指導案の作成(2)
第13回 【授業テーマ】 授業の構想と計画(3)
【内容・方法等】 ・コンピュータを活用した授業デザイン
 ・授業改善の評価と方法
【事前・事後学習課題】 課題 コンピュータを活用した授業評価の集計と活用のまとめ
第14回 【授業テーマ】 日本の授業と授業研究（戦後教育における校内研修を中心に）
【内容・方法等】 ・授業研究と教職研修
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト pp40-46
第15回 【授業テーマ】 教職の専門性とは何か
【内容・方法等】 ・教師像の探究と実践的見識をめぐって
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト pp135-157

評価方法（基準）

定期試験、レポート等によって総合評価を行う。

教材等

教科書…「教育方法学」佐藤 学著 岩波書店 (2060円)
参考書…「教育の方法・技術」松平信久 横須賀薫編 教育出版(2000円)
 その他授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ

教師を目指す第一歩は、自己体験を通じて、「学ぶとは何か」を自分で捉え直すことが大切である。そのことを通じて、「教えるとは何か」に向けたイメージ化に近づくことが出来る。「教育実習」を視野に入れた具体的な授業構想やそのための研究と思考の努力が大切である。

関連科目

教職科目全般と関連がある。特に、「教師論」「教育原理」など

と関連し理解することが大切である。
担当者の研究室等
 7号館3階(深川研究室)

生徒指導論 (進路指導を含む)
 Studies of Guidance and Counseling

朝日素明 (アサヒ モトアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

生徒指導、進路指導は、学校教育をすすめるうえで重要な役割を占めています。非行、いじめ、不登校、学級崩壊、受験競争、進路のミスマッチなど、生徒指導・進路指導上の諸問題については、その解決の重要性が認識されています。本科目をとおして学生は、このような生徒指導、進路指導の意義や指導の方法に関する基本的な事柄について必要最低限の知識を獲得します。

授業方法と留意点

プレゼンテーションソフトを用いて講義をしたうえで、内容をめぐってディスカッション等も織り交ぜて授業を進めます。また時折、レポートを課します。「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果 (資格)

教員免許取得上必修

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目

各科目に含める必要事項：生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
 生徒指導の目標と意義
 【内容・方法等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
 自分の生徒指導上の体験のふりかえり
 生徒指導の目標と意義
 【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダ設定
 テキストpp.3-10
- 第2回 【授業テーマ】 生徒指導の実践
 【内容・方法等】 生徒指導の実践課題と領域
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.10-24
- 第3回 【授業テーマ】 生徒指導の理論 (1)
 【内容・方法等】 理論の重要性
 発達に関する理論
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.32-39
- 第4回 【授業テーマ】 生徒指導の理論 (2)
 【内容・方法等】 生徒指導における治療的支援に関する理論
 相談理論など
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.39-42
- 第5回 【授業テーマ】 生徒理解の進め方 (1)
 【内容・方法等】 生徒理解の意義と目的
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.43-46
- 第6回 【授業テーマ】 生徒理解の進め方 (2)
 【内容・方法等】 生徒理解の方法
 生徒の自己理解の支援
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.46-56
- 第7回 【授業テーマ】 生徒理解の進め方 (3)
 【内容・方法等】 教師の生徒認知のありよう
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.56-61
- 第8回 【授業テーマ】 中間試験
 【内容・方法等】 これまでの授業内容についての試験
 【事前・事後学習課題】 前回までの復習
- 第9回 【授業テーマ】 学級経営の進め方 (1)
 【内容・方法等】 学級経営の意義
 学級集団の役割・機能
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.63-68
- 第10回 【授業テーマ】 学級経営の進め方 (2)
 【内容・方法等】 学級集団の力学
 学級経営の方法
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.68-74
- 第11回 【授業テーマ】 学級経営の進め方 (3)
 【内容・方法等】 教師のリーダーシップ
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.74-79
- 第12回 【授業テーマ】 生徒指導上の諸問題の理解と対応
 【内容・方法等】 生徒指導上の諸問題とは
 最近の諸問題の動向

諸問題にどう対応するか

- 第13回 【事前・事後学習課題】 生徒指導上の諸問題に関する配布資料
 【授業テーマ】 進路指導の意義と課題
 【内容・方法等】 進路指導の意義と課題
 進路指導に関する諸理論
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.135-159
- 第14回 【授業テーマ】 勤労観・職業観の形成と変容
 【内容・方法等】 青少年の勤労観・職業観
 勤労観・職業観の形成と変容
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.176-195
- 第15回 【授業テーマ】 学校教育における進路指導の実践展開
 【内容・方法等】 進路指導における「ガイダンスの機能」
 進路指導実践の展開モデル
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.215-234

評価方法 (基準)

中間試験、定期試験の得点の他、レポートの内容、受講に係る積極的態度により、総合的に成績を判定します。定期試験を受験しなかった場合、成績判定はしません。

教材等

教科書…高橋超・石井真治・熊谷信順『生徒指導・進路指導』
 ミネルヴァ書房 (2,500円+税)

参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

生徒指導、進路指導を学ぶ原資になる自らの体験は大事です。さらに自らの体験を対象化して考える習慣をつけましょう。そのために、基礎的な知識をしっかりと身につけてください。授業への遅刻、無断欠席・早退等は厳禁です。生徒指導を行うとする者としての適格性が問われます。

関連科目

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教師論」「教育心理学」「特別活動の理論と方法」「教育経営論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等

7号館3階 朝日研究室

備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしましょう。

教職科目

教育相談 (カウンセリングの基礎を含む)

School Counseling

吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

教育相談の考え方や進め方についての理解を深め、生徒が成長する過程に生じるさまざまな課題や問題に対処するための援助の考え方や実際、カウンセリングの基礎知識と教育相談の技的を身につけることを目標とする。学校における教育相談に焦点を当て、教師が行う教育相談活動の基本的な考え方や教育相談に必要なスキルを身につけるために、教育相談のもつ今日的な意義を解説し、カウンセリングの基礎知識およびその実践的な手法を紹介する。併せて、「問題」に悩む児童・生徒への実践的な取り組み方を考える。

授業方法と留意点

講義と演習を組み合わせで行う。

科目学習の効果 (資格)

教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」4単位のうち2単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目

各科目に含める必要事項：教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
 【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について
 【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 カウンセリングの基礎
 【内容・方法等】 カウンセリングの基本的な考え方、教師としての立場、カウンセリングマインド
 【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
- 第3回 【授業テーマ】 グループ発表の準備
 【内容・方法等】 グループワーク
 【事前・事後学習課題】
- 第4回 【授業テーマ】 学校教育相談の全体像
 【内容・方法等】 校内での役割分担と協力体制、専門機関との連携とその方法
 【事前・事後学習課題】 テキスト第12章、第13章を読む

- 第5回 【授業テーマ】 学校におけるカウンセリング活動1
【内容・方法 等】 カウンセリング活動のいろいろ(1)……治療的カウンセリング活動、予防的カウンセリング活動
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章を読む
- 第6回 【授業テーマ】 学校におけるカウンセリング活動2
【内容・方法 等】 カウンセリング活動のいろいろ(2)……開発的カウンセリング活動
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章を読む
- 第7回 【授業テーマ】 パーソナリティ理解
【内容・方法 等】 パーソナリティを理解するために、パーソナリティ理解をゆがめるもの
【事前・事後学習課題】 _____
- 第8回 【授業テーマ】 問題の理解と対応1
【内容・方法 等】 問題とは何か、その原因・背景と対応、適応過程
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章を読む
- 第9回 【授業テーマ】 問題の理解と対応2
【内容・方法 等】 ストレス、欲求不満、葛藤
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章、第4章を読む
- 第10回 【授業テーマ】 心の発達と危機
【内容・方法 等】 認知の発達、自己意識の発達、道徳性の発達、仲間関係の発達
【事前・事後学習課題】 教育心理学の復習
- 第11回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際1
【内容・方法 等】 不登校……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章を読む
- 第12回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際2
【内容・方法 等】 いじめ……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読む
- 第13回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際3
【内容・方法 等】 学級崩壊・授業崩壊……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章を読む
- 第14回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際4
【内容・方法 等】 反社会的行動……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章を読む
- 第15回 【授業テーマ】 教員のメンタル・ヘルス
【内容・方法 等】 教員自身が健康であるために、教員への対応
【事前・事後学習課題】 テキスト第14章を読む

評価方法（基準）

グループ発表50% 期末試験50%

教材等

教科書…「学校教育相談」一丸藤太郎・菅野信夫（編著）ミネルヴァ書房（2200円）

参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ

これまでの学校での「困った」経験を思い出してみてください。

関連科目

教育方法論、生徒指導論、教育心理学、教育社会学など。

担当者の研究室等

7号館3階（吉田研究室）

教育実習I

Teaching Practice I

村田 俊明（ムラタ トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	1

授業概要・目的・到達目標

(1) 教育実習校における実習に必要な教育実践の基本を理解して、教科指導、生徒指導等の実際について有効な指導計画を立案し、授業が効果的に展開できるようにする。(2) 教育実習の実際についての情報を提供し、これらにもとづく討議ならびにビデオ等を用いた演習を交えて授業を展開する。(3) 教育実習の現状と課題についての認識を深めるとともに教育実習生としての基本的心がまえについての理解を深める。

授業方法と留意点

テキストを中心とした講義及び、視聴覚教材等を用いた演習方式で進める。授業構想等に関するレポートや各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習の意義
【内容・方法 等】 (1) オリエンテーション (2) 教育実習の目的と意義 (3) 免許制度の概要について
【事前・事後学習課題】 開拓した実習校における実習の基本情報を整理しておく。
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習の現状について
【内容・方法 等】 (1) 求められる教師と教員養成制度について (2) 中学校/高等学校での教育実習とその課題について
【事前・事後学習課題】 教科書から教育実習の現状を整理しておく。
- 第3回 【授業テーマ】 教育実習の内容と形態等について
【内容・方法 等】 (1) 教育実習の心がまえと教育実習の基本となる事項について (2) グループディスカッション・生徒の人権に配慮すること
【事前・事後学習課題】 教育実習にのぞむ姿勢、心がまえを整理し、紙に書いておく。
- 第4回 【授業テーマ】 教育実習の実際（中学校）
【内容・方法 等】 (1) ビデオ教材を通して中学校での実習への理解を深める (2) 意見交換及び討議
【事前・事後学習課題】 中学校の教育実習で不明な点を簡条書きにまとめ、討議に備える。
- 第5回 【授業テーマ】 教育実習の実際（高等学校）
【内容・方法 等】 (1) ビデオ教材を通して、高等学校での実習への理解を深める (2) 意見交換及び討議
【事前・事後学習課題】 高等学校の教育実習で、不明な点を簡条書きにまとめ、討議に備える。
- 第6回 【授業テーマ】 授業の方法と技術
【内容・方法 等】 教育メディアの特徴と使い方について検討する。
【事前・事後学習課題】 教育メディアの多様性とその特徴についてまとめておく。
- 第7回 【授業テーマ】 学習指導案・授業シナリオづくり (1)
【内容・方法 等】 (1) 授業の準備と配慮事項、(2) 学習指導案の書き方、(3) 教科指導の学習指導案の作成、板書計画
【事前・事後学習課題】 (1) 教育実習で担当する科目の授業・単元を構想する。(2) 教材を準備する。
- 第8回 【授業テーマ】 学習指導案・授業シナリオづくり (2)
【内容・方法 等】 授業の自己評価とその観点の作成・検討
【事前・事後学習課題】 よい授業とは何かを考え、評価の観点とポイントを考えておく。
- 第9回 【授業テーマ】 授業の構想発表 (1)
「授業シナリオ」に基づく授業構想の発表・検討を通じて、「授業シナリオ」の改善を行う。特に「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【内容・方法 等】 「わかる授業」づくりの工夫と授業研究「授業シナリオづくり」のアイデア
【事前・事後学習課題】 「わかる授業」とは何かを考えておく。「授業シナリオづくり」の試み「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。
- 第10回 【授業テーマ】 授業の構想発表 (2)
「授業シナリオ」に基づく授業構想の発表・検討を通じて、「授業シナリオ」の改善を行う。特に「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【内容・方法 等】 「おもしろい授業」づくりの工夫と授業研究「授業シナリオづくり」の試み
【事前・事後学習課題】 「おもしろい授業」とは何かを考えておく。「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。
- 第11回 【授業テーマ】 授業の構想発表 (3)
「授業シナリオ」に基づく授業構想の発表・検討を通じて、「授業シナリオ」の改善を行う。特に「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【内容・方法 等】 「役に立つ授業」の授業を考える。「授業シナリオづくり」の試み
【事前・事後学習課題】 「役に立つ授業」とは何かを考えておく。「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。
- 第12回 【授業テーマ】 生徒の人権への配慮と特別支援教育
【内容・方法 等】 生徒の人権に配慮した指導と合理的配慮について検討する。
【事前・事後学習課題】 生徒の人権意識等の具体的問題例について考える。
- 第13回 【授業テーマ】 教科外教育活動を考える。
【内容・方法 等】 道徳の指導・特別教育活動等の指導について検討する。
【事前・事後学習課題】 教科外の教育活動の必要性和指導のポイントを整理しておく。
- 第14回 【授業テーマ】 実習中の勤務の要領
【内容・方法 等】 学校の日、一週間の流れ、学校の組織と

運営の概要について
【事前・事後学習課題】 実習校のホームページを参考に、学校の一日、一週間の流れを把握しておく。
第15回 【授業テーマ】 授業の記録と評価について
【内容・方法 等】 授業と授業研究・話し方、授業構成、板書、補助教材など評価の観点への理解を深める。
【事前・事後学習課題】 教育実習の総合的な理解と実務の実際を確認する。

評価方法 (基準)
 期末レポート、模擬授業、学習指導案の作成等に関わる評価を行う。

教材等
教科書…「教育実習の手引き」(摂南大学)「教育実習記録」(摂南大学)「新編教育実習の常識-事例にもとづく必修66項」教育実習を考える会編 蒼丘書林 (740円)
参考書…授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 教職科目の特質をよく理解し、「学ぶこと」を通して「教えること」への実践的理解を深めることが大切である。また、「教育実習」はこれまでの学習の総まとめであることを自覚して、実習に備えること。

関連科目
 教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等
 7号館3階(村田研究室)

教育実習ⅡB Teaching Practice II B				
		吉 田 佐治子 (ヨシダ サチコ)		
		村 田 俊 明 (ムラタ トシアキ)		
		朝 日 素 明 (アサヒ モトアキ)		
		大 野 順 子 (オオノ ジュンコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 「教育実習ⅡB」は、2週間以上の実習を行うもので、授業研究を主体とした実習である。(1) 教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。(2) 事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。(3) 教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。(4) 事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。
 これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点
 (1) 教育実習校での実習を行う。(2) 大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」と合同で行う。(3) 事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果 (資格)
 教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
 教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導 (4月)
【内容・方法 等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
第2回 【授業テーマ】 教育実習事前指導 (4月～5月)
【内容・方法 等】 教育実習上の心がまえ・諸注意
 教育実習ビデオの視聴
 先輩教師の体験談
 教師の仕事と責任について講義・討論
【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
【授業テーマ】 教育実習個人指導 (4月～5月)
【内容・方法 等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出 (必要な者のみ)
第4回 【授業テーマ】 前期教育実習開始 (5月～6月)
【内容・方法 等】 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
 実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
第5回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会 (6月～7月)
【内容・方法 等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方

法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
 使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第6回 【授業テーマ】 後期教育実習開始 (9月～10月)
【内容・方法 等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
第7回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会 (10月)
【内容・方法 等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。
 発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
 使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第8回 【授業テーマ】 教育実習総括講義 (10月)
【内容・方法 等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
第9回 【授業テーマ】 教育実践指導 (1月～3月)
【内容・方法 等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】 指示された課題
第10回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第11回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第12回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第13回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第14回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第15回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第16回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第17回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第18回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第19回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第20回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第21回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第22回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第23回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第24回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第25回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第26回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第27回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第28回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第29回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
第30回 【授業テーマ】 _____
評価方法 (基準)
 事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評

価値を行う。いずれか不十分なものは、単位を認定しない。

教材等

教科書… 摂南大学『教育実習記録』
参考書… 中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目

教職関連科目全般

担当者の研究室等

7号館3階

備考

(1) 中学校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡA」「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から4単位以上、高校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から2単位以上修得することが必要。(2) 中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

教育実習Ⅲ

Teaching Practice III

吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)
村田 俊明 (ムラタ トシアキ)
朝日 素明 (アサヒ モトアキ)
大野 順子 (オオノ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修	4

授業概要・目的・到達目標

「教育実習Ⅲ」では、教育実習校において4週間以上の実習を行う。(1) 教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。(2) 事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。(3) 教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。(4) 事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。

これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点

(1) 教育実習校での実習を行う。(2) 大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習ⅡB」と合同で行う。(3) 事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果(資格)

教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導(4月)
【内容・方法等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習事前指導(4月～5月)
【内容・方法等】 教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
- 第3回 【授業テーマ】 教育実習個人指導(4月～5月)
【内容・方法等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出(必要な者のみ)
- 第4回 【授業テーマ】 前期教育実習開始(5月～6月)
【内容・方法等】 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第5回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会(6月～7月)
【内容・方法等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第6回 【授業テーマ】 後期教育実習開始(9月～10月)
【内容・方法等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成

第7回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会(10月)
【内容・方法等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。

【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出

第8回 【授業テーマ】 教育実習総括講義(10月)
【内容・方法等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。

【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
第9回 【授業テーマ】 教育実践指導(1月～3月)
【内容・方法等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。

【事前・事後学習課題】 指示された課題

第10回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第11回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第12回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第13回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第14回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第15回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第16回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第17回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第18回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第19回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第20回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第21回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第22回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第23回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第24回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第25回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第26回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第27回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第28回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第29回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

【事前・事後学習課題】 _____

第30回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法(基準)
事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものは、単位を認定しない。

教材等

教科書… 摂南大学『教育実習記録』
参考書… 中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目

教職関連科目全般

担当者の研究室等

7号館3階

備考

中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

数学科教育法II

Method of Mathematics Teaching II

小林 俊 公 (コバヤシ トシマサ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「数学」教免 取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

数学科教育法 II では、高等学校数学科教員を目指す学生が実際に教育を担当できるようにするための基盤となる実践力の育成をめざす。数学科教育法 I でまとめあげた各自の「教える立場に立ったときの心構え・知識」と、体験したマイクロティーチングを礎にして、生きる力を知的な側面から支える「確かな学力」を育成し、生徒の学習意欲をたかめ、自ら学び自ら考える力を育成できるプロジェクトをたて、教育コースウェアを研究・開発し、バズ式セッション・グループ活動・他者評価・自己評価、相互評価などで実践的な学びを展開する。学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

学ぶ意欲を維持し自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決し、プレゼンテーションする資質や能力の涵養

科目学習の効果（資格）

「創造型人材育成教育（数学教育）を実践しうる教育者」となるための基盤力が涵養できる。（高等学校一種免許（数学））

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開
【内容・方法 等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、全体の展望、学習の進め方
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(1)
【内容・方法 等】 高等学校教科「数学」や専門教科「理数」において、生徒の学習意欲をたかめ、生きる力を支える「確かな学力」について考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(2)
【内容・方法 等】 「生徒が数学的な見方・考え方が好きだと思ふこと」とは、また「授業以外に学ぶ習慣を体得できる種々の方策」とはについて考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(3)
【内容・方法 等】 「生活の中での数学の有効性を体験し論理的に考える態度の育成」とは、また「人やものに関わる力をたかめるための体験」とはどのようなものであるかを考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(4)
【内容・方法 等】 身近な事象から、どのような数学的知識がひきだされているか具体例を挙げ、数学的思考の構成過程を振り返って、当初の事象にどのように活用されているかを考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(1)
【内容・方法 等】 高等学校普通教科数学「I・II・III, A, B, C, 数学活用」や専門科目「理数」の各々について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(2)
【内容・方法 等】 理解の過程で各自が持った問題意識でテーマをたて「自分が求める数学教育」を設定し、各自のたてた学力観から教授モデルや評価のあり方についてさらに考えをすすめる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(3)
【内容・方法 等】 自ら学び自ら考える力や表現力を身につけさせることができる「各自のおこないたい教育コースウェア」を開発するプロジェクトを考察する。

- 第9回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(4)
【内容・方法 等】 教育目標・目的、内容・方法、評価について考え、教育課程、年間指導計画、単元計画、本時の学習についての学習指導案・学習指導細案・ワークシート・板書計画・評価法をまとめ上げる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(1)
【内容・方法 等】 グループ活動として、各自の開発した教育コースウェアについてバズ式セッションで討議する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(2)
【内容・方法 等】 討議の結果をフィードバックして各自の考えた教育コースウェアを修正し、「50分間の模擬授業」をおこなう。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(3)
【内容・方法 等】 各自の考えた「評価規準」「評価基準」「ルーブリック」等で評価をおこない、観点別評価を実践する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(4)
【内容・方法 等】 実践により各々のプロジェクト型問題解決学習を完結し、ひとりひとりの「Plan-Do-Check-Actionのサイクル」をシステムティックに組み上げる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(5)
【内容・方法 等】 教育者としての基盤を確立し、自己の教育力（授業改善力・評価力等）育成のための方法を体得する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 高等学校教科「数学」の学習指導要領について体系的な知識を身につけ、「生きる力」や「確かな学力」について考えをまとめ、各自の「学力観」を立てる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート

評価方法（基準）

マイクロティーチング（模擬授業）は必須。授業への参画（受講態度、平常点）、課題提出、課題解決の経過等の日常学習状況の評価が50%、マイクロティーチングと評価のまとめで50%とする。

教材等

教科書…中学校学習指導要領解説－数学編、高等学校学習指導要領解説－総則編、数学編、理数編各200円程度
参考書…「観点別評価実践事例集」図書文化（2415円）

学生へのメッセージ

生徒の自己実現を支援する高等学校数学科の教員を目指すという目的意識を持ち、常に問題を発見し問題解決・課題解決に情熱を傾け、日々の課題を着実に解決し、自ら継続的に問題（課題）解決のための取り組みを日常的におこなう学生の受講を希望する。

関連科目

本科目を学ぶまでに数学科教育法 I を履修すること。他の教職関連科目、一般教養科目なども予め履修しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

数学科教育法III

Method of Mathematics Teaching III

大西 慶 一 (オオニシ ケイイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「数学」教免 取得上必修 (中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標

数学科教育法 III では、中学校数学科教員を目指す学生の意識を高め、実際に教育を担当できるようにするための基礎的な実践能力の育成をめざす。中学生の実態を捉え、「カリキュラム・教育目標・目的・方法・内容・評価・教授及び学習に関する理論」に関する知識を展開し、数学教育における教育の方法や技術の修得に重点を置く。また、問題発見力と解決のための「情報活用法」を体得するべく、グループ学習を重視し、マイクロティーチング・プレゼンテーションをとらして「教えるもの」と「学ぶもの」の相互の立場を経験し、自己の教育観・教育力の基礎的基盤の確立を目指す。また、校種間の連携として小学校・高等学校の指導要領についてもふ。学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

グループ学習・活動で実施する。自らが発見した課題に積極的に取り組むことにより学ぶ「メタ学習」を根本におく。レポートの提出を求める。ビデオ、教材提示装置等視聴覚器材を用い

て講義を進める。

科目学習の効果（資格）
 「創造型人材育成教育（数学教育）を実践しうる教育者」となるための基礎・基本の確立ができる。（中学校一種免許（数学））
 【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目：教育課程及び指導法に関する科目
 各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開
 【内容・方法 等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、全体の展望、学習の進め方
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第2回 【授業テーマ】 中学校数学教育の歴史(1)
 【内容・方法 等】 中学校運営全体の中で、数学教育体制がどのように始められ変遷してきたか学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第3回 【授業テーマ】 中学校数学教育の歴史(2)
 【内容・方法 等】 中学校数学教育でなにが教えられてきたか、教科内容の取捨選択がいかに行われてきたかを学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第4回 【授業テーマ】 算数教育から数学教育へ(1)
 【内容・方法 等】 小学校算数教育の内容の変遷を通じて、小中の算数数学教育の連携がどのように考えられてきたか学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第5回 【授業テーマ】 算数教育から数学教育へ(2)
 【内容・方法 等】 現行算数教育と数学教育の間にどのような問題があるのか、その課題といかに改善すべきか考える。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第6回 【授業テーマ】 数学教育の目的と目標
 【内容・方法 等】 教授の概念を学び、教授論の歴史的展開から教授メディアの発展及び学習理論について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第7回 【授業テーマ】 学級崩壊・学力崩壊
 【内容・方法 等】 近接校種の教育の現場の状況を知り、各自の目指す校種に至るまでの現状を知る。特に小学校低学年における学級崩壊の実状を考察して、各自の教育観をたてる。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第8回 【授業テーマ】 生きる力(1)
 【内容・方法 等】 近接校種等の総合的な学習の時間における教育のあり方を学び、先進的な実践校の内容と、その分析をおこなう。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第9回 【授業テーマ】 生きる力(2)
 【内容・方法 等】 教授法・学習理論をメタ学習・数学教育の観点から教育の現場で役立つ力とする。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第10回 【授業テーマ】 学習指導要領
 【内容・方法 等】 中学校の学習指導要領について学び、その目標や内容について知り、教科書の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第11回 【授業テーマ】 数学科教授計画
 【内容・方法 等】 授業の設計法を体系的に学ぶ。目標の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学び、その知識を援用して学習指導案にまとめる。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第12回 【授業テーマ】 マイクロティーチングの方法
 【内容・方法 等】 教育機器と教授メディア、教授メディアの発展と現状、チャート・カード・OHPなどの活用
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第13回 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(1)
 【内容・方法 等】 各自の求める数学教育について、「15分間のマイクロティーチング」にまとめ、実践する。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第14回 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(2)
 【内容・方法 等】 グループ員各々のマイクロティーチングを「学ぶものの立場」、「同僚(教えるもの)としての立場」で相互評価し、「教えるもの」としての自己評価を加えて総合的にまとめる。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第15回 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(3)
 【内容・方法 等】 マイクロティーチングの相互評価と自己評価の発表と検討により、自己の教育力・評価力育成のための方法を体得する。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

評価方法（基準）
 バズ式セッションを中心に展開(グループ員との連携が必須・特に欠席時)。マイクロティーチング(模擬授業)は必須。レポート

の提出を求める。マイクロティーチングと評価のまとめで50%、レポートと日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%とする。

教材等
教科書…「中学校数学の教材開発・授業プラン1年」学事出版2520円、中学校学習指導要領解説-数学編、小学校学習指導要領解説-算数編、高等学校学習指導要領-数学編 各200円程度
参考書…「中学数学の教材開発・授業プラン2年」学事出版2520円程度

学生へのメッセージ
 将来教員をめざす学生の切磋琢磨の場として、プレゼンテーション能力の育成をはかり、グループを中心に、新しい教材開発など積極的な活動を求める。

関連科目
 本科目を学ぶまでに開講されている他の教職関連科目、一般教養科目を予め履修しておくことが望ましい。

担当者の研究室等
 当該講義内での対応が中心となります。

数学科教育法IV

Method of Mathematics Teaching IV

大西慶一(オオニシ ケイイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「数学」教免取得上必修(中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標

数学科教育法IVでは、中学校数学科教員を目指す学生が実際に教育を担当できるようにするための基盤となる実践力の育成をめざす。数学科教育法I、II、IIIでまとめあげた各自の「教える立場に立ったときの心構え・知識」と、体験したマイクロティーチングを礎にして、生きる力を知的な側面から支える「確かな学力」を育成するための教育コースウェアを研究・開発する。バズ式セッション・グループ活動を学習形態に取り入れ、生徒の学習意欲をたかめ、自ら学び自ら考える力を育てるという課題を持ってプロジェクトをたてる。各自がたてた課題解決プロジェクトを互いに他者評価し、自己評価して実践的な学びを展開する。学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

学ぶ意欲を維持し自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決し、プレゼンテーションする資質や能力の涵養

科目学習の効果（資格）

「創造型人材育成教育（数学教育）を実践しうる教育者」となるための基盤力が涵養できる。（中学校一種免許（数学））
 【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目：教育課程及び指導法に関する科目
 各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開
 【内容・方法 等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、全体の展望、学習の進め方
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第2回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(1)
 【内容・方法 等】 中学校教科「数学」において、生徒の学習意欲をたかめ、生きる力を支える「確かな学力」について考える。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第3回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(2)
 【内容・方法 等】 「生徒が数学的な見方・考え方が好きだと思ふこと」とは、また「授業以外に学ぶ習慣を体得できる種々の方策」とはについて考える。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第4回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(3)
 【内容・方法 等】 「生活の中での数学の有効性を体験し論理的に考える態度の育成」とは、また「人やものに関わる力をたかめるための体験」とはどのようなものであるかを考える。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第5回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(1)
 【内容・方法 等】 教育目標・目的、内容・方法、評価について考え、教育課程、年間指導計画、単元計画、本時の学習についての学習指導案・学習指導細案・ワークシート・板書計画・評価法をまとめ上げる。
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第6回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(2)
 【内容・方法 等】 理解の過程で各自が持った問題意識でテーマをたて「自分が求める数学教育」を設定し、各自のたてた学力観から教授モデルや評価のあり方についてさらに考

- えをすすめる。
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(3)
【内容・方法等】 第1学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(4)
【内容・方法等】 第2学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(5)
【内容・方法等】 第3学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(1)
【内容・方法等】 グループ活動として、各自の開発した教育コースウェアについてバズ式セッションで討議する。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(2)
【内容・方法等】 討議の結果をフィードバックして各自の考えた教育コースウェアを修正し、「50分間の模擬授業」をおこなう。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(3)
【内容・方法等】 各自の考えた「評価規準」「評価基準」「ルーブリック」等で評価をおこない、観点別評価を実践する。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(4)
【内容・方法等】 実践により各々のプロジェクト型問題解決学習を完結し、ひとりひとりの「Plan-Do-Check-Actionのサイクル」をシステムティックに組み上げる。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(5)
【内容・方法等】 教育者としての基盤を確立し、自己の教育力(授業改善力・評価力等)育成のための方法を体得する。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 高等学校教科「数学」の学習指導要領について体系的な知識を身につけ、「生きる力」や「確かな学力」について考えをまとめ、各自の「学力観」を立てる。

評価方法(基準)

バズ式セッションを中心に展開(グループ員との連携が必須・特に欠席時)。マイクロティーチング(模擬授業)は必須。レポートの提出を求める。マイクロティーチングと評価のまとめで50%、レポートと日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%とする。

教材等

教科書…「中学校数学の教材開発・授業プラン2年」学事出版2520円、中学校学習指導要領解説-数学編、小学校学習指導要領解説-算数、高等学校学習指導要領-数学編 各200円程度

参考書…「中学数学の教材開発・授業プラン1年」学事出版2520円程度

学生へのメッセージ

生徒の自己実現を支援する中学校数学科の教員を目指すという目的意識を持ち、常に問題を発見し、問題解決・課題解決に情熱を傾け、日々の課題を着実に解決し、自ら継続的に問題(課題)解決のための取り組みを日常的におこなう学生の受講を希望する。

関連科目

本科目を学ぶまでに数学科教育法Ⅲを履修すること。他の教職関連科目、一般教養科目なども予め履修しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

当該講義内での対応が中心となります。

教職実践演習(中・高)

Practicum in Prospective Teachers

吉田 佐治子(ヨシダ サチコ)
村田 俊明(ムラタ トシアキ)
朝日 素明(アサヒ モトアキ)
大野 順子(オオノ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

○教育実習を終え、各自の問題点を明確化しながら今後の自らの実践課題をグループワーク等を通して再認識し、教員としての適性や実践的な力量について確認する。

- 中学・高校での現場体験学習を基に、現職・元教員、教育委員会指導主事等と研究交流し、生徒理解を通して生徒指導・進路指導ができることを確認する。
- 教科に関する科目の担当者や科目の指導主事・現職教員と連携協議し、専門科目・教職科目の学習を深め、授業実践ができることを確認する。
- 教員としての適性や力量、特に「授業を創造する意欲と能力」「対人関係能力と社会性・協調性」「使命感・責任感」「学校教育活動におけるリーダーシップ」等を有していることを確認する。

授業方法と留意点

- 教職課程の専任教員4名による全体指導と、各専任教員毎のグループ学習を中心に進める。1グループは15~20名。さらに、長年の実践経験を有する教員から実践を通して見えてくる学校現場の諸課題を知り、自己の実習経験と重ねる中で、新たな課題を探り、かつ全体でも共有していく。
- 大学の教科に関する科目の担当者・指導主事・現職教員と連絡協議し、教科指導・生徒指導・進路指導等ができることを確認していく。

科目学習の効果(資格)

- 教職実践演習は、当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目(教職実践演習を除く。)の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するもの。
- 2013年度から4年次後期の教職課程の必修科目。免許資格取得と同時に即学校現場で生かせる実践力を身に付けることが求められる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 「教職実践演習」のガイダンス
【内容・方法等】 ・科目の目的、内容方法についての確認
・各自の教育実習後の課題についての確認
・3回以降のグループ学習の各課題の確認
- 第2回** 【事前・事後学習課題】 ・教育実習ノートの点検と再確認
【授業テーマ】 専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法等】 ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野に関する個々の課題について教科担当教員が指導。
【事前・事後学習課題】 ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第3回** 【授業テーマ】 専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法等】 ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野と実践上の課題について、教科担当教員が指導。その上で、研究交流する。
【事前・事後学習課題】 ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第4回** 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場を全体で参観し、生徒指導・進路指導上の実践課題を知る。
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導・進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第5回** 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、生徒指導上の実践課題を知る。その上で、「生徒理解」を目指した研究協議を行う。
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第6回** 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、進路指導上の実践課題を知る。その上で研究協議を行う。
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第7回** 【授業テーマ】 教育格差：子どもの貧困と学力格差
【内容・方法等】 近年の経済状況が子どもたちの生活、学力にどのような影響をもたらしているのか。また、その結果子どもたちのあいだで広がったとされる教育格差は何を意味するのかについて講義、およびディスカッションを通して理解する。そして、こうした社会状況に学校教育は、教師はどのように対応していく必要があるのかについても議論する。
【事前・事後学習課題】 第一回目の授業で配布する資料を読み、A4サイズの用紙1枚(1200字程度)にその要約と感想を書き、講義当日に持参する。
- 第8回** 【授業テーマ】 学校の中のマイノリティ：外国にルーツをもつ子どもたち
【内容・方法等】 1990年代以降、日本の入国管理政策の転換により、多くの外国人が家族とともに渡日するようになった。それに伴い多くの外国人の子どもたちは日本の学校へ通うことになったが、彼らは日本語の問題や日本特有の学校文化など様々な問題に直面することになった。ここでは外国にルーツをもつ子どもたちの視点から日本の学校教育制度について講義、およびディスカッションを通して考えていく。
【事前・事後学習課題】 第一回目の授業で配布する資料を読み、A4サイズの用紙1枚(1200字程度)にその要約と感想を書き、講義当日に持参する。

- 第9回** 【授業テーマ】 カウンセリングマインドと生徒対応
 【内容・方法 等】 カウンセリングの技法を生徒への対応、保護者への対応に応用する(ロールプレイ)
 【事前・事後学習課題】 (事前) カウンセリングマインドについての復習
 (事後) 小レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 「自分」を知る
 【内容・方法 等】 教育職における「自己を知る」ことの重要性を知り、そのための1方法としてのエゴグラム作成を行う
 【事前・事後学習課題】 (事前) 「自分」について考える
 (事後) 小レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 いじめの現状
 【内容・方法 等】 問題行動のなかから特に「いじめ」を取り上げ、その多様性、メカニズム、深刻さを理解する。配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
 【事前・事後学習課題】 (事前) 配布資料の熟読
 (事後) 小レポートの提出
- 第12回** 【授業テーマ】 いじめ問題への取り組み
 【内容・方法 等】 日常の些細な出来事がどのように「いじめ」に発展するのか、教師がいじめを見抜くのはどうして困難なのかを考える。配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
 【事前・事後学習課題】 (事前) 配布資料の熟読
 (事後) 小レポートの提出
- 第13回** 【授業テーマ】 教育実習と「道徳」の授業について一課題の確認
 【内容・方法 等】 教育実習体験発表レジュメ等に基づく発表と討論
 一教育実習における「道徳」指導について考えたことを話し合う
 【事前・事後学習課題】 事前：教育実習における「道徳」指導についての経験をまとめてくる。
 事後：話し合いから学んだことをまとめる。
- 第14回** 【授業テーマ】 「道徳」の模擬授業と授業検討
 一「道徳」授業のポイント確認
 【内容・方法 等】 受講生による模擬授業と全体討論を通して、「道徳」の授業を検討する。
 【事前・事後学習課題】 事前：代表者による模擬授業(30分)の実施準備を行う。
 事後：模擬授業の検討・評価を通して、「道徳」の授業観をもつ。
- 第15回** 【授業テーマ】 授業改革と人権教育(元校長との研究交流)
 総括レポートの作成
 【内容・方法 等】 ・学力格差克服へ向けた中学校の授業実践に学ぶ
 ・大阪の人権教育は如何に進められてきたかについて知る
 ・中・高等学校が抱えている教育課題を踏まえ、自らの今後の課題をまとめる。
 【事前・事後学習課題】 レポート作成
- 評価方法(基準)**
 教職教室教員4名によるグループ学習が中心となる。それ故、それぞれのグループでのレポート評価を総合し評価する。
- 教材等**
 教科書…「教育実習記録」(摂南大学)
 教育実習で使用した各教科書・教材
 参考書…資料等は授業中に適宜配布
- 学生へのメッセージ**
 教育実習を終えた時点で各自が自らの実習を省察すること。その中で、問題点を見出し、諸課題を自ら設定し、この科目を軸にしながら、全体講義やグループワークを通して課題克服を目指しながら、さらなる実践的力を身に付けること。
- 関連科目**
 全ての教職課程必修科目、取得予定免許状に関わる各教科毎の必修科目
- 担当者の研究室等**
 教職教室(7号館3階)
 吉田佐治子、村田俊明、朝日素明、大野順子

職業指導

Vocational Guidance

水野 武 (ミズノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	教免取得上 必修	4

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化と職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果(資格)

工業科における職業指導に関する基礎知識が身に付く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法 等】 授業概要の説明、職業の定義、職業指導の概念整理
 【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読
- 第2回** 【授業テーマ】 職業指導の基礎理論
 【内容・方法 等】 職業指導における基本的な考え方、手法
 【事前・事後学習課題】 職業指導に関する資料を熟読
- 第3回** 【授業テーマ】 職業指導の歴史①
 【内容・方法 等】 アメリカ・ヨーロッパを中心に職業指導の経緯を知る
 【事前・事後学習課題】 欧米の職業指導に関する資料を熟読
- 第4回** 【授業テーマ】 日本の産業構造の変化
 【内容・方法 等】 日本の産業、雇用事情の変化を知る
 【事前・事後学習課題】 日本の産業史に関する資料を熟読
- 第5回** 【授業テーマ】 職業指導の歴史②
 【内容・方法 等】 日本の戦後の教育改革について
 【事前・事後学習課題】 日本の戦後の教育改革についての資料を熟読
- 第6回** 【授業テーマ】 日本型雇用と職業指導
 【内容・方法 等】 日本における雇用システムの変容と職業指導の関わり
 【事前・事後学習課題】 日本型雇用の見直しについて考える
- 第7回** 【授業テーマ】 新規高卒就職システム
 【内容・方法 等】 新規高卒労働市場の変容と現状
 【事前・事後学習課題】 高卒労働市場に関する資料を熟読
- 第8回** 【授業テーマ】 高等学校における職業指導
 【内容・方法 等】 各種学校における職業指導の在り方について
 【事前・事後学習課題】 職業指導の事例を調査
- 第9回** 【授業テーマ】 「労働すること」を考える
 【内容・方法 等】 仕事することの意義を考える
 【事前・事後学習課題】 授業後は自らの労働観を持つようになる
- 第10回** 【授業テーマ】 職業指導の領域
 【内容・方法 等】 学校、家庭、地域コミュニティ、公的機関等職業指導がなされる「場」について考える
 【事前・事後学習課題】 職業指導領域に関する資料を熟読
- 第11回** 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論①
 【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第12回** 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論②
 【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第13回** 【授業テーマ】 授業内容立案
 【内容・方法 等】 高校生向けの職業指導・キャリア教育に関する授業内容を立案する
 【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
- 第14回** 【授業テーマ】 模擬授業①
 【内容・方法 等】 講義13で立案した内容で模擬授業を実施
 【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
- 第15回** 【授業テーマ】 講義の振り返り
 【内容・方法 等】 講義の振り返り、前期の中間レポートの提出
 【事前・事後学習課題】 前期の中間レポートの準備
- 第16回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法 等】 後期授業概要の説明
 【事前・事後学習課題】 ————
- 第17回** 【授業テーマ】 商業教育と職業指導
 【内容・方法 等】 商業高校における職業指導について
 【事前・事後学習課題】 商業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第18回** 【授業テーマ】 工業教育と職業指導
 【内容・方法 等】 工業高校における職業指導について
 【事前・事後学習課題】 工業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第19回** 【授業テーマ】 人権教育としての職業指導
 【内容・方法 等】 職業指導の国際基準、ハンディキャップがある生徒への職業指導

- 第20回 【事前・事後学習課題】 提示する資料を熟読
 【授業テーマ】 フリーターとニートについて
 【内容・方法 等】 グループ（またはペア）でフリーター・ニート対策を考える
 【事前・事後学習課題】 フリーター・ニート問題に関する資料を熟読し、発表できるよう準備
- 第21回 【授業テーマ】 職業適性とは何か？
 【内容・方法 等】 職業適性、各種アセスメントについて
 【事前・事後学習課題】 自らの適性の活かし方を考える
- 第22回 【授業テーマ】 高校生の就業力について
 【内容・方法 等】 新規高卒者が求められる就業力について
 【事前・事後学習課題】 就業力育成のための企画を考える
- 第23回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例①
 【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導の事例紹介
 【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第24回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例②
 【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導の事例紹介
 【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第25回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案①
 【内容・方法 等】 高校生の就業力向上のための企画・授業を考える
 【事前・事後学習課題】 企画立案にあたっての事前情報を収集すること
- 第26回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案②
 【内容・方法 等】 25回目で考えた内容を発表する
 【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第27回 【授業テーマ】 未来の働き方を考える
 【内容・方法 等】 日本の課題、それにより想像される未来における働き方を考える
 【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第28回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論①
 【内容・方法 等】 自己概念・環境との相互作用・学習理論からのアプローチ
 【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第29回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論②
 【内容・方法 等】 カウンセリングマインドを知る
 【事前・事後学習課題】 配布資料を資料を熟読
- 第30回 【授業テーマ】 まとめ/講義の振り返り
- 評価方法（基準）
 講義内での課題、提出物、レポート、授業への積極的参加、レポートの提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、成績を判定します。
 また、前期最終時に中間レポートを実施します。
- 教材等
 教科書…講義の中で必要に応じてレジュメ配布をします。
 参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』ナカニシヤ出版（斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘）ほか、授業中に適宜、指示します。
- 学生へのメッセージ
 「職業指導」について学ぶとともに、自らの勤労観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。特に後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。
- 関連科目
 教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。また「特別活動論」にも近接します。
- 担当者の研究室等
 7号館3階（キャリア教育推進室）